匝瑳市総合計画 中期基本計画策定のための 市民意識調査

結果報告書

平成 23 年 2 月 匝瑳市

目 次

1	調査の構	t要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
		室の目的と実施概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3 の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		の概要····································
		書のみかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
		₹の概要および考察····································
		- %
		章について····································
		大化について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
	行財政道	重営について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
Π	調査結果	<u></u>
	Ⅱ -1 ご	k 人(あなた)のくらしについて・・・・・・・11
	問 1	あなた自身について・・・・・・・11
	問 2	あなた自身、またはあなたが同居している家族
	Ⅱ-2 保例	津・医療・福祉について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
	問 3	現在、健康的な生活を送れていると感じていますか。 ・・・・・・・・・・14
	問 4	あなたが「健康」のために行っているものは何ですか。15
	問 5	市の健康増進への取組みで、何が重要と考えますか。 ・・・・・・・・・・16
	問 6	匝瑳市は、子育てをしていく上で、暮らしやすい地域だと思いますか。・・・・・・17
	問 7	市の子育て支援への取組みで、何が重要と考えますか。 ・・・・・・・18
	問 8	高齢者や障がいのある方にとって暮らしやすい地域だと思いますか。19
	問 9	高齢者や障がいのある方に対する施策として、何が重要と考えますか。・・・・・・20
	問 10	お互いに支え合う雰囲気があると思いますか。 21
	問 11	現在の医療体制をどう感じていますか。 ・・・・・・・・・・・ 23
	問 12	地域の医療環境への取組みで、何が重要と考えますか。 ・・・・・・・・・・ 24
	Ⅱ-3 産業	美・経済について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
	問 13	匝瑳市について他の市町村の人に自慢したいことはありますか。 ・・・・・・・25
	問 13-1	それはどのようなことですか。······26

問 14	地元で採れた農水産物をすすんで食べたいと思いますか。 ・・・・・・・・・28
問 15	市の農林水産業振興への取組みで、何が重要と考えますか。 ・・・・・・・29
問 16	主にどこで日常生活の買い物をしますか。30
問 17	市の商工業振興への取組みで、何が重要と考えますか。 ・・・・・・・・・31
問 18	市の観光資源となりうるものは何だと思いますか。 ・・・・・・・・・・・32
問 19	市の観光振興への取組みで、何が重要と考えますか。 ・・・・・・・・・・33
問 20	現在の就労状況について、どのように感じていますか。 34
問 21	市の雇用対策として、何が重要と考えますか。 ・・・・・・・・・・・35
Ⅱ-4 生活	5環境について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
問 22	匝瑳市は、快適に生活できる住環境であると思いますか。 ・・・・・・・・36
問 23	あなたにとって住みやすい住環境とはどのような環境ですか。 ・・・・・・・37
問 24	あなたが住んでいる地区は、災害などに対して安全だと思いますか。 ・・・・・・ 38
問 25	市の安全なまちづくりへの取組みで、何が重要と考えますか。 ・・・・・・・・・・40
問 26	市内および周辺地域への移動が便利な地域だと思いますか。 ・・・・・・・・・・・ 41
問 26-1	何が最も不便だと感じますか。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
問 27	ホームページを見たり、メールのやりとりをしていますか。 ・・・・・・・・・・・ 43
問 27-1	インターネットを利用して、どのように感じていますか。・・・・・・・・・・・ 44
問 28	普段の生活で、環境に配慮した行動を行っていますか。 ・・・・・・・・・・・ 45
問 29	市の自然環境保全への取組みで、何が重要と考えますか。 ・・・・・・・・・・・ 46
Ⅱ-5 教育	育・文化について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47
問 30	学校と家庭、地域との連携がとれていると思いますか。 ・・・・・・・・・・・47
問 31	学校が安心して学ぶことができる場となっていると思いますか。 ・・・・・・・・・ 48
問 32	小・中学校運営において、何が重要な取組みと考えますか。 ・・・・・・・・・・49
問 33	虐待や暴力、差別など人種を侵害する行為があると思いますか。 ・・・・・・ 50
問 34	市の人権問題への取組みで、何が重要と考えますか。 ・・・・・・51
問 35	次の余暇活動に参加していますか。また今後参加したい活動は何ですか。・・・・・52
問 36	市の生涯学習・スポーツ、文化活動への取組みで、何が重要と考えますか。・・・・ 54
問 37	地域の伝統や文化に愛着を感じていますか。 ・・・・・・・・・ 55
Ⅱ-6 行則	す政運営について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
問 38	市の行財政運営に関心がありますか。・・・・・・・・56
問 39	まちづくりや地域づくりに参加したいと思いますか。 ・・・・・・・・ 57
問 40	市の広報紙(広報そうさ)を見たことがありますか。 ・・・・・・・・・ 59

	問 41	市のホームページを見たことがありますか。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	問 42	市長への手紙やメール等を通じて市に対して意見を出したことがありますか。・・61
	問 43	市の行財政運営に関して情報の提供や公開が十分と感じていますか。 ・・・・・・・62
	問 44	新しいまちづくりを進める取組みで、何が重要と考えますか。 ・・・・・・・・・63
	問 45	市の行財政改革の取組みで、何が重要と考えていますか。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	問 46	市の手続きや問い合わせ等で不都合を感じたことは何ですか。 ・・・・・・・・・65
	Ⅱ-7 まな	らづくりの評価について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・66
	問 47	それぞれの施策について、あなたの満足度および重要度をお聞かせ下さい。・・・・66
Ш	その他・	自由意見 · · · · · · · · · · · · · · · · · 71

I 調査の概要

Ⅱ-1 調査の目的と実施概要

1 調査の目的

「匝瑳市総合計画前期基本計画」が平成23年度で最終年度を迎えることから、 平成24年度から平成27年度を計画年度とする「匝瑳市総合計画中期基本計画」の 策定にあたり、市民の意見をうかがい、計画策定の参考とすることを目的として実 施しました。

2 調査の概要

○ 調査対象:市内在住の16歳以上の方から無作為抽出

○ 調査期間: 平成22年12月1日 ~ 平成22年12月17日

○ 調 査 方 法:郵送配布・回収

○ 配布・回収:

種別	配布数	回収数	回収率
合計	2,000	804 票	40.2%

3 報告書のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分比による集計では、回答者数(該当質問においては該当者数)を 100% として算出し、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第 2 位以下 を四捨五入し、小数第 1 位までを表記します。また、複数回答の設問では、 すべての比率の合計が 100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることをあらわ します。
- 母数が 100 未満の場合の百分率は、統計的誤差が大きい可能性が高いので数値の取扱いには特に注意が必要となります。

I-2 結果の概要および考察

保健・医療・福祉について

○8割以上が健康的な生活を送れていると感じている

健康的な生活を送れていると感じている人は、「とても感じている」と「ある程度感じている」を合わせると8割以上となっています。前回調査も8割以上が健康を感じていましたが、今回調査では「とても感じている」人の割合が増加しており、健康感がより増している結果となっています。

特に 10・20 歳代を中心に若い世代で「とても感じている」人の割合が高くなっています。 一方で、若い世代では、健康のために「特になにもしていない」の割合が 4 割を超えるな ど、健康に対する意識は決して高いとは言えません。生活習慣病の予防においては若い頃 からの健全な生活習慣が重要なことから、若い世代に対する健康に対する意識の醸成が必 要です。

〇当事者は「経済的支援」を望む声が大きい

6 割以上の人が、匝瑳市が子育てしやすい地域だと思っており、そう思わない人の割合を上回っています。前回調査と比べてもやや増加しています。しかしながら、妊産婦や乳幼児がいる世帯では他の世帯と比べて「あまり思わない」の割合が高くなっており、保育所(園)の充実が求められています。

高齢者や障がいのある人にとって暮らしやすい地域だと思う人は5割程度となっており、 そう思わない人を下回っています。ただし、介護を必要とする人がいる世帯では、暮らし やすい地域だと思う人の割合が思わない人の割合を上回っており、当事者のほうが評価が 高くなっています。

子育て支援においては妊産婦・乳幼児や小中学生がいる世帯、高齢者・障がい者施策においては介護を必要とする人や障がいのある人がいる世帯など、その当事者が重要視する取組みは、いずれも「経済的支援」の割合が最も高く、他の世帯と比べても高くなっており、経済的負担感の軽減が課題と言えます。

〇市民病院の機能強化が求められている

現在の医療体制について、「とても不安を感じる」が3割、「多少不安を感じる」が5割と、合わせて8割以上の人が不安に感じており、その充実が求められます。

医療環境への取組みとして、「市民病院の機能強化を図る」が 7 割近くと最も高く特に 60 歳代以上でその割合が高くなっています。一方、妊産婦や小さな子どもがいる若い世代 では「救急・休日・夜間医療の充実」の割合が高くなっており、いざというときに安心して受診できる医療体制の充実が求められています。

○祭りや風習・伝統文化を自慢したい人が多い

本市について、他の市町村の人に自慢したいことがある人は4割弱で、ない人の割合の ほうが高くなっています。前回調査と比べても自慢したいことがある人の割合が減少して おり、地域に対する誇りの醸成を図っていく必要があります。

自慢したい内容については、「祭りや風習、伝統文化」の割合が7割を超えており、前回から大きく伸びています。特に若い世代や商工・サービス・飲食・自由業従事者では9割以上が地域の自慢としてあげており、今後も地域の強みとして産業振興に活かしていくことが重要です。

○農林漁業の後継者の育成を課題としてあげている

農林水産業振興において重要な取組みとして、6割以上の人が「担い手を育成していく」 と回答しており、年代、職業問わず最も高い割合となっています。

一方、若い世代や会社員・団体職員・公務員等では、ブランド化への取組みや販路拡大の割合が他の職業と比べて高くなっています。職業として魅力ある産業に育てていくこと自体が後継者の育成にもつながるものと思われることから、関係機関や他分野との連携の中から農産物等の価値を高めつつ、積極的にPRしていくことが必要です。

○商業・観光拠点の整備と農商工連携が重要視されている

日常の買い物の場については、「市内の大規模店舗」が6割以上を占めており、「市内の商店」は1割強にとどまっています。また、商工業の振興に対する取組みにおいては、「利便性の高い商業拠点をつくる」の割合が最も高くなっており、便利で品揃えの豊富な商業施設の充実が求められています。

しかしながら、地元商店の活性化は、事業者の振興のみならず、コミュニティの活性化 や高齢者の買い物の場の確保にもつながることから、地域との連携した取組みについても 積極的に支援していく必要があります。

また、商工業振興や観光振興において、農林水産業など他分野との連携をあげる人の割合も高く、特に農林漁業従事者でその割合が高くなっています。植木や野菜、海産物などは本市の大きな強みであり、それらを活かした産業振興に取り組んでいく必要があります。

生活環境について

○6割の人が快適に生活できる住環境であると評価している

本市が快適に生活できる住環境であると思う人は、「とても思う」と「ある程度思う」を 合わせると 6 割以上となっています。特に 10・20 歳代では 7 割を超えており、評価が高く なっています。 快適な住環境の条件として、交通安全や防犯・防災など安全な環境や自然環境と調和した環境が求められていますが、年代や居住地区、世帯構成等によって快適な住環境の重要度も異なっていることから、地域のニーズを把握しながら、ハード・ソフト両面における計画的な整備を推進していかなければなりません。

○移動において公共交通網が少ないことを不便に感じている人が多い

市内および周辺地域への移動において、便利な地域だと思う人の割合より、不便な地域だと思う人の割合のほうが高くなっています。特に若い世代で不便だと感じている人の割合が高くなっているほか、共興地区、栄地区では8割以上が不便な地域だと回答しています。

不便だと感じる理由については、「電車やバスなどの公共交通網が少ない」が8割近くを 占めています。今後さらに進行する高齢化社会においては、公共交通は通院・通所、買い 物や余暇活動への参加等における重要な社会基盤であることから、関係機関や事業者等と 連携を取りながら、公共交通体系の確立を図っていくことは本市の重要課題のひとつと言 えます。

〇インターネットの利用においては、世代間の格差が顕著となっている

インターネットを利用してホームページを見たり、メールのやりとりをしている人は「いつも利用している」と「ときどき利用している」を合わせても4割弱にとどまっています。しかしながら、10・20歳代では8割以上が利用していますが、70歳以上では8割が利用していない状況となっており、世代間に利用状況の格差がみられます。

今後は、インターネットをはじめ、通信技術を活用した情報発信がますます増えてくる ことが予想されることから、利用に向けた支援を図っていく必要があります。

また、よく利用する世代ほど、情報流出を心配する回答の割合も高くなっており、セキュリティ対策の促進も必要になってきています。

○不法投棄への対策と自然環境を壊さない土地利用が求められている

普段の生活で、環境に配慮した行動を「いつも行っている」人は1割、「ある程度行っている」人は6割となっており、合わせて7割以上の人が環境に配慮した行動を行っていると回答しています。

自然環境の保全に向けた取組みでは、「不法投棄をなくす」と「豊かな自然環境を壊さない土地利用を行う」の割合が高くなっており、本市の豊かな自然環境の大切さについて意識啓発を図りながら、地域全体で見守り、保全していくための取組みに力を入れていく必要があります。

教育・文化について

○6割が学校と家庭、地域が連携していると回答、安全に対する評価も高い

子どもの教育について、学校と家庭、地域が連携していると思う人の割合は6割以上と

なっています。しかしながら「十分連携している」と回答した人は 3%程度にとどまって おり、連携に向けた一層の取組みが求められます。

子どもにとって学校が安心して学ぶことができる場となっていると思う人は8割近くにのぼり、評価が高くなっています。特に小・中学生がいる世帯では9割近くが「とても思う」もしくは「ある程度思う」と回答しており、当事者の評価が高いことがうかがえます。

学校運営において重要な取組みとして、「地域と協力しながら子どもたちの健全育成を図る」が最も高くなっているほか、教育指導体制の強化や子どもたちの安全を守る体制の強化が求められており、地域全体で学校運営を支えるしくみづくりのさらなる推進が必要です。

○余暇活動への参加意向が高まっている

余暇活動への参加状況について、地域の各種活動に参加している人は1~2割程度となっており、他市町村や外国の人たちとの交流においては4%にとどまっています。しかしながら、前回調査と比べるとその割合は若干増加しているほか、今後の参加意向は各活動とも大きく増加していることから、魅力ある活動の推進と参加しやすい環境づくりが求められます。

また、地区によっては地域の伝統文化の継承活動や他市町村・外国の人との交流活動が 盛んに行われている地区もあり、そうした特色ある活動に対する支援の充実も図っていく 必要があります。

○6割以上の人が地域の伝統や文化に愛着を感じている

地域の伝統や文化に愛着を感じている人は、「とても感じている」と「ある程度感じている」を合わせると6割以上が感じていると回答しています。しかしながら、30歳代以下では愛着を感じない人の割合が半数以上となっており、若い世代に対する地域の伝統文化に対する愛着の醸成が必要です。若者が自慢だと感じている祭りを活用しながら地域の伝統・文化への理解や愛着の醸成へとつなげていく取組みが求められます。

行財政運営について

○若い世代は行財政運営に関心がない人の割合が高い

市の行財政運営に関心がある人は、「とてもある」と「ある程度ある」を合わせると 6 割以上の人が「関心がある」と回答しています。しかしながら、10・20 歳代以下では、関心がない人の割合が関心のある人の割合を上回るなど、若い世代において行財政運営への関心の薄さがうかがえます。

まちづくりや地域づくり活動への参加状況においても 10・20 歳代の参加は他の年代と比べて低く、30 歳代から 50 歳代の参加割合が高くなっています。若い世代では、市の行財政運営に関する情報提供や公開が不十分であると感じる人の割合も多いことから、若者世代が興味を示すような情報提供の内容および媒体を検討していくことで、行財政運営に対して関心を持つようにしていくことが求められます。

○行財政改革では、職員給与・定員の適正管理を求める声が多い

市の行財政改革において重要な取組みとして、「職員給与・定員の適正な管理を行う」が 5割以上で最も高くなっています。

市民と行政による協働のまちづくりにおいては、「市の施策・事業に関する情報を積極的に公開する」が最も高くなっていますが、若い世代では、地域の自主的な取組みやボランティア等の育成支援をあげる人の割合も比較的高くなっており、「地域経営」の視点から、地域資源を最大限活用した地域ぐるみのまちづくりを推進していくための中核をなす組織体制・人材育成が必要です。

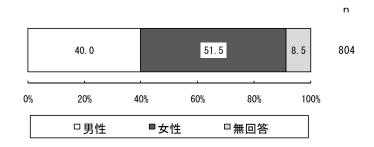
Ⅱ 調査結果

Ⅱ-1 ご本人(あなた)のくらしについて

問1 あなた自身について、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。(そうれぞれ1つにO)

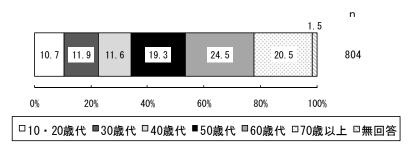
(1)性別

「男性」が40.0%、「女性」が51.5%となっています。



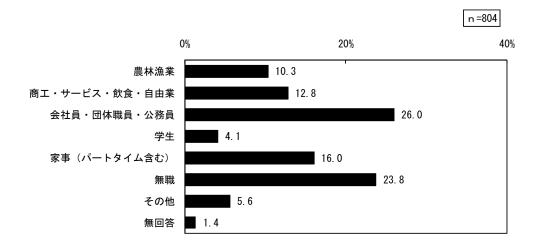
(2)年齢

「60歳代」の割合が24.5%で最も高く、次いで「70歳以上」(20.5%)、「50歳代」(19.3%)、「30歳代」(11.9%)と続いています。



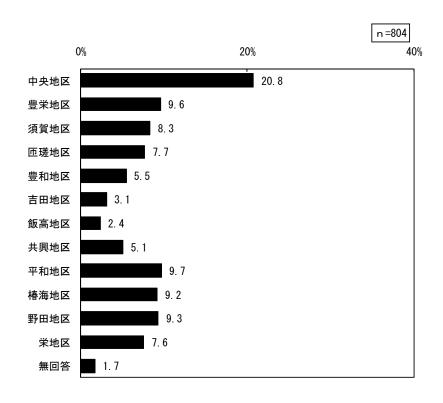
(3) 職業

「会社員・団体職員・公務員」の割合が 26.0%で最も高く、次いで「無職」(23.8%)、「家事(パートタイム含む)」(16.0%)、「商工・サービス・飲食・自由業」(12.8%) と続いています。



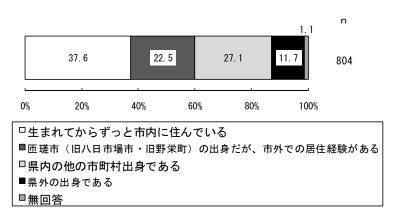
(4)居住地区

「中央地区」の割合が 20.8%で最も高く、次いで「平和地区」(9.7%)、「豊栄地区」(9.6%)、「野田地区」(9.3%) と続いています。



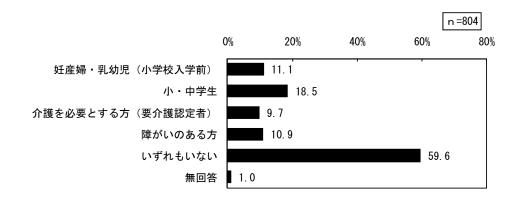
(5) 現在の地域に住んでいる状況

「生まれてからずっと市内に住んでいる」人の割合が37.6%で最も高く、次いで「県内の他の市町村出身である」(27.1%)、「匝瑳市の出身だが、市外での居住経験がある」(22.5%)、「県外の出身である」(11.7%)と続いています。



問2 あなた自身、またはあなたが同居している家族のなかに、次の方はいますか。(あてはまるものすべてに〇)

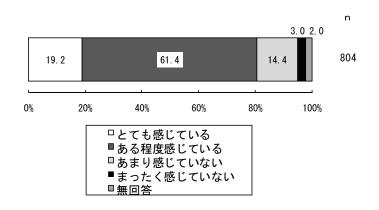
「いずれもいない」の割合が 59.6%で最も高く、次いで「小・中学生」(18.5%)、「妊産婦・乳幼児(小学校入学前)」(11.1%)、「障がいのある方」(10.9%) と続いています。



Ⅱ-2 保健・医療・福祉について

問3 あなたは、現在、健康的な生活を送れていると感じていますか。(1つに〇)

「ある程度感じている」と回答した人の割合が 61.4%で最も高く、「とても感じている」と回答した人と合わせると、8割以上の人が健康的な生活を送れていると感じています。 前回調査と比較すると、「とても感じている」と回答した人の割合が高くなっています。



【前回調査との比較】

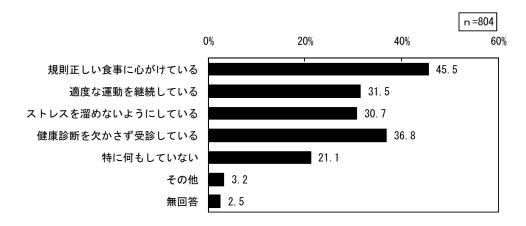
選択肢	前回	今 回	変 化
とても感じている	13. 1	19. 2	6. 1
ある程度感じている	67. 7	61.4	-6. 3
あまり感じていない	15. 2	14.4	-0.8
まったく感じていない	2. 7	3. 0	0.3

○年齢別にみると、30歳代までは「とても感じている」と回答した人の割合が他の年代と比べて高くなっています。一方、50歳代では、他の年代と比べて「とても感じている」人の割合が低く、「あまり感じていない」人の割合が高くなっています。

		問3 健康的7	な生活			
	合 計	とても感じ ている	ある程度感 じている	あまり感じ ていない	まったく感 じていない	無回答
全体	804	19. 2	61. 4	14. 4	3.0	2. 0
男性	322	17. 4	61.5	16. 5	3.4	1. 2
女性	414	20.8	61.6	13. 3	2. 9	1.4
10・20歳代	86	36.0	50.0	10. 5	3.5	0.0
30歳代	96	27. 1	59. 4	10. 4	2. 1	1.0
40歳代	93	20. 4	61.3	10. 8	4. 3	3. 2
50歳代	155	11.0	60.0	20. 6	5. 2	3. 2
60歳代	197	15. 2	66. 5	15. 2	2. 5	0. 5
70歳以上	165	18. 2	64. 2	13. 9	1. 2	2. 4

じ問4 あなたが「健康」のために行っているものは何ですか。(あてはまるものすべてに○) ご

「規則正しい食事に心がけている」と回答した人の割合が45.5%で最も高く、次いで「健康診断を欠かさず受診している」(36.8%)、「適度な運動を継続している」(31.5%)、「ストレスを溜めないようにしている」(30.7%)と続いています。

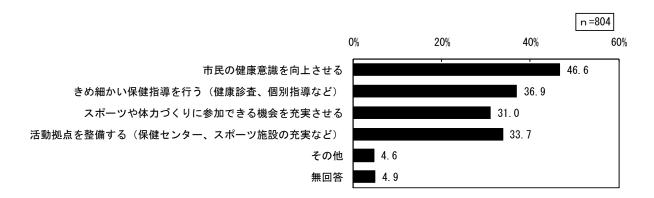


- ○女性のほうが「規則正しい食事に心がけている」人の割合が高くなっています。
- ○60 歳代以上では、「規則正しい食事に心がけている」人や「適度な運動を継続している」 人の割合が 50 歳代以下と比べて高くなっています。
- ○30歳代以下では、「特に何もしていない」人の割合が40歳代以上と比べて高く、また10・20歳代では、「健康診断を欠かさず受診している」人は2.3%にとどまっています。

		問4 健康	問4 健康のために行っていること					
	合計	規則正し い食事に 心がけて いる	適度な運 動を継続 している	ス を 溜 よ な し て い る に る る に る れ る に る に る に る た る た る た る た る た る た る た	健康な 変 変 変 が き で い る	特に何も していな い	その他	無回答
全体	804	45. 5	31. 5	30. 7	36.8	21.1	3. 2	2. 5
男性	322	40. 4	30. 7	31.4	34. 5	23. 3	4.0	1.6
女性	414	50. 2	30. 4	29. 5	38. 6	20. 3	1.9	1.7
10・20歳代	86	34. 9	20. 9	27. 9	2. 3	43.0	1.2	0.0
30歳代	96	41. 7	22. 9	25. 0	20.8	30. 2	2. 1	2. 1
40歳代	93	36.6	23. 7	31. 2	43.0	20. 4	3. 2	3. 2
50歳代	155	37. 4	23. 2	33. 5	43. 2	23. 2	3. 9	4. 5
60歳代	197	51.8	39. 6	29. 9	39. 1	17. 3	5. 1	1.0
70歳以上	165	60.0	44. 2	34. 5	50. 9	7. 9	1.2	2. 4

問5 市の健康増進への取組みで、何が重要と考えますか。(2つまで〇)

「市民の健康意識を向上させる」が 46.6%で最も高くなっています。他の取組みについても3割以上となっており、意見が分かれています。



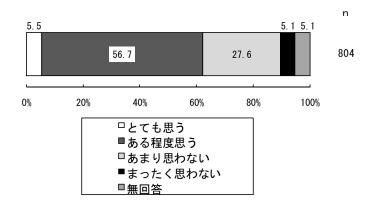
- ○30歳代以下では、「活動拠点を整備する」の割合が最も高くなっています。
- ○60 歳代以上では、「市民の健康意識を向上させる」の割合が他の年代と比べても高くなっています。

		問5 健康増進							
	合計	市民の健康 意識を向上 させる	きめ細かい 保健指導を 行う	スポーツや に参加できる機会を充 させる	活動拠点を 整備する	その他	無回答		
全体	804	46.6	36.9	31.0	33. 7	4. 6	4. 9		
男性	322	46.3	33. 9	28. 9	35. 4	6. 2	4. 0		
女性	414	47.8	39.9	32. 1	33. 3	3.6	4. 3		
10・20歳代	86	36.0	29. 1	36.0	45.3	3.5	1. 2		
30歳代	96	32.3	44. 8	38. 5	46. 9	6.3	2. 1		
40歳代	93	38.7	32. 3	28. 0	38. 7	4. 3	5. 4		
50歳代	155	44. 5	32. 3	33. 5	36. 1	5. 2	7. 1		
60歳代	197	52.3	36.5	36.0	25. 4	3.6	3. 6		
70歳以上	165	60.0	44. 8	17. 6	25. 5	4.8	6. 7		

問6 匝瑳市は、子育てをしていく上で、暮らしやすい地域だと思いますか。(1つにO)

「ある程度思う」と回答した人が 56.7%で最も高く、「とても思う」を合わせると 6 割以上が暮らしやすい地域だと思うと回答しています。

前回調査と比較しても、「とても思う」、「ある程度思う」ともにやや増加し、「あまり思わない」の割合が減少しています。



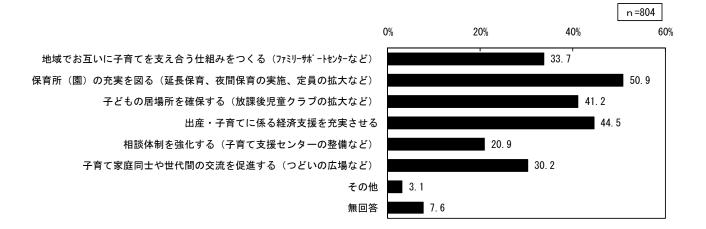
選択肢	前回	今 回	変 化
とても思う	3. 2	5. 5	2. 3
ある程度思う	53.8	56.7	2. 9
あまり思わない	34. 2	27. 6	-6.6
まったく思わない	5. 4	5. 1	-0.3

- ○70 歳代以上では「とても思う」の割合が他の年代と比べて高く、年齢が若いほど、「まったく思わない」の割合が高くなっています。
- ○妊産婦・乳幼児がいる世帯では「あまり思わない」の割合が他の世帯と比べて高くなっています。一方、小・中学生のいる世帯では、他の世帯とあまり差は見られません。

		問6 暮らしや	問6 暮らしやすい地域					
	合計	とても思う	ある程度思 う	あまり思わ ない	まったく思 わない	無回答		
全体	804	5. 5	56.7	27. 6	5. 1	5. 1		
男性	322	5. 3	57. 1	27. 3	5. 6	4. 7		
女性	414	5. 3	57.0	28. 7	4. 8	4. 1		
10・20歳代	86	7. 0	53. 5	25. 6	10. 5	3. 5		
30歳代	96	2. 1	53. 1	33.3	10.4	1.0		
40歳代	93	4. 3	53.8	32.3	6.5	3. 2		
50歳代	155	2. 6	58. 1	29.0	4. 5	5. 8		
60歳代	197	4. 6	56.9	31.5	3. 6	3. 6		
70歳以上	165	11. 5	60.6	17. 0	1. 2	9. 7		
妊産婦・乳幼児	89	3. 4	53.9	34.8	6.7	1.1		
小・中学生	149	6. 0	57. 0	27. 5	6.7	2. 7		
介護を必要とする方	78	3. 8	61.5	23. 1	3.8	7. 7		
障がいのある方	88	4. 5	56.8	27. 3	2. 3	9. 1		
いずれもいない	479	6. 1	56. 4	26. 9	5. 2	5. 4		

問7 市の子育て支援への取組みで、何が重要と考えますか。(3つまでO)

「保育所(園)の充実を図る」の割合が50.9%で最も高く、次いで「出産・子育てに係る経済的支援を充実させる」(44.5%)、「子どもの居場所を確保する」(41.2%)、「地域でお互いに子育てを支え合う仕組みをつくる」(33.7%)と続いています。

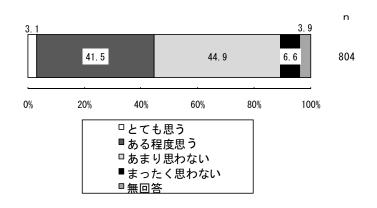


- ○30 歳代以下および妊産婦・乳幼児や小中学生がいる世帯では、「出産・子育てにかかる経済的支援」の割合が最も高くなっています。
- ○また、妊産婦・乳幼児や小中学生がいる世帯では、「子どもの居場所の確保」の割合も高くなっています。

		問7 子育	て支援に重	重要な取り	組み				
	合計	地域に子 育てをう える 組み	保育所の 充実	子どもの 居場所を 確保	出産・子 育てに係 る経済支 援		子育て家 庭同士や 世代間の 交流を促 進		無回答
全体	804	33.7	50.9	41. 2	44. 5	20. 9	30.2	3. 1	7. 6
男性	322	36. 6	48. 1	37. 6	45. 7	19.6	30. 1	2. 5	7. 1
女性	414	31.6	53. 9	44. 2	45. 7	21.3	30. 2	3.9	6.8
10・20歳代	86	34. 9	55.8	39.5	59.3	20. 9	33. 7	2. 3	1. 2
30歳代	96	24. 0	52. 1	47. 9	68.8	25. 0	15.6	9.4	2. 1
40歳代	93	31. 2	51.6	39.8	49.5	21.5	22. 6	4. 3	7. 5
50歳代	155	34. 8	53. 5	44. 5	40.0	17. 4	27.7	2. 6	6. 5
60歳代	197	36. 5	48. 7	36.5	37. 1	22. 8	38. 1	2. 5	7. 6
70歳以上	165	35. 2	48. 5	41. 2	34. 5	20.0	35. 2	0.0	13. 9
妊産婦・乳幼児	89	30. 3	58. 4	50.6	58. 4	19. 1	25.8	11. 2	1.1
小・中学生	149	24. 8	51.0	49.0	53.0	16. 1	24. 8	6.0	4. 7
介護を必要とする方	78	33. 3	38. 5	32. 1	43.6	20. 5	37. 2	2. 6	12. 8
障がいのある方	88	25. 0	42. 0	37. 5	40.9	29. 5	20. 5	4. 5	14. 8
いずれもいない	479	36. 1	52. 4	39. 5	41.3	21. 9	33.6	1. 7	7. 5

問8 匝瑳市は、高齢者や障がいのある方にとって暮らしやすい地域だと思いますか。 (1つに〇)

「あまり思わない」と回答した人の割合が 44.9%で最も高く、「まったく思わない」と合わせると5割を超えており、「(とても+ある程度) 思う」人の割合を上回っています。前回調査と比較すると、「思う」人の割合がやや減少しているものの、大きな変化は見られません。



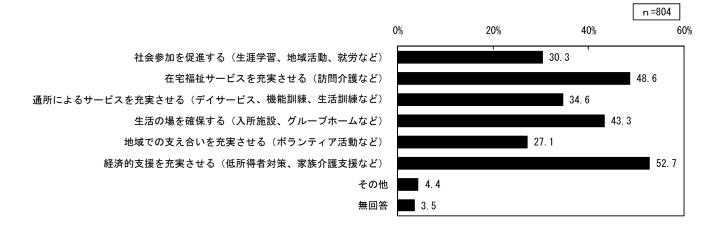
選択肢	前回	今 回	変化
とても思う	3. 3	3. 1	-0. 2
ある程度思う	42. 7	41.5	-1. 2
あまり思わない	43.6	44. 9	1. 3
まったく思わない	7. 1	6.6	-0. 5

- ○60 歳代以上では、「ある程度思う」の割合が最も高くなっており、特に 70 歳以上では 6 割以上が暮らしやすい地域だと思うと回答しています。
- ○また、介護を必要とする高齢者がいる世帯でも「ある程度思う」の割合が5割を超えています。
- ○一方、若い世代ほど「思わない」人の割合が多くなっており、30歳代以下では「まったく 思わない」人の割合が1割以上となっています。

		問8 高齢者や	障害者にとっ	て暮らしやす	い地域	
	合 計	とても思う	ある程度思 う	あまり思わ ない	まったく思 わない	無回答
全体	804	3. 1	41.5	44. 9	6.6	3.9
男性	322	3. 1	40.4	44. 1	8. 7	3.7
女性	414	2. 7	44. 4	45. 4	4. 6	2. 9
10・20歳代	86	5.8	31.4	50.0	11.6	1.2
30歳代	96	0.0	39.6	47. 9	10.4	2. 1
40歳代	93	4. 3	35.5	51.6	4. 3	4. 3
50歳代	155	1. 3	33.5	53. 5	5. 8	5.8
60歳代	197	3.0	44. 2	43. 1	6. 1	3.6
70歳以上	165	4. 8	56.4	30.9	4.8	3.0
妊産婦・乳幼児	89	2. 2	31.5	58.4	5. 6	2. 2
小・中学生	149	4. 7	35.6	50.3	6.7	2.7
介護を必要とする方	78	0.0	53.8	38. 5	5. 1	2. 6
障がいのある方	88	3. 4	39.8	45. 5	5. 7	5. 7
いずれもいない	479	3. 1	42.8	42. 6	7. 5	4. 0

問9 高齢者や障がいのある方に対する施策として、何が重要と考えますか。(3つまで〇)

「経済的支援を充実させる」が 52.7% と最も高く、「在宅福祉サービスを充実させる」 (48.6%)、「生活の場を確保する」 (43.3%) も 4 割を超えています。



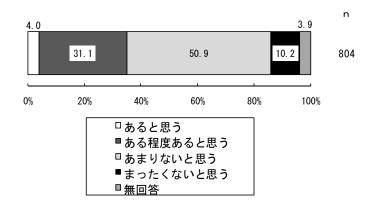
- ○介護を必要とする高齢者や障がいのある方がいる世帯では、他の世帯と比べて「経済的支援を充実させる」の割合がやや高く、6割を超えています。
- ○男性では「社会参加を促進する」が、女性では「生活の場を確保する」が、それぞれ他の 性別と比べて高くなっています。

		問9 高齢	常者や障害 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	者に対する	る重要な施	策			
	合 計	社会参加 を促進	在宅福祉 サービス を充実	通所によ るサービ スを充実	生活の場 を確保	地域での 支え合い を充実	経済的支 援を充実	その他	無回答
全体	804	30. 3	48.6	34. 6	43. 3	27. 1	52. 7	4. 4	3. 5
男性	322	36.0	44. 7	37. 0	38. 5	25. 2	54. 3	5. 0	2. 5
女性	414	26. 6	50.0	32.6	47. 1	27. 8	53. 9	4. 1	3.4
10・20歳代	86	31.4	51.2	41.9	44. 2	29. 1	55.8	3. 5	2. 3
30歳代	96	31.3	37. 5	39.6	43.8	22. 9	56.3	4. 2	1.0
40歳代	93	30. 1	48. 4	34. 4	40. 9	19. 4	57.0	8.6	4. 3
50歳代	155	29. 0	48. 4	31.0	48. 4	25. 8	51.6	4. 5	3. 9
60歳代	197	31.5	50.8	34. 5	44. 2	27. 9	55.8	2. 0	1.5
70歳以上	165	28. 5	52.7	32.7	38.8	33. 3	45. 5	5. 5	5. 5
妊産婦・乳幼児	89	33. 7	42.7	34.8	52. 8	19. 1	57. 3	3.4	1.1
小・中学生	149	36. 2	46.3	30. 9	44. 3	21.5	53. 7	4. 7	2. 7
介護を必要とする方	78	21.8	52.6	37. 2	44. 9	23. 1	60.3	2. 6	2. 6
障がいのある方	88	29. 5	37. 5	28. 4	43. 2	18. 2	60. 2	9. 1	3. 4
いずれもいない	479	30. 1	50.9	35.7	42. 8	31.9	50. 1	4. 4	3. 5

問10 あなたの暮らす地区は、高齢者や障がいのある方、子育て家庭などを、お互いに支え合う雰囲気があると思いますか。(1つに〇)

「あまりないと思う」が 50.9%と 5 割を超えており、「まったくないと思う」も 1 割以上となっています。

前回調査と比較すると、「ある程度あると思う」の割合がやや増加し、「あまりないと思う」の割合がやや減少しています。



選択肢	前回	今 回	変化
あると思う	5. 5	4. 0	-1.5
ある程度あると思う	27. 9	31.1	3. 2
あまりないと思う	55. 5	50.9	-4. 6
まったくないと思う	9. 7	10. 2	0. 5

- ○いずれの年代、世帯においても、あると思う人の割合より、ないと思う人の割合が高くなっています。
- ○特に30歳代以下では、「まったくないと思う」人の割合が2割近くと高くなっています。
- ○地区別にみると、中央地区、豊和地区では、あると思う人の割合のほうが、ないと思う人の割合を上回っています。一方、椿海地区、野田地区、豊栄地区、須賀地区などでは、ないと思う人の割合が比較的高くなっています。

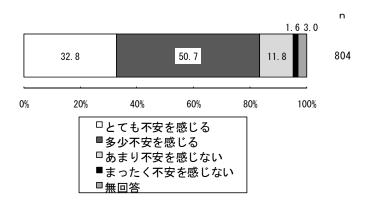
		問10 支え合	う雰囲気			
	合 計	あると思う	ある程度あ ると思う	あまりない と思う	まったくな いと思う	無回答
全体	804	4. 0	31.1	50.9	10. 2	3.9
男性	322	4. 7	31.7	50.3	10.6	2.8
女性	414	2. 4	32. 1	52. 2	9. 9	3.4
10・20歳代	86	5.8	24. 4	51.2	17. 4	1. 2
30歳代	96	1.0	35.4	41.7	19.8	2. 1
40歳代	93	5. 4	38.7	46.2	6. 5	3. 2
50歳代	155	1. 3	26. 5	59.4	7. 1	5. 8
60歳代	197	4. 1	28. 9	56.3	8. 1	2. 5
70歳以上	165	6. 7	34. 5	44. 8	9. 1	4. 8
妊産婦・乳幼児(小学校	89	1. 1	28. 1	51.7	15. 7	3.4
小・中学生	149	4. 0	28. 9	52.3	10. 1	4.7
介護を必要とする方(要	78	5. 1	34.6	48. 7	9. 0	2. 6
障がいのある方	88	2. 3	26. 1	52.3	14. 8	4. 5
いずれもいない	479	4. 4	31.5	50.7	9. 6	3.8

		問10 支え合	う雰囲気			
	合 計	あると思う	ある程度あ ると思う	あまりない と思う	まったくな いと思う	無回答
全体	804	4. 0	31.1	50.9	10.2	3. 9
中央地区	167	6. 6	41.3	41.3	6.0	4. 8
豊栄地区	77	0.0	29. 9	55.8	11.7	2. 6
須賀地区	67	0.0	29. 9	61.2	6.0	3. 0
匝瑳地区	62	1.6	35.5	48.4	12. 9	1.6
豊和地区	44	4. 5	45.5	38.6	6.8	4. 5
吉田地区	25	8. 0	36.0	52.0	4. 0	0.0
飯高地区	19	5. 3	36.8	57.9	0.0	0.0
共興地区	41	4. 9	31.7	46.3	14. 6	2. 4
平和地区	78	3.8	25. 6	52.6	11.5	6. 4
椿海地区	74	4. 1	20. 3	60.8	13. 5	1.4
野田地区	75	1. 3	22. 7	57.3	12. 0	
栄地区	61	9.8	21.3	49.2	16.4	3. 3

問11 あなたは、現在の医療体制をどう感じていますか。(1つに〇)

「多少不安を感じる」と回答した人の割合が50.7%と最も高く、「とても不安を感じる」も3割を超えており、8割以上の人が医療体制に不安を感じています。

前回調査と比較すると、「とても不安を感じる」の割合がやや減少しています。



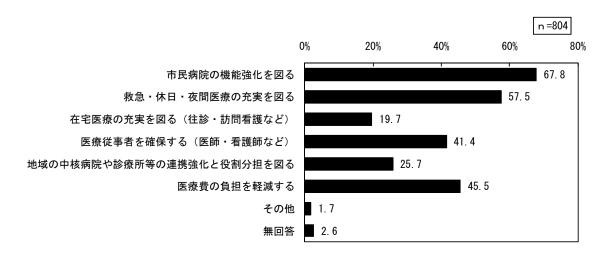
選択肢	前回	今 回	変 化
とても不安を感じる	35. 5	32.8	-2. 7
多少不安を感じる	50.8	50.7	-0.1
あまり不安を感じない	10.9	11.8	0.9
まったく不安を感じない	1. 2	1.6	0.4

- ○年齢別では、特に30歳代で不安に感じる人の割合が高くなっています。
- ○障がいのある方がいる世帯では、「とても不安に感じている」人の割合が最も高い一方、 他の世帯と比べて「多少不安に感じている」人の割合が低く、「あまり不安に感じない」 人の割合が高くなっています。

		問11 現在の	医療体制			
	合計	とても不安 を感じる	多少不安を 感じる	あまり不安 を感じない	まったく不 安を感じな い	無回答
全体	804	32. 8	50.7	11.8	1.6	3.0
男性	322	36.0	48.8	11.8	1. 6	1. 9
女性	414	30. 4	52. 7	12. 3	1. 7	2. 9
10・20歳代	86	26. 7	54. 7	16.3	2. 3	0.0
30歳代	96	40. 6	51.0	4. 2	3. 1	1.0
40歳代	93	37. 6	48. 4	9. 7	1. 1	3. 2
50歳代	155	35. 5	47. 1	12. 3	1. 3	3. 9
60歳代	197	32. 5	50.3	13. 7	1. 0	2. 5
70歳以上	165	26. 1	55. 2	13. 3	1. 2	4. 2
妊産婦・乳幼児	89	38. 2	51.7	5. 6	2. 2	2. 2
小・中学生	149	36. 9	46.3	14. 8	0. 7	1. 3
介護を必要とする方	78	38. 5	52.6	6. 4	1. 3	1. 3
障がいのある方	88	39. 8	36.4	18. 2	1. 1	4. 5
いずれもいない	479	29. 6	53.7	11. 7	1.9	3. 1

問12 地域の医療環境への取組みで、何が重要と考えますか。(3つまでO)

「市民病院の機能強化を図る」が 67.8%で最も高く、次いで「救急・休日・夜間医療の充実を図る」(57.5%)、「医療費の負担を軽減する」(45.5%)、「医療従事者を確保する」(41.4%) と続いています。



- ○60 歳代以上では、「市民病院の機能強化」の割合が高く、また、70 歳以上では「在宅医療の充実」が他の年代と比べて高くなっています。
- ○40 歳代以下および妊産婦・乳幼児がいる世帯では、「救急・休日・夜間医療の充実」の割合が最も高くなっています。

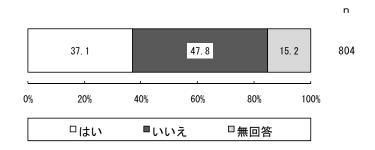
		問12 医	療関係への)重要な取	り組み				
	合 計	市民病院 の機能強 化	救急・休 日・夜間 医療の充 実	在宅医療 の充実	医療従事 者を確保		医療費の 負担を軽 減	その他	無回答
全体	804	67.8	57. 5	19. 7	41.4	25. 7	45.5	1.7	2. 6
男性	322	66. 1	59.6	17. 1	44. 7	24. 8	46.0	2. 2	2. 2
女性	414	68.6	56.5	20.8	41.1	26. 3	45.9	1.4	1.9
10・20歳代	86	55.8	76. 7	12. 8	46. 5	24. 4	48.8	7. 0	0.0
30歳代	96	60.4	70.8	9.4	45.8	25. 0	52. 1	1.0	2. 1
40歳代	93	61.3	61.3	19.4	43.0	19. 4	49.5	0.0	4. 3
50歳代	155	63. 9	52. 3	15.5	40.6	27.7	45.8	2. 6	3. 9
60歳代	197	76. 6	49. 2	23. 9	39. 1	27. 4	45. 7	0.5	1.0
70歳以上	165	75.8	52. 7	28. 5	40.0	26. 7	37.0	1.2	3.0
妊産婦・乳幼児	89	62. 9	69. 7	10. 1	43.8	32. 6	49.4	2. 2	2. 2
小・中学生	149	73.8	65. 1	12. 1	38. 9	19. 5	49.0	2. 0	2. 0
介護を必要とする方	78	65. 4	52. 6	23. 1	34.6	28. 2	48. 7	2. 6	
障がいのある方	88	62. 5	50.0	17. 0	35. 2	30. 7	51.1	2. 3	4. 5
いずれもいない	479	67.8	54. 9	22. 8	43.0	26. 3	42.8	1. 7	2. 1

Ⅱ-3 産業・経済について

問13 あなたは、匝瑳市について他の市町村の人に自慢したいことはありますか。 (1つに〇)

「はい」が 37.1%、「いいえ」が 47.8%で、自慢したいことがない人の割合のほうが、 ある人の割合を上回っています。

前回調査と比較すると、「はい」、「いいえ」のどちらも減少しています。



選択肢	前回	今回	変 化
はい	43.0	37. 1	-5. 9
いいえ	52. 3	47.8	-4. 5

- ○男性より女性のほうが「はい」の割合が高くなっています。
- ○10・20歳代では、「はい」と「いいえ」が同じ割合になっており、また、学生では6割近くが「はい」と回答するなど、若い年代ほど自慢したいことがある人の割合が高くなっています。
- ○県外出身者では、6割近くの人が「いいえ」と回答しています。
- ○中央地区および豊和地区では、「はい」の割合が「いいえ」の割合を上回っています。一 方、豊栄地区および須賀地区では「いいえ」の割合が他の地区と比べて高くなっています。

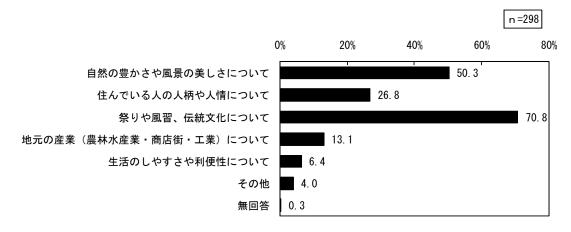
		問13 匝瑳市	の自慢	
	合計	はい	いいえ	無回答
全体	804	37. 1	47. 8	15. 2
男性	322	33. 5	52. 2	14. 3
女性	414	40. 1	44. 7	15. 2
10・20歳代	86	48.8	48.8	2. 3
30歳代	96	34. 4	61.5	4. 2
40歳代	93	40. 9	49. 5	9.7
50歳代	155	36. 1	53. 5	10.3
60歳代	197	38. 6	45. 7	15. 7
70歳以上	165	29. 1	35. 8	35. 2
生まれてからずっと市内	302	38. 7	44.7	16.6
市外居住経験あり	181	40. 3	48. 1	11.6
県内の他の市町村出身	218	34. 4	48. 2	17. 4
県外の出身	94	29.8	58. 5	11. 7

		問13	匝瑳市	の自慢	
	合 計	はい		いいえ	無回答
全体	804		37. 1	47. 8	15. 2
農林漁業	83		41.0	36. 1	22. 9
商工・サービス・飲食・自由業	103		39.8	43. 7	16. 5
会社員・団体職員・公務員	209		37.8	56.0	6. 2
学生	33		57.6	39. 4	3. 0
家事(パートタイム含む)	129		35.7	53. 5	10. 9
無職	191		30.4	46. 6	23. 0
その他	45		37.8	40.0	22. 2
中央地区	167		46.7	36. 5	16.8
豊栄地区	77		28.6	57. 1	14. 3
須賀地区	67		29. 9	59. 7	10. 4
匝瑳地区	62		35.5	48. 4	16. 1
豊和地区	44		45.5	38. 6	15. 9
吉田地区	25		40.0	44. 0	16.0
飯高地区	19		36.8	36.8	26. 3
共興地区	41		39.0	51. 2	9. 8
平和地区	78		38. 5	50. 0	11.5
椿海地区	74		24. 3	52. 7	23. 0
野田地区	75		37. 3	50. 7	12. 0
栄地区	61		36. 1	50.8	13. 1

○問 13-1 それはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「祭りや風習、伝統文化について」が 70.8%で最も高く、「自然の豊かさや風景の美しさについて」も5割を超えています。

前回調査で最も高かった「自然の豊かさや風景の美しさについて」が減少し、「祭りや風習、伝統文化について」が大きく伸びています。また、「生活のしやすさや利便性について」は大きく減少しています。



選択肢	前回	今 回	変化
自然の豊かさや風景の美しさ	57. 4	50.3	-7. 1
住んでいる人の人柄や人情	27. 0	26. 3	-0.7
祭りや風習、伝統文化	51. 2	70.8	19.6
地元の産業	12. 2	13. 1	0.9
生活のしやすさや利便性	17. 1	6.4	-10.7
その他	3. 4	4. 0	0.6

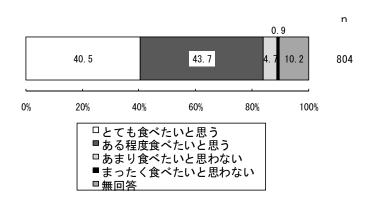
- ○10・20歳代、商工・サービス・飲食・自由業、学生では、約9割の人が「祭りや風習、伝統文化」を自慢したいと回答しています。
- ○70歳以上では、「生活のしやすさや利便性」の割合が他の年代と比べて高くなっています。
- ○飯高地区、共興地区、野田地区、豊和地区、吉田地区、栄地区では、「自然の豊かさや風景の美しさ」の割合が最も高くなっています。

		問13-1 自愎	曼内容					
	合 計	自然の豊 かさや風 景の美し さ	住んでい る人の人 柄や人情	祭りや風 習、伝統 文化	地元の産 業	生活のし やすさや 利便性	その他	無回答
全体	298	50.3	26.8	70. 8	13. 1	6. 4	4. 0	0.3
男性	108	49. 1	26. 9	65. 7	16.7	9. 3	6. 5	0.0
女性	166	50.6	24. 7	74. 7	10.8	4. 8	3.0	0.6
10・20歳代	42	50.0	21.4	90. 5	14. 3	4. 8	2. 4	0.0
30歳代	33	39. 4	15. 2	78. 8	18. 2	0.0	6. 1	0.0
40歳代	38	47. 4	23. 7	68. 4	13. 2	0.0	2. 6	0.0
50歳代	56	50.0	25. 0	69. 6	8.9	7. 1	5. 4	0.0
60歳代	76	52. 6	32. 9	57. 9	14. 5	6. 6	6.6	1.3
70歳以上	48	56.3	33. 3	72. 9	12.5	16. 7	0.0	0.0
農林漁業	34	52. 9	32. 4	50.0	26.5	11.8	2. 9	2. 9
商工・サービス・飲食・自由業	41	51. 2	29. 3	92. 7	9.8	7. 3	4. 9	0.0
会社員・団体職員・公務員	79	41.8	19.0	68. 4	8.9	2. 5	8. 9	0.0
学生	19	52. 6	21.1	89. 5	15. 8	5. 3	0.0	0.0
家事(パートタイム含む)	46	43. 5	34. 8	69. 6	15. 2	2. 2	0.0	0.0
無職	58	55. 2	29. 3	62. 1	12.1	12. 1	3. 4	0.0
その他	17	70. 6	29. 4	82. 4	5. 9	5. 9	0.0	0.0
中央地区	78	51.3	21.8	91.0	3.8	3. 8	3.8	0.0
豊栄地区	22	45. 5	27. 3	72. 7	18. 2	4. 5	4. 5	0.0
須賀地区	20	40.0	15.0	75. 0	25. 0	10.0	5. 0	0.0
匝瑳地区	22	31.8	22. 7	77. 3	4. 5	0.0	0.0	0.0
豊和地区	20	60.0	40.0	55. 0	5. 0	5. 0	5. 0	0.0
吉田地区	10	60.0	40.0	60.0	20.0	20. 0	0.0	0.0
飯高地区	7	71. 4	14. 3	57. 1	0.0	0.0	0.0	0.0
共興地区	16	62.5	31.3	62. 5	18.8	0.0	0.0	0.0
平和地区	30	40.0	36.7	66. 7	26.7	6. 7	0.0	3. 3
椿海地区	18	38. 9	16.7	66. 7	38. 9	22. 2	11.1	0.0
野田地区	28	60. 7	32. 1	50.0	7. 1	7. 1	7. 1	0.0
栄地区	22	59. 1	36.4	54. 5	9. 1	9. 1	9. 1	0.0
生まれてからずっと市内	117	49. 6	26. 5	78. 6	12. 8	6. 8	2. 6	0. 9
市外居住経験あり	73	50. 7	24. 7	68. 5	6.8	4. 1	5. 5	0.0
県内の他の市町村出身	75	49. 3	25. 3	69. 3	20.0	6. 7	6.7	0.0
県外の出身	28	53. 6	35.7	46. 4	14. 3	10. 7	0.0	0.0

問14 あなたは、地元で採れた農水産物をすすんで食べたいと思いますか。(1つに〇)

「とても食べたいと思う」と「ある程度食べたいと思う」がともに4割を超えており、合わせて8割以上の人が「食べたいと思う」と回答しています。

前回調査と比較すると、「食べたいと思う」人の割合は変わらないものの、「とても食べたいと思う」の割合が増えています。



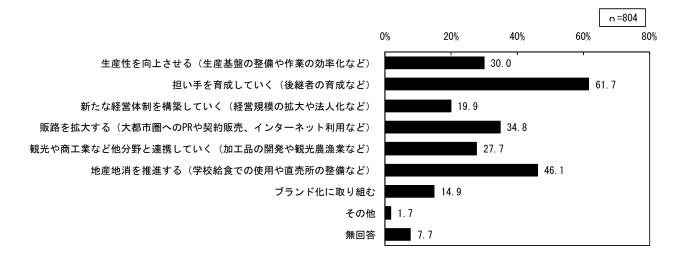
選択肢	前回	今 回	変化
とても食べたいと思う	34. 6	40.5	5. 9
ある程度食べたいと思う	49. 2	43.7	-5. 5
あまり食べたいとは思わない	8. 5	4. 7	-3.8
まったく食べたいとは思わない	0.8	0.9	0. 1

- ○女性と比べて男性のほうがやや「食べたいと思わない」人の割合が高くなっています。
- ○農林漁業従事者においても、全体の傾向を大きな差は見られません。

		問14 地元の農水産物					
	合 計	とても食べ たいと思う	ある程度食 べたいと思 う	あまり食べ たいと思わ ない	まったく食 べたいと思 わない	無回答	
全体	804	40. 5	43.7	4.7	0.9	10. 2	
男性	322	37. 9	44. 1	7. 5	1.9	8. 7	
女性	414	43. 5	43.5	2. 9	0.0	10. 1	
10・20歳代	86	33. 7	51.2	5.8	2. 3	7. 0	
30歳代	96	49. 0	40.6	5. 2	2. 1	3. 1	
40歳代	93	37. 6	51.6	2. 2	0.0	8. 6	
50歳代	155	39. 4	46.5	5. 2	0.6	8. 4	
60歳代	197	42. 1	37. 1	5. 6	1.0	14. 2	
70歳以上	165	41. 2	42.4	3.6	0.0	12. 7	
農林漁業	83	38. 6	43.4	1.2	0.0	16. 9	
商工・サービス・飲食・自由業	103	42. 7	41.7	1.9	1.0	12. 6	
会社員・団体職員・公務員	209	43. 1	43.5	5. 7	1.0	6. 7	
学生	33	36. 4	48.5	9. 1	0.0	6. 1	
家事(パートタイム含む)	129	45. 0	40.3	3. 1	0.8	10. 9	
無職	191	36. 6	46. 1	6.3	1.0	9. 9	
その他	45	37. 8	46.7	8.9	2. 2	4. 4	

□問15 市の農林水産業振興への取組みで、何が重要と考えますか。(3つまで〇)

「担い手を育成していく」の割合が 61.7%で最も高く、次いで「地産地消を推進する」 (46.1%)、「販路を拡大する」 (34.8%)、「生産性を向上させる」 (30.0%) と続いています。



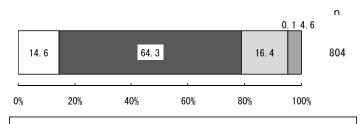
- ○30 歳代以下や会社員・団体職員・公務員では、「販路を拡大する」や「ブランド化に取り組む」の割合が他の年代と比べて高くなっています。
- ○農林水産業従事者では、「生産性を向上させる」の割合が他の職業の人と比べて高くなっています。

		問15 農	林水産業扱	長興への重	要な取り	組み				
	合計	生産性を 向上	担い手を 育成	新たな経 営体制を 構築	販路を拡 大	観光や商 工業など 他分野と 連携	を推准	ブランド 化に取り 組む	その他	無回答
全体	804	30.0	61.7	19.9	34. 8	27.7	46. 1	14. 9	1.7	7. 7
男性	322	27. 0	59.6	24. 5	36.6	27. 3	37. 9	20. 5	2. 5	
女性	414	32. 4	61.8	17. 1	34. 3	27. 5	53. 1	10.6	1.2	7. 5
10・20歳代	86	29. 1	68.6	12. 8	43.0	31.4	45. 3	31. 4	1.2	1. 2
30歳代	96	26.0	53. 1	21.9	47. 9	39.6	42. 7	26. 0	2. 1	2. 1
40歳代	93	23. 7	55. 9	22. 6	41.9	29.0	45. 2	9. 7	1.1	6. 5
50歳代	155	29. 7	63. 2	21. 9	31.6	25.8	43. 2	15. 5	2. 6	8. 4
60歳代	197	31.5	64. 0	20. 3	32. 0	23. 9	52. 8	9.6	2. 5	7. 6
70歳以上	165	32. 7	63.6	18. 2	26. 7	24.8	44. 8	9. 1	0.6	13. 3
農林漁業	83	38. 6	55. 4	20. 5	37. 3	19.3	45. 8	9. 6	0.0	12. 0
商工・サービス・飲食・自由業	103	23. 3	58. 3	26. 2	33.0	30. 1	47. 6	15. 5	1.9	8. 7
会社員・団体職員・公務員	209	29. 2	61. 2	24. 9	45. 9	31.1	38. 3	23. 0	1.9	4. 3
学生	33	24. 2	72. 7	6. 1	39. 4	33. 3	60.6	15. 2	0.0	0. 0
家事(パートタイム含む)	129	36. 4	58. 1	14. 7	31.0	24. 0	55. 0	9. 3	0.0	7. 0
無職	191	29.8	66.0	17. 3	28. 3	26. 2	48. 2	11. 0	3. 1	9. 4
その他	45	20. 0	68. 9	17. 8	24. 4	33. 3	42. 2	17. 8	4. 4	6. 7

問16 あなたは、主にどこで日常生活の買い物をしますか。(1つに〇)

「市内の大規模店舗」が 64.3%で最も高く、6 割以上を占めており、「市内の商店」は 14.6%にとどまっています。

前回調査と比較すると、「市内の大規模店舗」の割合がやや減少していますが、大きな変化はありません。



□市内の商店■市内の大規模店舗□県内の他市町■県外□無回答

選択肢	前回	今 回	変 化
市内の商店	15. 0	14. 6	-0.4
市内の大規模店舗	67. 1	64. 3	-2.8
県内の他市町	15. 0	16. 4	1.4
県外	0. 4	0. 1	-0.3

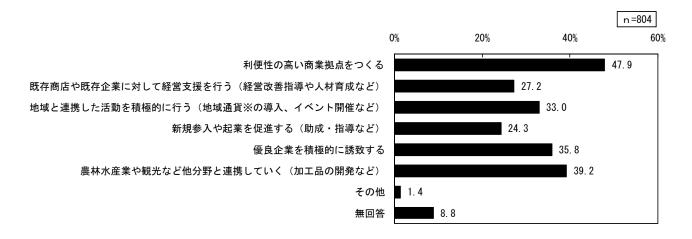
- ○30 歳代では「県内の他市町」の割合が、70 歳以上では「市内の商店」の割合が、それぞれ他の年代と比べて高くなっています。
- ○地区別では、共興地区、野田地区、栄地区では「市内の商店」の割合が、中央地区、豊和 地区では「市内の大規模店舗」の割合が、椿海地区、飯高地区、栄地区、吉田地区では「県 内の他市町」の割合が、それぞれ他の地区と比べて高くなっています。

		問16 日常生	活の買物			
	合 計	市内の商店	市内の大規 模店舗	県内の他市 町	県外	無回答
全体	804	14. 6	64.3	16.4	0. 1	4. 6
男性	322	15. 8	63.7	15.5	0. 3	4. 7
女性	414	14. 5	63.0	18. 1	0.0	4. 3
10・20歳代	86	14. 0	67.4	18.6	0.0	0.0
30歳代	96	12. 5	60.4	26.0	0.0	1.0
40歳代	93	16. 1	60.2	16.1	1. 1	6. 5
50歳代	155	11. 0	64.5	19. 4	0.0	5. 2
60歳代	197	10. 7	69.5	14. 2	0.0	5. 6
70歳以上	165	23. 0	62.4	9. 1	0.0	5. 5
農林漁業	83	18. 1	67.5	7. 2	0.0	7. 2
商工・サービス・飲食・自由業	103	15. 5	58.3	21.4	0.0	4. 9
会社員・団体職員・公務員	209	10. 0	67.0	18. 7	0. 5	3.8
学生	33	15. 2	60.6	24. 2	0.0	0.0
家事(パートタイム含む)	129	10. 1	64.3	20. 2	0.0	5. 4
無職	191	19. 4	63.9	13. 1	0.0	3. 7
その他	45	20. 0	68.9	8.9	0.0	2. 2

		問16 日常生	活の買物			
	合 計	市内の商店	市内の大規 模店舗	県内の他市 町	県外	無回答
全体	804	14. 6	64.3	16.4	0.1	4. 6
中央地区	167	10. 2	73. 1	10.8	0.0	6. 0
豊栄地区	77	13. 0	63.6	19.5	0.0	3. 9
須賀地区	67	19. 4	62.7	14. 9	0.0	3. 0
匝瑳地区	62	17. 7	62.9	12.9	1.6	4. 8
豊和地区	44	13. 6	75.0	9. 1	0.0	2. 3
吉田地区	25	12. 0	64.0	24.0	0.0	0.0
飯高地区	19	5.3	52.6	26.3	0.0	15. 8
共興地区	41	24. 4	63.4	12. 2	0.0	0.0
平和地区	78	11. 5	69.2	16.7	0.0	2. 6
椿海地区	74	4. 1	58. 1	28. 4	0.0	9. 5
野田地区	75	24. 0	61.3	13.3	0.0	1. 3
栄地区	61	23. 0	49. 2	24. 6	0.0	3. 3

│問17 あなたは、市の商工業振興への取組みで、何が重要と考えますか。(3つまで○)

「利便性の高い商業拠点をつくる」が 47.9%で最も高く、次いで「農林水産業や観光など他分野と連携していく」(39.2%)、「優良企業を積極的に誘致する」(35.8%)、「地域と連携した活動を積極的に行う」(33.0%)と続いています。



- ○30歳代では、「新規参入や起業を促進する」の割合が他の年代と比べて高くなっています。
- ○農林漁業従事者では、「農林水産業や観光など他分野と連携していく」の割合が他の職業 と比べて高くなっています。
- ○商工・サービス・飲食・自由業従事者では、「新規参入や起業を促進する」がやや他の職業と比べて高いものの、全体の傾向と大きな差は見られません。

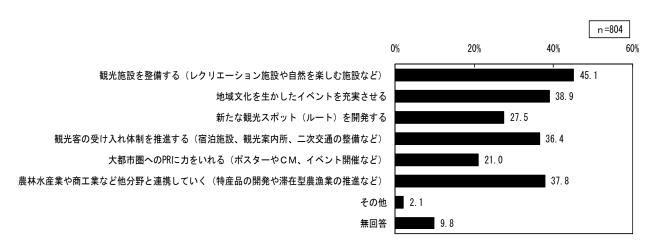
		問17 商:	工業振興へ	の重要な	取り組み				
		高い商業 拠点	既存商店 や既存企 業に対し て経営支 援	携した活		優良企業 を積極的 に誘致	他分野と 連携	その他	無回答
全体	804	47. 9		33. 0	24. 3	35.8	39. 2	1.4	8.8
男性	322	49. 4	26. 7	27. 3	26. 7	41.0	39. 1	1. 9	7. 5
女性	414	48. 1	28. 3	37. 4	22. 2	30.9	39. 1	0.7	9.4
10・20歳代	86	53. 5	29. 1	37. 2	30. 2	25. 6	41.9	3. 5	3. 5
30歳代	96	39. 6	34. 4	39. 6	37. 5	36.5	43.8	2. 1	1.0
40歳代	93	53.8	22. 6	23. 7	19. 4	35.5	37.6	1.1	6. 5
50歳代	155	50. 3	23. 2	31.0	23. 2	35. 5	36.8	1. 9	8. 4
60歳代	197	45. 2	26. 9	31.5	27. 9	38.6	36.5	0. 5	10. 7
70歳以上	165	46.7	30. 3	36.4	12. 7	39.4	42. 4	0.6	14. 5
農林漁業	83	50.6	19. 3	32. 5	16.9	30. 1	47.0	0.0	16. 9
商工・サービス・飲食・自由業	103	50. 5	28. 2	31. 1	31. 1	35. 9	32.0	1. 9	7. 8
会社員・団体職員・公務員	209	51. 2	26. 3	27. 8	27. 8	39.7	43.5	2. 9	4. 3
学生	33	54. 5	27. 3	39. 4	15. 2	33. 3	30.3	0.0	3. 0
家事(パートタイム含む)	129	47. 3	32. 6	34. 9	24. 0	30. 2	34. 1	0.8	7. 8
無職	191	44. 0	28. 3	37. 7	22. 0	41.9	39.3	1. 0	9. 9
その他	45	37. 8	26. 7	33. 3	22. 2	28. 9	46. 7	0.0	11.1

問18 あなたは、市の観光資源となりうるものは何だと思いますか。(自由記入)

※自由記入(その他・自由意見参照)

問19 市の観光振興への取組みで、何が重要と考えますか。(3つまで〇)

「観光施設を整備する」が 45.1%で最も高くなっています。「地域文化を生かしたイベントを充実させる」(38.9%)、「農林水産業や商工業など他分野と連携していく」(37.8%)、「観光客の受け入れ体制を推進する」(36.4%)の 3 項目についても 4 割近くと高くなっています。

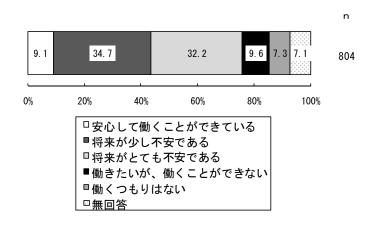


- ○30歳代以下および学生では、「観光施設を整備する」の割合が特に高くなっています。
- ○商工・サービス・飲食・自由業従事者では、「観光客の受け入れ体制を推進する」の割合 が最も高くなっています。

		問19 観:	光振興への)重要な取	り組み				
	合 計	観光施設 を整備	地域文化 を生かし たイベン トを充実	新たな観 光スポッ トを開発	観光客の 受け入れ 体制を推 進	大都市圏 へのPR	他分野と 連携	その他	無回答
全体	804	45. 1	38. 9	27. 5	36.4	21.0	37.8	2. 1	9.8
男性	322	45. 3	38. 2	29. 5	40. 1	23. 3	37.0	2. 8	8. 7
女性	414	46. 9	39. 9	25. 8	33.8	18. 1	39.6	1.4	10.4
10・20歳代	86	57. 0	43.0	37. 2	36.0	27. 9	29. 1	2. 3	4. 7
30歳代	96	56. 3	39. 6	31.3	47. 9	22. 9	32. 3	4. 2	2. 1
40歳代	93	45. 2	28. 0	32. 3	43.0	23. 7	30. 1	4. 3	9. 7
50歳代	155	37. 4	39. 4	22. 6	31.0	20.0	48. 4	2. 6	10.3
60歳代	197	39. 1	42. 6	26. 4	33. 0	24. 4	38.6	0.0	10. 2
70歳以上	165	47. 3	38. 2	24. 2	36.4	12. 1	38.8	1.8	15. 2
農林漁業	83	37. 3	34. 9	20. 5	32. 5	15. 7	43.4	1. 2	16. 9
商工・サービス・飲食・自由業	103	39.8	35. 0	31. 1	45. 6	22. 3	36.9	1.0	8. 7
会社員・団体職員・公務員	209	52. 2	37. 8	29. 7	42. 1	21. 1	38. 3	2. 9	6. 2
学生	33	66. 7	42. 4	24. 2	39. 4	27. 3	18. 2	0.0	3. 0
家事(パートタイム含む)	129	39. 5	42. 6	27. 1	30. 2	23. 3	34. 9	3. 9	7. 0
無職	191	43. 5	40. 3	29. 3	30. 4	21.5	38.7	1. 6	13. 6
その他	45	51. 1	42. 2	24. 4	37. 8	15. 6	46. 7	2. 2	6. 7

問20 あなたは、現在の就労状況について、どのように感じていますか。(1つに〇)

「将来が少し不安である」が 34.7%で最も高く、「将来がとても不安である」も 3 割を 超えており、7 割近くの人が就労状況に不安を感じています。

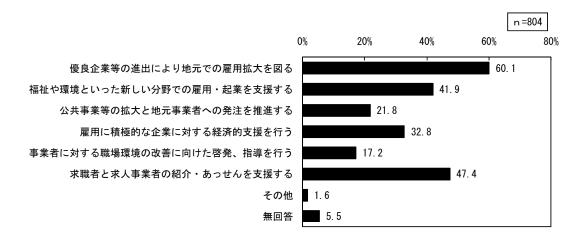


- ○10・20 歳代では「将来がとても不安である」が4割を超えています。また、30歳代、40歳代でも「将来が少し不安である」の割合が他の年代と比べて高くなっています。
- ○会社員・団体職員・公務員では、「安心して働くことができている」が 2 割近くと他の職業と比べて高くなっていますが。それでも7割以上は将来に不安を感じています。
- ○学生においては、9割以上が「不安である」と回答しています。

		問20 現在(の就労状況				
	合計	安心して働 くことがで きている	将来が少し 不安である	将来がとて も不安であ る	働きたい が、働くこ とができな い	働くつもり はない	無回答
全体	804	9. 1	34. 7	32. 2	9. 6	7.3	7. 1
男性	322	9. 6	34. 2	36.0	8. 7	4. 7	6.8
女性	414	8. 2	35. 3	30.0	10. 6	9. 2	6.8
10・20歳代	86	11. 6	38. 4	41. 9	4. 7	1. 2	2. 3
30歳代	96	11. 5	42. 7	35. 4	7. 3	3. 1	0.0
40歳代	93	9. 7	44. 1	31. 2	8. 6	0.0	6. 5
50歳代	155	8. 4	37. 4	32. 3	10. 3	5. 2	6. 5
60歳代	197	9. 6	28. 9	32. 5	12. 2	10. 2	6. 6
70歳以上	165	6. 1	27. 9	26. 7	10. 3	15. 2	13. 9
農林漁業	83	7. 2	42. 2	37. 3	3. 6	0.0	9. 6
商工・サービス・飲食・自由業	103	5. 8	40. 8	41.7	4. 9	0.0	6.8
会社員・団体職員・公務員	209	19. 6	43. 5	30. 1	2. 4	1.0	3. 3
学生	33	0.0	48. 5	42. 4	3. 0	0.0	6. 1
家事(パートタイム含む)	129	7. 8	28. 7	35. 7	14. 0	7. 0	7. 0
無職	191	2. 1	19. 4	23. 0	21. 5	24. 1	9. 9
その他	45	13. 3	40.0	37. 8	4. 4	2. 2	2. 2

問21 市の雇用対策として、何が重要と考えますか。(3つまで〇)

「優良企業等の進出により、地元での雇用拡大を図る」が60.1%と最も高く、次いで「求職者と求人事業者の紹介・あっせんを支援する」(47.4%)、「福祉や環境といった新しい分野での雇用・起業を支援する」(41.9%)、「雇用に積極的な企業に対する経済的支援を行う」(32.8%)と続いています。



- ○10・20歳代では、「事業者に対する職場環境の改善に向けた啓発・指導を行う」が3割を超えています。また、30歳代以下では、「雇用に積極的な企業に対する経済的支援」の割合が他の年代と比べてやや高くなっています。
- ○40 歳代では、「福祉や環境といった新しい分野での雇用・起業を支援する」の割合が高くなっています。
- ○農林漁業従事者では、「優良企業等の進出により地元での雇用拡大を図る」が 7 割を超えています。

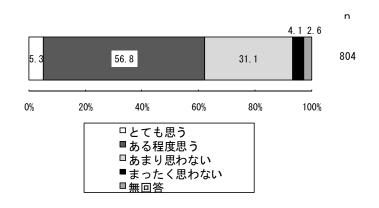
		問21 雇用	対策に重要	なこと					
	合計	優等のより 会 のよりの よでの大 加大	福境た分雇業やいしの起援	公共事業 等の地元 ま ま 者 注 を 推 発 注 を 推 発 注 を 推 を 推 を 性 を 性 を 性 を 性 を を 性 を 性 を 性 を	雇用に積 極的な企 業に対す る経済的 支援	事業者 者 ま ま ま は の に を た 指 の に を れ の に を れ の に を れ に を れ に に れ に に れ に に に に に に に に に に に に に	求職者事 者のいめを がいる がした がした でした でした でした でした でした でした でした でした でした で	その他	無回答
全体	804	60. 1	41.9	21.8	32.8	17. 2	47. 4	1.6	5. 5
男性	322	64. 9	42. 5	23. 3	32.3	16. 5	40. 7	2. 2	5. 0
女性	414	57.7	41.8	21.0	31.9	18. 4	52. 9	1.2	5. 3
10・20歳代	86	47.7	33. 7	23. 3	39.5	31.4	48.8	3.5	2. 3
30歳代	96	55. 2	41.7	20. 8	37.5	16.7	50.0	2. 1	2. 1
40歳代	93	61.3	54.8	16. 1	25.8	19.4	47.3	2. 2	2. 2
50歳代	155	62. 6	41.3	18. 7	29.0	18. 7	43. 2	2. 6	3. 9
60歳代	197	64.5	41.6	25. 9	34.5	13. 2	43. 1	0.0	6. 1
70歳以上	165	63.6	39. 4	23. 0	32. 1	12. 1	55. 2	1.2	10. 3
農林漁業	83	73. 5	39.8	18. 1	28. 9	14. 5	42. 2	0.0	9. 6
商工・サービス・飲食・自由業	103	53. 4	31.1	30. 1	34. 0	14. 6	47. 6	1. 9	2. 9
会社員・団体職員・公務員	209	63.6	46.9	23. 4	30. 6	21.5	42. 6	3. 3	
学生	33	39. 4	42. 4	15. 2	39. 4	33. 3	36. 4	0.0	3. 0
家事(パートタイム含む)	129	61.2	40.3	13. 2	36.4	17. 8	57.4	0.8	3. 9
無職	191	60.7	42. 4	23. 6	33. 0	11.0	50.3	1. 6	8. 9
その他	45	48. 9	48. 9	22. 2	35.6	22. 2	48. 9	0.0	6. 7

Ⅱ-4 生活環境について

問22 匝瑳市は、快適に生活できる住環境であると思いますか。(1つに〇)

「(とても+ある程度) 思う」と回答した人が 62.1%で、「(あまり+まったく) 思わない」(35.2%) と回答した人の割合を上回っています。

前回調査と比べて大きな変化は見られません。



【前回調査との比較】

選択肢	前回	今 回	変化
とても思う	5. 6	5. 3	-0.3
ある程度思う	57. 9	56.8	-1.1
あまり思わない	29. 7	31. 1	1.4
まったく思わない	4. 5	4. 1	-0.4

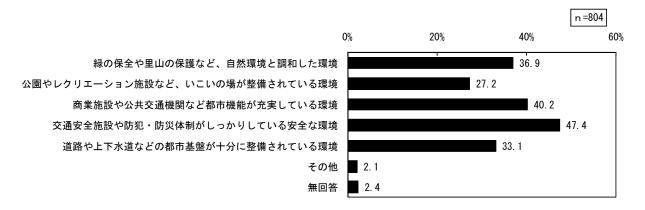
- ○10・20歳代では、「(とても+ある程度)思う」人の割合が7割を超えています。また、中央地区、飯高地区、野田地区においても7割近くと快適な住環境だと思う人の割合が高くなっています。
- ○一方、50 歳代および栄地区では、他の年代と比べて快適な住環境だと思わない人の割合が 高くなっています。

		問22 快適な住環境						
	合計	とても思う	ある程度思 う	あまり思わ ない	まったく思 わない	無回答		
全体	804	5. 3	56.8	31.1	4. 1	2. 6		
10・20歳代	86	7. 0	65. 1	19.8	8. 1	0.0		
30歳代	96	6. 3	59.4	25.0	8.3	1.0		
40歳代	93	6. 5	53.8	36.6	2. 2	1. 1		
50歳代	155	3. 9	50.3	39.4	4. 5	1.9		
60歳代	197	4. 6	56.3	33.0	3.6	2. 5		
70歳以上	165	6. 1	60.0	27. 9	1.2	4.8		

		問22 快適な	住環境			
	合計	とても思う	ある程度思 う	あまり思わ ない	まったく思 わない	無回答
全体	804	5. 3	56.8	31.1	4. 1	2. 6
中央地区	167	5. 4	63.5	28. 7	2. 4	0.0
豊栄地区	77	2. 6	55.8	31.2	7. 8	2. 6
須賀地区	67	1. 5	61.2	32.8	3.0	1.5
匝瑳地区	62	4. 8	53. 2	37. 1	3. 2	1.6
豊和地区	44	4. 5	59. 1	22. 7	6.8	6.8
吉田地区	25	4. 0	48.0	36.0	0.0	12. 0
飯高地区	19	10. 5	57.9	31.6	0.0	0.0
共興地区	41	4. 9	56.1	34. 1	2. 4	2. 4
平和地区	78	10. 3	50.0	33.3	3.8	2. 6
椿海地区	74	2. 7	55.4	31.1	6.8	4. 1
野田地区	75	6. 7	62.7	22. 7	5.3	2. 7
栄地区	61	6. 6	45.9	42.6	4. 9	0.0

問23 あなたにとって住みやすい住環境とはどのような環境ですか。(2つまでO)

「交通安全施設や防犯・防災体制がしっかりしている安全な環境」の割合が47.4%で最も高く、次いで「商業施設や公共交通機関など都市機能が充実している環境」(40.2%)、「緑の保全や里山の保護など、自然環境と調和した環境」(36.9%)、「道路や上下水道など都市基盤が十分に整備されている環境」(33.1%)と続いています。

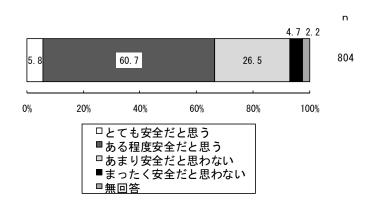


- ○30 歳代以下では、「いこいの場が整備されている環境」の割合が他の年代と比べて高くなっています。60 歳代以上では、「都市基盤が十分に整備されている環境」の割合が他の年代と比べてやや高くなっています。
- ○妊産婦や乳幼児がいる世帯では、「いこいの場の整備」の割合が、障がいのある方がいる 世帯では、「都市基盤の十分な整備」の割合が高くなっています。
- ○野田地区では、「自然環境と調和した環境」の割合が最も高くなっています。

		問23 住	みやすい信	注環境とは				
	合 計	自然環境 と調和	いこいの 場が整備	都市機能 が充実	安全な環 境	都市基盤 が十分に 整備	その他	無回答
全体	804	36.9	27. 2	40. 2	47. 4	33. 1	2. 1	2. 4
10・20歳代	86	34. 9	37. 2	50.0	45.3	23. 3	1.2	2. 3
30歳代	96	24. 0	37. 5	51.0	53. 1	22. 9	1.0	0.0
40歳代	93	35.5	24. 7	46. 2	51.6	31. 2	6.5	1. 1
50歳代	155	39. 4	22. 6	40.6	46.5	32. 3	3. 9	2. 6
60歳代	197	43. 1	22. 8	35.5	45. 2	40.6	0. 5	1.5
70歳以上	165	38. 2	28. 5	29. 7	47. 3	37. 6	1. 2	3. 6
妊産婦・乳幼児(小学校	89	28. 1	48. 3	37. 1	51.7	29. 2	1.1	1. 1
小・中学生	149	32. 2	33.6	41.6	53.0	27. 5	2. 0	1. 3
介護を必要とする方(要	78	32. 1	28. 2	33. 3	55. 1	30.8	3. 8	2. 6
障がいのある方	88	35. 2	25. 0	36.4	47.7	42. 0	3. 4	1. 1
いずれもいない	479	39.9	23.8	40.3	45.3	34. 7	1. 9	2. 5
中央地区	167	34.7	33. 5	43.7	49. 1	31. 1	1. 2	1. 2
豊栄地区	77	33.8	33.8	48. 1	41.6	27. 3	1. 3	5. 2
須賀地区	67	35.8	19.4	38.8	52. 2	43. 3	3.0	0.0
匝瑳地区	62	40.3	24. 2	35.5	45. 2	41. 9	1.6	3. 2
豊和地区	44	31.8	18. 2	36.4	45.5	40. 9	4. 5	2. 3
吉田地区	25	32.0	20.0	44. 0	52. 0	32. 0	4. 0	4. 0
飯高地区	19	42. 1	26. 3	42. 1	47. 4	21. 1	0.0	0.0
共興地区	41	36.6	31. 7	39.0	51. 2	22. 0	7. 3	0.0
平和地区	78	35. 9	28. 2	38.5	46. 2	39. 7	3.8	1. 3
椿海地区	74	31.1	31.1	35. 1	48.6	37. 8	1.4	4. 1
野田地区	75	49.3	18. 7	33. 3	42. 7	30. 7	1. 3	2. 7
栄地区	61	41.0	29. 5	45. 9	52. 5	21. 3	0.0	1.6

問24 あなたが住んでいる地区は、災害などに対して安全だと思いますか。(1つに〇)

「ある程度安全だと思う」と回答した人の割合が 60.7%で最も高く、「とても安全だと 思う」(5.8%) と合わせると、7割近くの人が「安全な地域だと思う」と回答しています。 前回調査と比較すると、「ある程度安全だと思う」の割合が大きく増加しています。



【前回調査との比較】

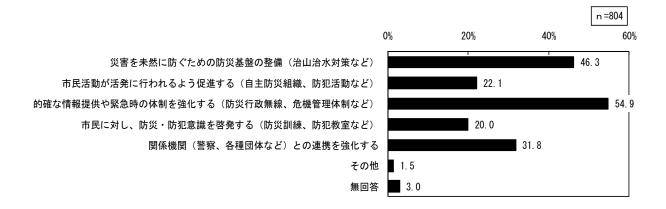
選択肢	前回	今 回	変 化
とても安全だと思う	10. 5	5.8	-4.7
ある程度安全だと思う	46. 4	60.7	14. 3
あまり安全だと思わない	34. 9	26. 5	-8.4
まったく安全だと思わない	6. 6	4. 7	-1.9

○飯高地区では、「とても安全だと思う」と回答した人の割合が他の地区と比べて高くなっています。また、中央地区、須賀地区、平和地区でも「(とても+ある程度)安全だと思う」人の割合が7割を超えています。

		問24 災害な	どに対して安	全な地区		
	合計	とても安全 だと思う	ある程度安 全だと思う	あまり安全 だと思わな い	まったく安 全だと思わ ない	無回答
全体	804	5. 8	60.7	26.5	4.7	2. 2
10・20歳代	86	3. 5	57. 0	32.6	5. 8	1.2
30歳代	96	6.3	63.5	24.0	5. 2	1.0
40歳代	93	3. 2	59. 1	31.2	5. 4	1.1
50歳代	155	5. 8	58.7	30.3	3.9	1.3
60歳代	197	7. 1	66.0	20. 3	4. 6	2.0
70歳以上	165	7. 3	56.4	27. 9	4. 8	3.6
中央地区	167	5. 4	72. 5	19. 2	1.8	1.2
豊栄地区	77	5. 2	54.5	26.0	10. 4	3.9
須賀地区	67	9. 0	68.7	16.4	4. 5	1.5
匝瑳地区	62	6. 5	59.7	29.0	3. 2	1.6
豊和地区	44	0.0	56.8	36.4	2. 3	4.5
吉田地区	25	8. 0	44. 0	32.0	12. 0	4. 0
飯高地区	19	21. 1	42. 1	36.8	0.0	0.0
共興地区	41	0.0	65.9	31.7	2. 4	0.0
平和地区	78	7. 7	64. 1	23. 1	3.8	1.3
椿海地区	74	8. 1	54. 1	32. 4	1.4	4. 1
野田地区	75	5. 3	54. 7	30.7	8. 0	1.3
栄地区	61	3. 3	49. 2	34. 4	11. 5	1.6

問25 市の安全なまちづくりへの取組みで、何が重要と考えますか。(2つまでO)

「的確な情報提供や緊急時の体制を強化する」が 54.9%で最も高く、次いで「災害を未然に防ぐための防災基盤の整備」(46.3%)、「関係機関との連携を強化する」(31.8%)、「市民活動が活発に行われるよう促進する」(22.1%) と続いています。

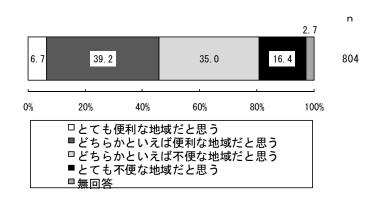


- ○10・20 歳代では「防災基盤の整備」の割合が他の年代と比べて高くなっています。また、 40 歳代では「関係機関の連携の強化」が他の年代と比べて高くなっています。
- ○豊和地区、吉田地区では「防災基盤の整備」の割合が最も高く、6割を超えています。

		問25 安:	全なまちつ	づくりへの	重要な取	り組み		
	合 計	防災基盤 の整備	市民活動 が活発に 行われる よう促進	緊急時の	防災・防 犯意識を 啓発	関係機関 との連携 を強化	その他	無回答
全体	804	46.3	22. 1	54.9	20.0	31.8	1.5	3. 0
10・20歳代	86	55.8	18.6	59.3	24. 4	25. 6	2. 3	2. 3
30歳代	96	42.7	18.8	51.0	25. 0	38. 5	5. 2	0.0
40歳代	93	40.9	23. 7	57.0	11.8	40. 9	2. 2	1. 1
50歳代	155	45. 2	24. 5	53.5	22. 6	29. 7	0.6	2. 6
60歳代	197	47.7	22. 3	54.8	17. 8	32. 0	0. 5	2. 5
70歳以上	165	46.7	22. 4	55. 2	21. 2	28. 5	0.6	5. 5
妊産婦・乳幼児	89	43.8	23. 6	53.9	24. 7	41.6	1.1	1.1
小・中学生	149	45.0	18. 1	53.7	22. 8	34. 2	0.7	3. 4
介護を必要とする方	78	50.0	29.5	57.7	16.7	21.8	2. 6	1. 3
障がいのある方	88	43. 2	22. 7	56.8	19. 3	29. 5	3.4	3. 4
いずれもいない	479	48.0	21. 9	54.3	19.6	31.7	1.5	2. 5
中央地区	167	50.9	21.6	55. 7	16. 2	33. 5	2. 4	1.8
豊栄地区	77	40.3	28.6	48. 1	20. 8	31. 2	1. 3	5. 2
須賀地区	67	44.8	28. 4	64. 2	22. 4	25. 4	1.5	1.5
匝瑳地区	62	41.9	21.0	53. 2	24. 2	35. 5	3. 2	0.0
豊和地区	44	61.4	15.9	56.8	15. 9	27. 3	0.0	2. 3
吉田地区	25	76.0	24. 0	60.0	20. 0	0.0	0.0	4. 0
飯高地区	19	47. 4	15.8	52.6	10. 5	21. 1	0.0	10. 5
共興地区	41	46.3	26.8	58.5	17. 1	36. 6	2. 4	0.0
平和地区	78	42.3	23. 1	48. 7	24. 4	35. 9	0.0	2. 6
椿海地区	74	36.5	23.0	55. 4	23. 0	36. 5	0.0	4. 1
野田地区	75	41.3	14.7	50.7	20. 0	34. 7	2. 7	5. 3
栄地区	61	49. 2	19. 7	60.7	23. 0	32. 8	1.6	0.0

問26 あなたが住んでいる地区は、市内および周辺地域への移動が便利な地域だと思いますか。(1つに〇)

「どちらかといえば便利な地域だと思う」と回答した人の割合が39.2%で最も高いものの、「とても不便な地域だと思う」と回答した人も16.4%おり、便利な地域だと思う人より、不便な地域だと思う人の割合のほうが高くなっています。

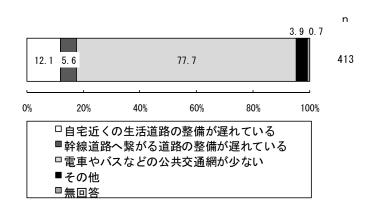


- ○30 歳代以下では、「とても不便な地域だと思う」人の割合が他の年代と比べて高くなっています。
- ○中央地区では「(とても+どちらかといえば)便利な地域だと思う」人の割合が 7割以上となっているほか、須賀地区、椿海地区でも5割を超えています。
- 〇一方、共興地区、栄地区では「とても+どちらかといえば」不便な地域だと思う」人の割合が8割近くとなっており、野田地区、豊和地区、吉田地区、飯高地区でも6割以上となっています。

		問26 移動が	便利な地域			
	合計	とても便利 な地域だと 思う	どちらかと いえば便利 な地域だと 思う	どちらかと いえば不便 な地域だと 思う	とても不便 な地域だと 思う	無回答
全体	804	6.7	39. 2	35.0	16.4	2. 7
10・20歳代	86	4. 7	37. 2	29. 1	29. 1	0.0
30歳代	96	6.3	42.7	24. 0	25.0	2. 1
40歳代	93	5.4	32.3	40. 9	20. 4	1.1
50歳代	155	7. 1	32.9	42. 6	16.1	1.3
60歳代	197	6.6	44. 7	37. 1	10. 2	1.5
70歳以上	165	7. 9	42. 4	32.7	10.3	6.7
中央地区	167	18. 6	54.5	17. 4	6.6	3.0
豊栄地区	77	6.5	42.9	32. 5	14. 3	3.9
須賀地区	67	3.0	52. 2	31.3	11.9	1.5
匝瑳地区	62	8. 1	35.5	35. 5	21.0	0.0
豊和地区	44	2. 3	31.8	31.8	31.8	2. 3
吉田地区	25	0.0	24. 0	56.0	8. 0	12. 0
飯高地区	19	5.3	26.3	47. 4	15.8	5.3
共興地区	41	0.0	22. 0	51.2	26.8	0.0
平和地区	78	5. 1	37. 2	41.0	16.7	0.0
椿海地区	74	4. 1	47. 3	35. 1	10.8	2. 7
野田地区	75	0.0	26.7	45.3	24. 0	4. 0
栄地区	61	1. 6	19. 7	47. 5	29. 5	1.6

[問 26-1 何が最も不便だと感じますか。(1つに○)

「電車やバスなどの公共交通網が少ない」が77.7%と圧倒的多数となっています。

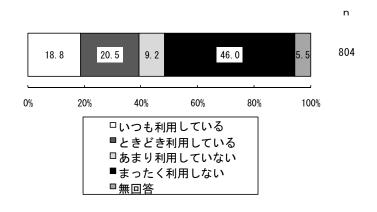


- ○特に、中央地区、須賀地区、豊栄地区、栄地区で「電車やバスなどの公共交通網が少ない」 の割合が高くなっています。
- ○豊和地区、椿海地区、飯高地区では「自宅近くの生活道路の整備が遅れている」の割合が 他の地区と比べて高くなっています。
- ○飯高地区、平和地区では、「幹線道路へ繋がる道路の整備が遅れている」の割合が他の地 区と比べて高くなっています。

		問26-1 最も不例	更なこと			
	合計	自宅近くの生 活道路の整備 が遅れている	幹線道路へ繋 がる道路の整 備が遅れてい る	電車やバスな どの公共交通 網が少ない	その他	無回答
全体	413	12. 1	5. 6	77.7	3. 9	0.7
10・20歳代	50	2. 0	4.0	84. 0	8. 0	2. 0
30歳代	47	10. 6	6. 4	78. 7	4. 3	0.0
40歳代	57	12. 3	1.8	82. 5	3. 5	0.0
50歳代	91	14. 3	6. 6	78. 0	0.0	1.1
60歳代	93	16. 1	5. 4	74. 2	3. 2	1.1
70歳以上	71	11.3	8. 5	73. 2	7. 0	0.0
中央地区	40	7. 5	5. 0	87. 5	0.0	0.0
豊栄地区	36	8. 3	2. 8	86. 1	2. 8	0.0
須賀地区	29	10. 3	3. 4	86. 2	0.0	0.0
匝瑳地区	35	11. 4	0.0	77. 1	8. 6	2. 9
豊和地区	28	28. 6	0.0	67. 9	3. 6	0.0
吉田地区	16	12. 5	6.3	68.8	6. 3	6.3
飯高地区	12	25. 0	16. 7	58.3	0.0	0.0
共興地区	32	12. 5	0.0	75. 0	12. 5	0.0
平和地区	45	4. 4	17. 8	77. 8	0. 0	0.0
椿海地区	34	26. 5	8.8	58. 8	2. 9	2. 9
野田地区	52	13. 5	3.8	78. 8	3. 8	0.0
栄地区	47	2. 1	6. 4	85. 1	6. 4	0.0

問27 あなたは、インターネットを利用してホームページを見たり、メールのやりとりを していますか。(1つに〇)

「まったく利用しない」と回答した人の割合が 46.0%で最も高くなっており、「(いつも+ときどき)利用している」人は4割以下にとどまっています。

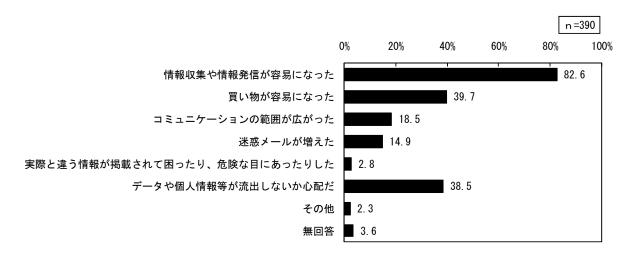


- ○男性のほうが女性と比べて利用している人の割合が高くなっています。
- ○若い年代ほど利用している人の割合が高く、30歳代以下では4割以上が「いつも利用している」と回答しています。
- ○一方、70歳以上では「まったく利用しない」人の割合が7割以上となっており、60歳代でも6割近くがまったく利用しないと回答しています。

		問27 インタ	問27 インターネット、HP、メール					
	合 計	いつも利用 している	ときどき利 用している	あまり利用 していない	まったく利 用しない	無回答		
全体	804	18.8	20. 5	9. 2	46.0	5. 5		
男性	322	22. 7	24. 5	9. 3	37.3	6. 2		
女性	414	16. 7	17. 4	9. 2	52. 2	4. 6		
10・20歳代	86	41. 9	37. 2	4. 7	11.6	4. 7		
30歳代	96	46. 9	22. 9	11.5	18. 8	0.0		
40歳代	93	21. 5	30. 1	20. 4	23. 7	4. 3		
50歳代	155	16.8	25. 2	7. 7	47. 1	3. 2		
60歳代	197	9. 1	14. 2	9. 6	59.9	7. 1		
70歳以上	165	2. 4	8. 5	4. 8	75. 8	8. 5		

問 27-1 インターネットを利用して、どのように感じていますか。(あてはまるものすべてにO)

「情報収集や情報発信が容易になった」(82.6%)や「買い物が容易になった」(39.7%)など肯定的な意見が多い一方、「データや個人情報等が流出しないか心配だ」と回答した人も4割近くとなっています。



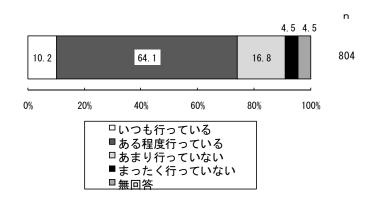
- ○30歳代では「情報収集や情報発信が容易になった」と回答した人が9割を越える一方で、「データや個人情報等が流出しないか心配」している人も5割以上と高くなっています。
- ○10・20 歳代では、「コミュニケーションの範囲が広がった」、「買い物が容易になった」の 割合が他の世代と比べて高くなっています。

		問27-1 イ	ンターネ	ットの利用	用について				
	合計	情報収集 や情報発 信が容易 になった	買い物が 容易に なった	コミュニ ケンの が広 がた		実う掲てりなあしと報さっ危にたと報さったにたり り	データや 個等が流い かない 心配だ	その他	無回答
全体	390	82.6	39.7	18.5	14. 9	2. 8	38.5	2. 3	3.6
男性	182	83.0	39.6	20. 9	16.5	4. 4	34.6	2. 2	2. 7
女性	179	83.8	41.9	16.8	13. 4	1. 7	41.9	1. 1	2. 8
10・20歳代	72	87. 5	56.9	36. 1	19. 4	4. 2	37. 5	0.0	0.0
30歳代	78	91.0	51.3	15. 4	21.8	5. 1	51.3	5. 1	1. 3
40歳代	67	83.6	34. 3	6.0	11. 9	1. 5	32.8	3. 0	1. 5
50歳代	77	83. 1	33.8	19.5	9. 1	3. 9	32.5	1. 3	3. 9
60歳代	65	76. 9	23. 1	18.5	9. 2	0. 0	41.5	0.0	6. 2
70歳以上	26	53.8	34. 6	11.5	15. 4	0.0	26.9	7. 7	15. 4

| 問28 あなたは、普段の生活で、環境に配慮した行動を行っていますか。(1つに〇)

「ある程度行っている」と回答した人の割合が 64.1%で最も高く、6 割以上を占めています。

前回調査と比較すると、「ある程度行っている」と回答した人の割合が増加し、「あまり 行っていない」と回答した人の割合が減少しています。



【前回調査との比較】

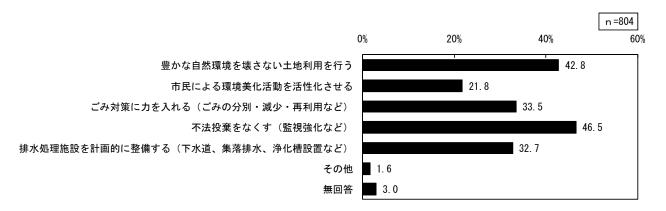
選択肢	前回	今 回	変 化
いつも行っている	10. 2	10. 2	0.0
ある程度行っている	57. 3	64. 1	6.8
あまり行っていない	27. 7	16.8	-10.9
まったく行っていない	1.8	4. 5	2. 7

○年代が高いほど、行っている人の割合が高い傾向がみられます。10・20 歳代では「(あまり+まったく)行っていない」人の割合が3割を超えています。

		問28 環境に	配慮した行動			
	合 計	いつも行っ ている	ある程度 行っている	あまり行っ ていない	まったく 行っていな い	無回答
全体	804	10. 2	64. 1	16.8	4. 5	4. 5
男性	322	9. 9	62.7	15. 8	6.8	4. 7
女性	414	9. 9	65.7	17. 9	3. 1	3. 4
10・20歳代	86	5.8	55.8	22. 1	12. 8	3. 5
30歳代	96	7. 3	67.7	19.8	3. 1	2. 1
40歳代	93	7. 5	66.7	23. 7	1.1	1. 1
50歳代	155	10. 3	69.0	12. 3	5. 2	3. 2
60歳代	197	9. 6	63.5	19.3	3.0	4. 6
70歳以上	165	15. 8	61.2	10.9	4. 2	7. 9

問29 市の自然環境保全への取組みで、何が重要と考えますか。(2つまでO)

「不法投棄をなくす」が 46.5%で最も高く、次いで「豊かな自然環境を壊さない土地利用を行う」(42.8%)、「ごみ対策に力を入れる」(33.5%)、「排水処理施設を計画的に整備する」(32.7%)と続いています。



- ○特に 10・20 歳代では、「不法投棄をなくす」と「豊かな自然環境を壊さない土地利用」で 5 割を超えています。
- ○また、豊栄地区、豊和地区、椿海地区で「不法投棄をなくす」の割合が比較的高く、須賀 地区、栄地区、野田地区では「豊かな自然環境を壊さない土地利用」の割合が比較的高く なっています。
- ○平和地区では「ごみ対策に力を入れる」の割合が、吉田地区では「排水処理施設を計画的 に整備する」の割合が他の地区と比べて高くなっています。

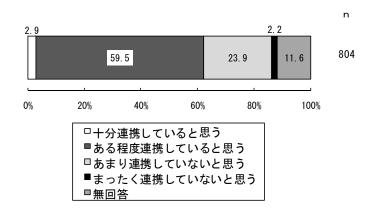
		BB 20 ± 4	古姓理拉尔		5 +> Hn 1 40 7			
			日於環境保	全への重要	さな以り組み			
	合計	豊かな自 然環境を 壊さない 土地利用	市民によ る環境美 化活動	ごみ対策 に力を入 れる	不法投棄 をなくす	排水処理 施設を計 画的に整 備	その他	無回答
全体	804	42.8	21.8	33. 5	46.5	32. 7	1.6	3.0
10・20歳代	86	51. 2	16. 3	39. 5	53. 5	23. 3	0.0	1. 2
30歳代	96	38. 5	25. 0	38. 5	42. 7	24. 0	4. 2	2. 1
40歳代	93	34. 4	20. 4	44. 1	41.9	36. 6	3. 2	2. 2
50歳代	155	39. 4	21. 9	31. 6	49.0	36. 1	1.9	3.9
60歳代	197	43. 1	29. 4	27. 4	43.7	34. 0	1.0	2. 0
70歳以上	165	48.5	13. 3	32. 7	50.3	34. 5	0.6	4. 2
中央地区	167	43. 7	21.0	35. 3	44. 9	35. 9	1.8	2. 4
豊栄地区	77	40.3	15. 6	36. 4	55.8	27. 3	1.3	3.9
須賀地区	67	49.3	25. 4	23. 9	43.3	38. 8	4. 5	1. 5
匝瑳地区	62	41.9	21.0	38. 7	45. 2	27. 4	0.0	8. 1
豊和地区	44	45. 5	25. 0	27. 3	54. 5	31.8	2. 3	2. 3
吉田地区	25	44. 0	24. 0	24. 0	40.0	44. 0	0.0	4. 0
飯高地区	19	47. 4	31.6	31. 6	42. 1	21. 1	5. 3	0.0
共興地区	41	41.5	26.8	22. 0	51. 2	29. 3	7.3	2. 4
平和地区	78	35. 9	24. 4	42. 3	43. 6	35. 9	1.3	1.3
椿海地区	74	33.8	16. 2	37. 8	54. 1	36. 5	0.0	1.4
野田地区	75	48. 0	18. 7	33. 3	42. 7	26. 7	0.0	2. 7
栄地区	61	49. 2	21. 3	37. 7	42. 6	29. 5	0.0	1.6

Ⅱ-5 教育・文化について

問30 あなたは、子どもの教育について、学校と家庭、地域との連携がとれていると思いますか。(1つにO)

「ある程度連携していると思う」と回答した人の割合が 59.5%で最も高く、6 割以上の人が「連携していると思う」と回答しています。

前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



【前回調査との比較】

選択肢	前回	今 回	変 化
十分連携していると思う	3. 1	2. 9	-0. 2
ある程度行連携していると思う	57. 7	59.5	1.8
あまり連携していないと思う	25. 9	23. 9	-2.0
まったく連携していないと思う	3. 8	2. 2	-1.6

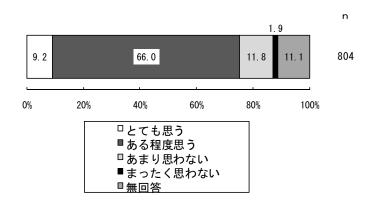
- ○10・20歳代では、「あまり連携していない」と回答した人の割合が他の年代と比べて高くなっています。
- ○豊和地区、吉田地区では「ある程度連携している」の割合が7割を超えており、他の地区より高くなっています。
- ○豊栄地区では、「あまり連携していない」の割合が他の地区と比べて高くなっています。

		問30 地域との連携					
	合計	十分連携し ている	ある程度連 携している	あまり連携 していない	まったく連 携していな い	無回答	
全体	804	2. 9	59.5	23.9	2. 2	11. 6	
10・20歳代	86	3. 5	45.3	40. 7	7. 0	3. 5	
30歳代	96	1. 0	61.5	30. 2	5. 2	2. 1	
40歳代	93	4. 3	63.4	25.8	0.0	6. 5	
50歳代	155	0. 6	61.3	25. 2	1. 9	11.0	
60歳代	197	4. 1	59.9	22. 8	1.0	12. 2	
70歳以上	165	3. 6	61.8	10.9	1. 2	22. 4	

		問30 地域と	の連携			
	合計	十分連携し ている	ある程度連 携している	あまり連携 していない	まったく連 携していな い	無回答
全体	804	2. 9	59. 5	23.9	2. 2	11.6
中央地区	167	4. 2	62. 3	21.0	2. 4	10. 2
豊栄地区	77	0. 0	49. 4	39.0	0.0	11. 7
須賀地区	67	0. 0	62. 7	26.9	1.5	9. 0
匝瑳地区	62	1. 6	61.3	22. 6	1.6	12. 9
豊和地区	44	6. 8	70. 5	11.4	2. 3	9. 1
吉田地区	25	0. 0	72. 0	16.0	0.0	12. 0
飯高地区	19	10. 5	47. 4	31.6	0.0	10. 5
共興地区	41	7. 3	51. 2	19.5	2. 4	19. 5
平和地区	78	0. 0	59.0	26.9	3.8	10. 3
椿海地区	74	4. 1	59. 5	23.0	0.0	13. 5
野田地区	75	2. 7	57. 3	22. 7	5.3	12. 0
栄地区	61	1.6	67. 2	19. 7	4. 9	6.6

問31 学校が子どもたちにとって、安心して学ぶことができる場となっていると思いますか。(1つにO)

「ある程度思う」と回答した人の割合が 66.0%で、「とても思う」(9.2%) を合わせると8割近くの人が安心して学ぶことができる場になっていると思うと回答しています。



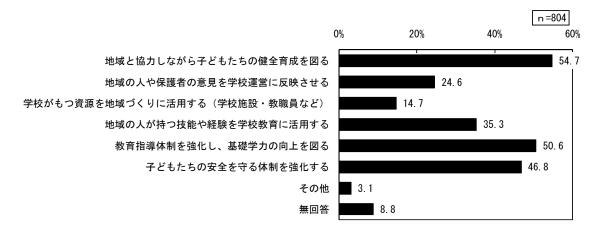
- ○特に30歳代、40歳代では、「(とても+ある程度)思う」と回答した人の割合が高くなっています。また、小・中学生がいる世帯では「とても思う」の割合が他の世帯と比べて高くなっています。
- ○一方、10・20歳代では、「(あまり+まったく) 思わない」と回答した人の割合が他の年代と比べて高く、3割を超えています。

		問31 安心して学べる学校					
	合 計	とても思う	ある程度思 う		まったく思 わない	無回答	
全体	804	9. 2	66.0	11.8	1.9	11. 1	
10・20歳代	86	9. 3	57.0	25. 6	5.8	2. 3	
30歳代	96	4. 2	76.0	13. 5	3. 1	3. 1	
40歳代	93	11. 8	69.9	11.8	0.0	6. 5	
50歳代	155	7. 7	64.5	16. 1	1.9	9. 7	
60歳代	197	8. 6	67.5	9. 1	1.0	13. 7	
70歳以上	165	13. 3	63.0	2. 4	1. 2	20. 0	

		問31 安心して学べる学校					
	合計	とても思う	ある程度思 う	あまり思わ ない	まったく思 わない	無回答	
全体	804	9. 2	66.0	11.8	1.9	11. 1	
妊産婦・乳幼児(小学校	89	7. 9	71.9	13.5	5. 6	1. 1	
小・中学生	149	16. 1	70. 5	7.4	3.4	2. 7	
介護を必要とする方(要	78	7. 7	69. 2	10.3	1. 3	11. 5	
障がいのある方	88	6. 8	72. 7	5. 7	1. 1	13. 6	
いずれもいない	479	8. 4	63.9	12. 9	1. 7	13. 2	

問32 小・中学校運営において、何が重要な取組みと考えますか。(3つまで〇)

「地域と協力しながら子どもたちの健全育成を図る」が 54.7%と最も高く、次いで「教育指導体制を強化し、基礎学力の向上を図る」(50.6%)、「子どもたちの安全を守る体制を強化する」(46.8%)、「地域の人が持つ技能や経験を学校教育に活用する」(35.3%) と続いています。



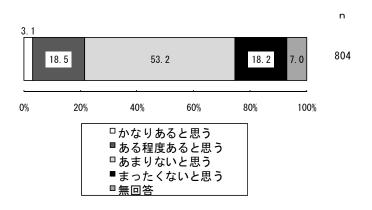
○30 歳代および妊産婦・乳幼児や小・中学生がいる世帯では、「子どもたちの安全を守る体制を強化する」と「教育指導体制を強化し、基礎学力の向上を図る」の割合が高くなっています。

		問32 小	32 小・中学校運営に重要な取り組み								
	合計	力しなが	地 域 保 護 見 運 校 映 に で た で い き で き で き で き で き で き で き で き で き で	学校がも 沙資源づく 地域に活用	が持つ技 能や経験	教育指導 体制し、 化 使学力の 向上	子 ど も た 安 全 を 守る 体 制 を 強 化	その他	無回答		
全体	804	54. 7	24. 6	14. 7	35. 3	50.6	46.8	3. 1	8.8		
10・20歳代	86	50.0	27. 9	16.3	40. 7	57.0	52. 3	5. 8	1. 2		
30歳代	96	42. 7	24. 0	12. 5	31. 3	64.6	66.7	7. 3	2. 1		
40歳代	93	58. 1	18. 3	15. 1	44. 1	45. 2	51.6	4. 3	5. 4		
50歳代	155	53. 5	21. 9	18. 7	40.6	48. 4	40.6	3. 2	6.5		
60歳代	197	60. 9	23. 9	13. 2	35.0	45. 2	42. 6	1.5	11. 2		
70歳以上	165	56. 4	30.9	12. 1	26. 1	49. 7	42. 4	0.6	17. 0		
妊産婦・乳幼児	89	51.7	24. 7	14. 6	44. 9	57. 3	70.8	5. 6	1.1		
小・中学生	149	51.7	22. 8	12. 8	36.9	65. 1	61.1	3. 4	3. 4		
介護を必要とする方	78	50.0	20. 5	12. 8	35. 9	50.0	50.0	3.8	9.0		
障がいのある方	88	58. 0	21.6	6.8	34. 1	47. 7	43. 2	5. 7	11.4		
いずれもいない	479	55. 9	25. 7	16.5	34. 9	47. 6	40.3	2. 5	10. 2		

問33 あなたの身近なところで、虐待や暴力、差別など人種を侵害する行為があると思いますか。(1つに〇)

「あまりないと思う」と回答した人の割合が53.2%で最も高くなっています。「(かなり+ある程度) あると思う」と回答した人は21.6%となっています。

前回調査と比較すると、「まったくないと思う」の割合が増加しています。



【前回調査との比較】

選択肢	前回	今 回	変 化
かなりあると思う	3. 9	3. 1	-0.8
ある程度あると思う	19. 2	18. 5	-0.7
あまりないと思う	59.8	53. 2	-6.6
まったくないと思う	12. 8	18. 2	5. 4

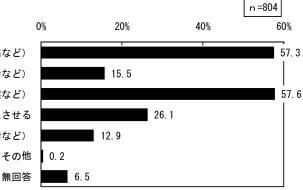
- ○10・20 歳代で「ある程度あると思う」と回答した人の割合が他の年代と比べて高くなっており、「かなりあると思う」と合わせると4割以上となっています。
- ○30歳代では、「まったくないと思う」の割合が他の年代と比べて高くなっています。

		問33 虐待、暴力、人種差別							
	合 計	かなりあ ると思う	ある程度 あると思 う	あまりな いと思う	まったく ないと思 う	無回答			
全体	804	3. 1	18. 5	53. 2	18. 2	7. 0			
男性	322	3. 4	20. 2	57. 1	13. 4	5. 9			
女性	414	3.4	17. 4	50.7	21.3	7. 2			
10・20歳代	86	7. 0	36.0	43.0	12. 8	1. 2			
30歳代	96	3. 1	19.8	50.0	26.0	1.0			
40歳代	93	4. 3	14. 0	58. 1	19. 4	4. 3			
50歳代	155	3. 2	19. 4	54. 2	16.8	6. 5			
60歳代	197	2. 0	16. 2	56.3	18. 3	7. 1			
70歳以上	165	1.8	12. 7	54. 5	17. 0	13.9			

問34 市の人権問題への取組みで、何が重要と考えますか。(2つまで○)

「気軽に相談できる体制を充実させる」が 57.6%で最も高く、「早期発見・早期対応できる体制を強化する」(57.3%) も同程度の割合となっています。

早期発見・早期対応できる体制を強化する(関係機関の連携など) 学校や地域において人権侵害に対する意識の啓発をする(講演会など) 気軽に相談できる体制を充実させる(相談窓口、相談員の充実など) 人権に深く関わる人材(教員、医師、公務員、福祉関連など)の意識を向上させる 人権侵害に対する救済に向けた施策を強化する(補償、条例整備など)



- ○特に40歳代で「気軽に相談できる体制を充実させる」の割合が高くなっています。
- ○30 歳代では「人権に深く関わる人材の意識を向上させる」の割合が、50 歳代では「学校 や地域において人権侵害に対する意識の啓発をする」の割合が、他の年代と比べて高くな っています。

		問34 人権	問題に重要	な取り組み	<i>></i>			
	合計	早期発 見・早期 対応 は る体制 強化	学校に大 な は 人に 意 き き き き き き き き き き き き き き き き き き	気軽に相 談できる 体制を充 実	人権に深 く関わる 人材の意 施を向上	人権侵害 に対済に向 対た施 を強化	その他	無回答
全体	804	57. 3	15. 5	57. 6	26. 1	12. 9	0. 2	6. 5
男性	322	55. 9	17. 7	55. 0	26. 7	14. 3	0. 3	6.8
女性	414	60.1	14. 5	58. 7	27. 1	11.8	0. 2	5. 1
10・20歳代	86	59.3	17. 4	57.0	32.6	17. 4	0.0	2. 3
30歳代	96	57.3	17. 7	54. 2	36.5	15.6	0.0	4. 2
40歳代	93	55. 9	14. 0	66. 7	30. 1	11.8	0.0	3. 2
50歳代	155	52.3	22. 6	51.0	24. 5	13.5	0. 6	6. 5
60歳代	197	57. 9	16. 2	61.4	26. 4	8.6	0.0	5. 6
70歳以上	165	61.8	7.9	57.6	17. 0	13. 9	0.6	10.9

問35 あなたは、次の余暇活動に参加していますか。また今後参加したい活動は何ですか。 (①~④の(1)、(2) について、それぞれ1つずつにO)

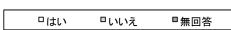
現在、参加している活動では、「市や地域のスポーツ・文化活動」に参加している人の割 合が 16.0%で最も高く、次いで「生涯学習としての習い事や趣味の活動」(14.6%)、「地 域の伝統や文化を継承する活動」(11.2%)、「他市町村や外国の方たちとの交流活動」 (3.9%) と続いています。

今後、参加したい活動では、「生涯学習としての習い事や趣味の活動」が 54.4%で最も 高く、次いで「市や地域のスポーツ・文化活動」(43.2%)、「地域の伝統や文化を継承する 活動」(33.3%)、「他市町村や外国の方たちとの交流活動」(25.7%)と続いています。

前回調査と比較すると、現在参加している活動では、「生涯学習としての習い事や趣味の 活動」の割合が増加しています。今後参加したい活動では、多くの項目で大きく増加して います。

現在参加していますか(n=804)

18.2 16.0 65.8 11.2 68.5 20.3 74.9 21.3 14.6 67.0



①市や地域のスポーツ・文化活動

②地域の伝統や文化を継承する活動

③他市町村や外国の方たちとの交流活動

④生涯学習としての習い事や趣味の活動

今後参加したいですか(n=804)

43.2		31.8	25.0					
33.3	41	.7	25.0					
25.7		49.0		25.2				
54.4			24.5	21.1				
	_							

□はい □いいえ □無回答

【前回調査との比較】

■現在、参加している活動

選択肢	前回	今 回	変 化
市や地域のスポーツ・文化活動	14. 8	16.0	1. 2
地域の伝統や文化を継承する活動	9. 0	11. 2	2. 2
他市町村や外国の方たちとの交流活動	3. 3	3. 9	0.6
生涯学習としての習い事や趣味の活動	9. 4	14. 6	5. 2

■今後、参加したい活動

選択肢	前回	今 回	変 化
市や地域のスポーツ・文化活動	28. 7	43. 2	14. 5
地域の伝統や文化を継承する活動	20. 0	33. 3	13.3
他市町村や外国の方たちとの交流活動	20. 1	25. 7	5. 6
生涯学習としての習い事や趣味の活動	41. 5	54. 4	12. 9

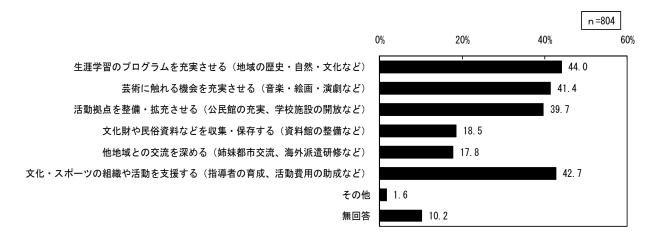
- ○特に 40 歳代、50 歳代では「生涯学習としての習い事や趣味の活動」への参加意向が高くなっています。また、10・20 歳代では、「地域の伝統や文化を継承する活動」および「他市町村や外国の方たちとの交流活動」への参加意向が他の年代と比べて高くなっています。
- ○吉田地区では、「地域の伝統や文化を継承する活動」、飯高地区では、「他市町村や外国の 方たちとの交流活動」への参加割合が、他の地区と比べて高くなっています。

		問35 現在参加している							
	合計	市や地域のス ポーツ・文化 活動	地域の伝統や 文化を継承す る活動	他市町村や外 国の方たちと の交流活動	生涯学習とし ての習い事や 趣味の活動				
全体	804	16.0	11. 2	3. 9	14. 6				
男性	322	14. 9	15. 2	5. 6	9. 9				
女性	414	16. 2	7.7	2. 2	17. 6				
10・20歳代	86	15. 1	8. 1	4. 7	14. 0				
30歳代	96	16. 7	7. 3	5. 2	8. 3				
40歳代	93	18. 3	17. 2	3. 2	11.8				
50歳代	155	18. 7	9. 0	1. 9	15. 5				
60歳代	197	14. 7	15. 2	5. 1	16.8				
70歳以上	165	13.9	9. 1	3. 6	17. 0				
中央地区	167	21. 6	18. 6	4. 2	15. 6				
豊栄地区	77	18. 2	10.4	3. 9	15. 6				
須賀地区	67	7. 5	11.9	0. 0	11. 9				
匝瑳地区	62	12. 9	6. 5	0. 0	17. 7				
豊和地区	44	18. 2	6.8	2. 3	13. 6				
吉田地区	25	24. 0	28. 0	0. 0	16.0				
飯高地区	19	15. 8	21. 1	21. 1	10. 5				
共興地区	41	7. 3	4. 9	2. 4	9. 8				
平和地区	78	19. 2	10. 3	11. 5	20. 5				
椿海地区	74	9. 5	2.7	2. 7	8. 1				
野田地区	75	21.3	6. 7	1. 3	16. 0				
栄地区	61	11.5	13. 1	3. 3	11. 5				

		問35 今後、参加したい							
	合	市や地域のス	地域の伝統や	他市町村や外	生涯学習とし				
	計	ポーツ・文化	文化を継承す	国の方たちと	ての習い事や				
		活動	る活動	の交流活動	趣味の活動				
全体	804	43. 2	33. 3	25. 7	54. 4				
男性	322	46. 6	38. 5	29. 2	51.9				
女性	414	42. 3	30. 4	24. 4	59. 2				
10・20歳代	86	52. 3	45. 3	39. 5	55. 8				
30歳代	96	59. 4	37. 5	35. 4	57. 3				
40歳代	93	52. 7	36.6	33. 3	71. 0				
50歳代	155	52. 3	42. 6	32. 3	67. 1				
60歳代	197	39. 1	29. 4	17. 8	51.8				
70歳以上	165	20.0	18. 2	11. 5	34. 5				
中央地区	167	40. 7	33. 5	25. 7	56. 3				
豊栄地区	77	50. 6	33.8	28. 6	61.0				
須賀地区	67	35. 8	31.3	32. 8	61. 2				
匝瑳地区	62	40. 3	41.9	22. 6	48. 4				
豊和地区	44	47. 7	34. 1	27. 3	68. 2				
吉田地区	25	52.0	48.0	36.0	64. 0				
飯高地区	19	26. 3	31.6	15. 8	36.8				
共興地区	41	31. 7	39.0	29. 3	43. 9				
平和地区	78	48. 7	32. 1	29. 5	64. 1				
椿海地区	74	45. 9	28. 4	17. 6	44. 6				
野田地区	75	52.0	28. 0	21. 3	46. 7				
栄地区	61	37.7	32.8	26. 2	52. 5				

問36 市の生涯学習・スポーツ、文化活動への取組みで、何が重要と考えますか。(3つまでO)

「生涯学習のプログラムを充実させる」が 44.0%で最も高くなっています。「文化・スポーツの組織や活動を支援する」(42.7%)、「芸術に触れる機会を充実させる」(41.4%)、「活動拠点を整備・拡充させる」(39.7%) についても 4 割前後と高くなっています。

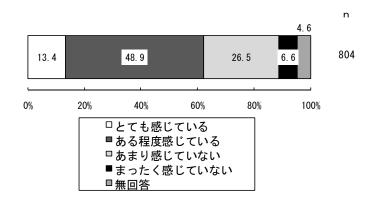


- ○特に60歳以上で「生涯学習のプログラムを充実させる」の割合が高くなっています。
- ○10・20歳代では、「文化・スポーツの組織や活動を支援する」の割合が、40歳代では「活動拠点を整備・拡充させる」の割合が最も高くなっています。
- ○30 歳代以下では「他地域との交流を深める」の割合が他の年代と比べて高くなっています。

		問36 生活	涯学習・ス	スポーツ、	文化活動·	への重要な	い取り組み		
	合計	生涯学習 のプログ ラムを充 実	芸術に触 れる機会 を充実	活動拠点 を整備・ 拡充	文化財や 民俗資料 などを収 集・保存	他地域との交流を深める	文化・ス ポーツの 組織や活 動を支援	その他	無回答
全体	804	44. 0	41. 4	39.7	18. 5	17. 8	42.7	1.6	10. 2
男性	322	40. 7	37. 9	41. 9	23. 3	18. 6	44. 7	1. 2	8.4
女性	414	47. 8	43.0	38. 9	15. 2	16.9	42.5	1.4	10.9
10・20歳代	86	30. 2	48.8	45. 3	18. 6	30. 2	54.7	2. 3	3.5
30歳代	96	36. 5	46. 9	49.0	14. 6	28. 1	47. 9	0.0	5. 2
40歳代	93	34. 4	44. 1	37. 6	11. 8	16. 1	51.6	5. 4	4. 3
50歳代	155	45. 2	43. 9	37. 4	19. 4	16.1	42.6	1. 9	7.7
60歳代	197	50. 3	44. 2	40.6	20.8	14.7	36.0	0. 5	11. 2
70歳以上	165	53. 9	26.7	33. 9	20.6	12. 1	35.8	1. 2	20.0
中央地区	167	40. 7	46. 7	42. 5	9.0	22. 8	40. 7	3. 0	9.6
豊栄地区	77	49. 4	49. 4	41.6	13.0	15. 6	45.5	0.0	9. 1
須賀地区	67	56.7	49. 3	32. 8	19.4	19. 4	46.3	0.0	6.0
匝瑳地区	62	37. 1	32. 3	41.9	29.0	16. 1	41.9	0.0	19.4
豊和地区	44	59. 1	45. 5	36.4	20.5	13. 6	29.5	2. 3	4. 5
吉田地区	25	44. 0	28. 0	44. 0	28. 0	20.0	48.0	4. 0	12.0
飯高地区	19	31.6	15. 8	31.6	15.8	5. 3	31.6	0.0	26.3
共興地区	41	51. 2	41.5	36.6	26.8	26.8	19.5	4. 9	9.8
平和地区	78	41.0	41.0	42. 3	19. 2	26. 9	47.4	3. 8	6.4
椿海地区	74	48. 6	33. 8	43. 2	21.6	8. 1	45. 9	0.0	10.8
野田地区	75	33. 3	34. 7	34. 7	17. 3	12. 0	54. 7	0.0	9. 3
栄地区	61	44. 3	42. 6	42. 6	26. 2	14.8	45.9	1.6	8. 2

問37 あなたは、地域の伝統や文化に愛着を感じていますか。(1つに○)

「ある程度感じている」と回答した人の割合が48.9%で最も高く、「とても感じている」(13.4%)と合わせると6割以上の人が愛着を感じていると回答しています。 前回調査と比較すると、「ある程度感じている」の割合が増加しています。



【前回調査との比較】

選択肢	前回	今 回	変化
とても感じている	14. 5	13. 4	-1.1
ある程度感じている	40. 3	48. 9	8.6
あまり感じていない	35. 0	26. 5	-8.5
まったく感じていない	4. 9	6.6	1.7

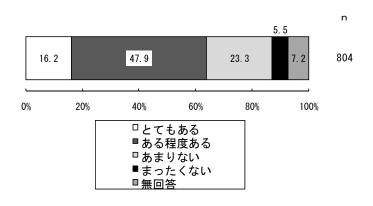
- ○特に豊和地区、吉田地区、中央地区では、愛着を感じている人の割合が高く、「(とても+ある程度) 感じている」が7割を超えています。
- ○60 歳代以上では7割以上が愛着を感じると回答していますが、30歳代以下では愛着を感じていない人の割合が高くなっています。

		問37 地域の	問37 地域の伝統や文化への愛着						
	合 計	とても感じ ている	ある程度感 じている	あまり感じ ていない	まったく感 じていない	無回答			
全体	804	13. 4	48.9	26.5	6.6	4. 6			
男性	322	14. 9	50.0	22. 4	8.4	4. 3			
女性	414	12. 3	48.3	29. 7	5. 1	4. 6			
10・20歳代	86	15. 1	33. 7	36.0	14.0	1. 2			
30歳代	96	11. 5	34. 4	34. 4	18.8	1.0			
40歳代	93	12. 9	40.9	40. 9	3. 2	2. 2			
50歳代	155	10. 3	49.7	32. 3	4. 5	3. 2			
60歳代	197	12. 2	58. 4	18. 3	6. 1	5. 1			
70歳以上	165	18. 8	58.8	12. 7	0.6	9. 1			
中央地区	167	18. 0	52.7	22. 2	4. 8	2. 4			
豊栄地区	77	6. 5	46.8	32.5	7. 8	6.5			
須賀地区	67	11. 9	53.7	22. 4	10.4	1.5			
匝瑳地区	62	16. 1	45. 2	24. 2	6.5	8. 1			
豊和地区	44	13. 6	63.6	22. 7	0.0	0.0			
吉田地区	25	12. 0	64.0	8. 0	0.0	16.0			
飯高地区	19	26. 3	36.8	31.6	0.0	5.3			
共興地区	41	7. 3	56. 1	29. 3	2. 4	4. 9			
平和地区	78	16. 7	43.6	26.9	10.3	2. 6			
椿海地区	74	9. 5	47. 3	28. 4	8. 1	6.8			
野田地区	75	10. 7	49.3	28. 0	9. 3	2. 7			
栄地区	61	14. 8	36. 1	39.3	4. 9	4. 9			

Ⅱ-6 行財政運営について

問38 あなたは、市の行財政運営に関心がありますか。(1つに〇)

「ある程度ある」と回答した人の割合が 47.9%で最も高く、「とてもある」(16.2%) と合わせると、6割以上の人が行財政運営に関心があると回答しています。



- ○男性のほうが女性と比べて関心がある人の割合が高くなっています。
- ○30 歳代以下では、関心がない人の割合が高くなっています。特に 10・20 歳代では、「まったくない」人が 2 割近くとなっています。

		問38 市の行財政運営への関心					
	合 計	とてもある	ある程度ある	あまりない	まったくない	無回答	
全体	804	16. 2	47. 9	23.3	5. 5	7. 2	
男性	322	18. 6	51.2	18.6	6.5	5. 0	
女性	414	13. 3	45. 2	28.0	5. 3	8. 2	
10・20歳代	86	4. 7	39.5	36.0	18.6	1. 2	
30歳代	96	19. 8	35.4	31.3	12.5	1.0	
40歳代	93	14. 0	54.8	26.9	3. 2	1.1	
50歳代	155	12. 3	54. 2	25. 2	2. 6	5. 8	
60歳代	197	21. 3	46.2	18.8	3.0	10.7	
70歳以上	165	19. 4	50.3	14. 5	1.8	13. 9	

問39 あなたは、まちづくりや地域づくりに参加したいと思いますか。(①~⑧の(1)、(2) について、それぞれ1つずつに〇)

現在、参加している活動では、「地域づくり活動」に参加している人の割合が 32.6%で最も高く、次いで「自然環境保全活動」(18.2%)、「文化・スポーツ活動」(11.2%)、「地域安全活動」(9.3%)と続いています。

今後、参加したい活動では、「自然環境保全活動」が 41.5%で最も高く、次いで「地域づくり活動」(39.4%)、「福祉活動」(36.3%)、「文化・スポーツ活動」(34.6%) と続いています。

前回調査と比較すると、現在参加している活動では、「地域づくり活動」の割合が大きく 増加しています。今後参加したい活動では、「地域づくり活動」、「行政運営」で大きく増加 しています。

現在参加していますか(n=804)

4.1 78.0 17.9 50.4 32.6 17.0 74.5 17.8 18.2 63.8 18.0 8.6 73.0 18.4 11.2 70.3 18.5 2.0 79.0 19.0 72.1 18.5 ロはい □いいえ □無回答

今後参加したいですか(n=804)

①行政運営への参加	28.1		48.9		23.0

②地域づくり活動への参加	39.4		36.9		23.6
		$\overline{}$			
③福祉活動への参加	36.3		41.0		22.6
		1		j	
④自然環境保全活動への参加	41.5		34.5		24.0
			,		
⑤教育活動への参加	29.2		46.9		23.9
		11			
⑥文化・スポーツ活動への参加	34.6		41.7		23.8
		,		- 1	
⑦地域振興活動への参加	23.9		53.5		22.6
				i	
⑧地域安全活動への参加	22.9		53.9		23.3
	口はい		ロいいえ	□無	[回答

【前回調査との比較】

■現在、参加している

■現任、参加している	ଚ		
選択肢	前回	今 回	変 化
行政運営	2. 9	4. 1	1.2
地域づくり活動	18.8	32. 6	13.8
福祉活動	6.6	7. 7	1.1
自然環境保全活動	11.7	18. 2	6. 5
教育活動	7. 5	8. 6	1.1
文化・スポーツ活動	9. 3	11. 2	1.9
地域振興活動	1.8	2. 0	0. 2
地域安全活動	8. 4	9. 3	0. 9

■今後、参加したい

- / K / / / / / / / / / / / / / / / / /			
選択肢	前回	今 回	変 化
行政運営	15. 4	28. 1	12. 7
地域づくり活動	26.6	39. 4	12.8
福祉活動	30.7	36. 3	5. 6
自然環境保全活動	35. 2	41.5	6. 3
教育活動	24. 9	29. 2	4. 3
文化・スポーツ活動	32.6	34. 6	2. 0
地域振興活動	17. 9	23. 9	6. 0
地域安全活動	19.4	22. 9	3. 5

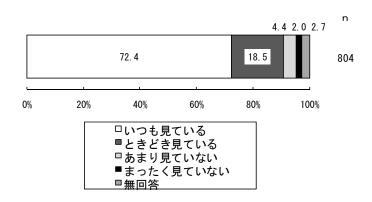
- ○福祉活動以外では、女性より男性のほうが参加している割合が高くなっています。
- ○30歳代から50歳代で、現在参加している割合が高い活動が多くなっています。
- ○吉田地区では各活動への参加および今後の参加意向の割合が高くなっています。飯高地区では、「文化・スポーツ活動」や「地域安全活動」の参加状況は高いものの、今後の参加 意向の割合は他の地区と比べて低くなっています。

		問39 現在、参加している								
	合 計	行政運営	地域づく り活動	福祉活動	自然環境 保全活動	教育活動	文化・ス ポーツ活 動	地域振興 活動	地域安全 活動	
全体	804	4. 1	32. 6	7. 7	18. 2	8.6	11. 2	2. 0	9. 3	
男性	322	4. 0	38. 2	4. 0	19. 3	9. 3	12. 4	2. 8	15. 2	
女性	414	3.6	27. 1	9. 9	16.9	8.0	9.9	1.4	5. 1	
10・20歳代	86	1. 2	12. 8	5. 8	11.6	5. 8	7. 0	1. 2	2. 3	
30歳代	96	3. 1	30. 2	4. 2	13. 5	13.5	12. 5	2. 1	18. 8	
40歳代	93	3. 2	41.9	7. 5	23. 7	17. 2	16.1	3. 2	15. 1	
50歳代	155	3. 2	40.0	7. 1	21. 9	8. 4	15.5	1.3	5. 2	
60歳代	197	6. 6	40. 1	8. 1	17. 3	3.6	8.6	1.5	8. 6	
70歳以上	165	4.8	24. 2	11.5	18.8	8. 5	9. 1	3. 0	9. 1	
中央地区	167	4. 8	43. 1	8. 4	18.6	7. 8	13. 2	1.8	10.8	
豊栄地区	77	3. 9	33.8	5. 2	19.5	13. 0	11. 7	1. 3	10.4	
須賀地区	67	4. 5	28. 4	7. 5	16.4	7. 5	7. 5	0.0	9.0	
匝瑳地区	62	8. 1	30.6	9. 7	14. 5	9. 7	8. 1	0.0	6. 5	
豊和地区	44	4. 5	27. 3	11.4	18. 2	11. 4	11.4	0.0	9. 1	
吉田地区	25	12. 0	56.0	8. 0	16.0	12. 0	20.0	8. 0	20.0	
飯高地区	19	0.0	31.6	5. 3	5. 3	5. 3	26. 3	0.0	21. 1	
共興地区	41	0.0	19.5	2. 4	19.5	7. 3	4. 9	0.0	9.8	
平和地区	78	5. 1	30.8	9. 0	25. 6	9. 0	14. 1	5. 1	6.4	
椿海地区	74	1.4	21.6	4. 1	12. 2	4. 1	6.8	1.4	6.8	
野田地区	75	2. 7	30. 7	9. 3	20. 0	8. 0	14. 7	5. 3	5. 3	
栄地区	61	1.6	34. 4	9.8	19. 7	9.8	6.6	1. 6	13. 1	

		問39 今	後、参加し	たい					
	合 計	行政運営	地域づく り活動	福祉活動	自然環境 保全活動	教育活動	文化・ス ポーツ活 動	地域振興 活動	地域安全 活動
全体	804	28. 1	39. 4	36. 3	41.5	29. 2	34.6	23. 9	22. 9
男性	322	37. 0	47. 5	34. 8	46.0	32. 6	41.0	28. 0	32. 6
女性	414	22. 9	34. 5	39. 4	40.3	28. 3	31.6	21.7	15. 9
10・20歳代	86	20. 9	29. 1	39. 5	47. 7	32. 6	40. 7	23. 3	24. 4
30歳代	96	31.3	38. 5	36. 5	50.0	45.8	44.8	25.0	31.3
40歳代	93	36. 6	46. 2	47. 3	47. 3	41.9	45. 2	33. 3	26. 9
50歳代	155	32. 3	45. 2	45. 8	48. 4	32. 3	40.6	27. 1	23. 2
60歳代	197	29. 9	49. 7	36.0	39.6	23. 4	33.5	25.4	23. 4
70歳以上	165	19.4	24. 2	19.4	26. 7	14. 5	15. 2	12. 7	13. 9
中央地区	167	32. 9	44. 9	35. 3	45.5	28. 7	37. 1	26. 9	23. 4
豊栄地区	77	35. 1	46.8	42. 9	44. 2	37. 7	39.0	29. 9	29. 9
須賀地区	67	26. 9	43.3	35. 8	49.3	29. 9	41.8	20. 9	22. 4
匝瑳地区	62	25. 8	45. 2	32. 3	38. 7	33. 9	33. 9	21.0	25. 8
豊和地区	44	27. 3	29. 5	36. 4	36.4	34. 1	40.9	22. 7	11. 4
吉田地区	25	32. 0	56.0	44. 0	56.0	36.0	40.0	20.0	44. 0
飯高地区	19	15. 8	21. 1	26. 3	15.8	10. 5	21.1	0.0	10.5
共興地区	41	22. 0	26.8	34. 1	43. 9	24. 4	24. 4	26.8	17. 1
平和地区	78	33. 3	38. 5	43.6	43.6	30.8	34.6	23. 1	21.8
椿海地区	74	21.6	40.5	36. 5	37.8	28. 4	27. 0	23. 0	25. 7
野田地区	75	21. 3	33. 3	33. 3	33. 3	25. 3	36.0	20.0	20. 0
栄地区	61	29. 5	34. 4	34. 4	37. 7	27. 9	31. 1	29. 5	23. 0

: 問40 あなたは、市の広報紙(広報そうさ)を見たことがありますか。(1つにO)

「いつも見ている」と回答した人の割合が72.4%で7割を超えています。



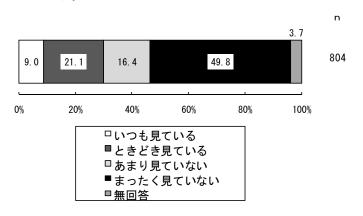
- ○女性のほうが男性に比べて、「いつも見ている」人の割合が高くなっています。
- ○年代が高いほど、見ている人の割合が高くなっており、70歳以上では9割近くが「いつも見ている」と回答しています。
- \bigcirc 10・20歳代では、「いつも見ている」人は4割程度にとどまっていますが、「ときどき見ている」人の割合も3割を超えており、合わせて7割以上の人が広報を見ています。

		問40 広報そうさ						
	合 計	いつも見て いる	ときどき見 ている	あまり見て いない	まったく見 ていない	無回答		
全体	804	72. 4	18. 5	4. 4	2.0	2. 7		
男性	322	66. 8	21. 4	5. 6	2.8	3. 4		
女性	414	75. 4	17. 4	3.4	1.7	2. 2		
10・20歳代	86	38. 4	34. 9	17. 4	8. 1	1. 2		
30歳代	96	62. 5	26. 0	5. 2	5. 2	1.0		
40歳代	93	75. 3	18. 3	3. 2	2. 2	1.1		
50歳代	155	74. 8	21. 3	1.9	0.0	1.9		
60歳代	197	77. 7	15. 2	3. 6	1.0	2. 5		
70歳以上	165	86. 1	7. 9	0.6	0.0	5. 5		

[問41 あなたは、市のホームページを見たことがありますか。(1つに〇)

「まったく見ていない」と回答した人の割合が49.8%で、全体の半数近くを占めています。

前回調査と比較すると、「いつも見ている」人の割合が増加し、「あまり見ていない」人の割合が減少しています。



【前回調査との比較】

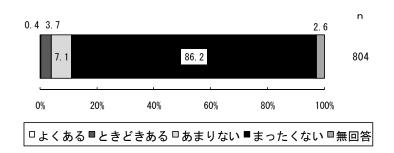
選択肢	前回	今 回	変 化
いつも見ている	3. 1	9.0	5.9
ときどき見ている	22. 0	21. 1	-0.9
あまり見ていない	26. 6	16. 4	-10. 2
まったく見ていない	48. 3	49.8	1.5

- ○特に50歳代、60歳代では、「まったく見ていない」人の割合が6割近くと高くなっています。
- ○一方、70歳以上では「いつも見ている」人が2割以上と高くなっています。

		問41 市のホ				
	合 計	いつも見て いる	ときどき見 ている	あまり見て いない	まったく見 ていない	無回答
全体	804	9. 0	21.1	16.4	49.8	3.7
男性	322	9. 3	22. 0	18.6	46.3	3.7
女性	414	8. 5	20.8	14. 7	52.4	3.6
10・20歳代	86	0. 0	26.7	23.3	48.8	1.2
30歳代	96	5. 2	35.4	19.8	38.5	1.0
40歳代	93	7. 5	24. 7	26.9	39.8	1. 1
50歳代	155	5. 8	18. 7	14.8	58.7	1.9
60歳代	197	5. 1	17. 3	14. 7	58.4	4. 6
70歳以上	165	24. 8	14. 5	7. 9	44. 8	7. 9

問42 あなたは、市長への手紙やメール等を通じて、市に対して意見を出したことがありますか。(1つにO)

「まったくない」と回答した人の割合が86.2%となっています。



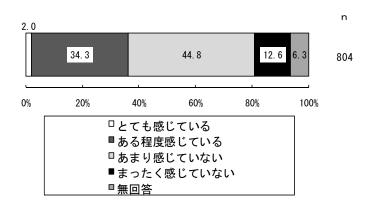
○70歳以上では、「あまりない」と回答した人の割合が他の年代と比べて高くなっています。

		問42 市に対する意見						
	合計	よくある	ときどき ある	あまりな い	まったく ない	無回答		
全体	804	0.4	3. 7	7. 1	86. 2	2. 6		
男性	322	0. 6	2. 8	6.8	87. 0	2. 8		
女性	414	0. 2	4. 3	6.5	86. 5	2. 4		
10・20歳代	86	0.0	2. 3	1. 2	94. 2	2. 3		
30歳代	96	2. 1	3. 1	5. 2	88. 5	1.0		
40歳代	93	0.0	4. 3	1.1	93. 5	1.1		
50歳代	155	0.0	2. 6	7. 1	89. 0	1. 3		
60歳代	197	0.0	5. 6	7. 1	84. 8	2. 5		
70歳以上	165	0.6	3.6	15. 2	75. 8	4.8		
農林漁業	83	0.0	6.0	9. 6	77. 1	7. 2		
商工・サービス・飲食・自由業	103	0.0	3. 9	11.7	82. 5	1.9		
会社員・団体職員・公務員	209	1. 0	2. 9	4.8	90.0	1.4		
学生	33	0.0	3.0	3. 0	93. 9	0.0		
家事(パートタイム含む)	129	0.0	4. 7	6. 2	87. 6	1.6		
無職	191	0. 5	3. 1	8. 9	84. 3	3. 1		
その他	45	0.0	4. 4	2. 2	93. 3	0.0		

問43 あなたは、市の行財政運営に関して、情報の提供や公開が十分と感じていますか。(100)

「あまり感じていない」と回答した人の割合が44.8%で最も高く、「まったく思わない」と合わせると6割近くとなっており、「(とても+ある程度)感じている」人の割合を上回っています。

前回調査と比較すると、「ある程度感じている」人の割合が増加し、「あまり感じていない」人の割合が減少しています。



【前回調査との比較】

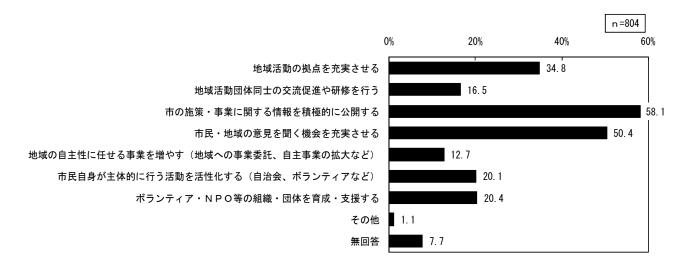
選択肢	前回	今 回	変 化
とても感じている	3. 3	2. 0	-1.3
ある程度感じている	26. 5	34. 3	7.8
あまり感じていない	51.1	44. 8	-6.3
まったく感じていない	11.7	12. 6	0.9

○10・20歳代では、「まったく感じない」人の割合が他の年代と比べて高くなっています。 ○また、40歳代で、「あまり感じていない」人の割合が他の年代と比べて高くなっています。

		問43 情報提供の公開						
	合 計	とても感じ ている	ある程度感 じている	あまり感じ ていない	まったく感 じていない	無回答		
全体	804	2. 0	34. 3	44. 8	12. 6	6. 3		
男性	322	1. 6	35.4	43.5	13. 7	5. 9		
女性	414	1. 9	34. 1	46. 1	11. 4	6. 5		
10・20歳代	86	2. 3	24. 4	43.0	25. 6	4. 7		
30歳代	96	2. 1	35.4	41.7	19.8	1.0		
40歳代	93	3. 2	24. 7	57.0	12. 9	2. 2		
50歳代	155	1. 3	34.8	49.0	10. 3	4. 5		
60歳代	197	1. 5	36.5	46.2	10. 2	5. 6		
70歳以上	165	2. 4	41.8	35. 2	6. 1	14. 5		

問44 市民と行政が力を合わせて新しいまちづくりを進める取組みで、何が重要と考えますか。(3つまで〇)

「市の施策・事業に関する情報を積極的に公開する」が 58.1%で最も高く、「市民・地域の意見を聞く機会を充実させる」も5割を超えています。

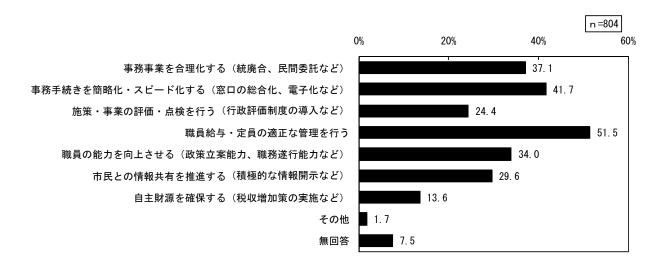


- ○特に 60 歳代で「市の施策・事業に関する情報を積極的に公開する」の割合が高くなっています。
- ○また、10・20歳代では「市民自身が主体的に行う活動を活性化する」、30歳代では「地域の自主性に任せる事業を増やす」、40歳代では「ボランティア等の組織・団体を育成・支援する」の割合が、他の年代と比べて高くなっています。

	問44 新しいまちづくりに重要な取り組み									
	合計	地域活動 の拠点を 充実	団体同士 の交流促	に関する 情報を積			に行う活	ティア等	その他	無回答
全体	804	34. 8	16.5	58. 1	50.4	12. 7	20. 1	20. 4	1.1	7.7
男性	322	31.1	19. 3	56.8	53. 1	14.0	19.9	21. 7	1.2	6. 5
女性	414	38. 2	15. 5	58.7	49.3	10.9	20. 3	19. 3	0. 5	8. 2
10・20歳代	86	33. 7	15. 1	52. 3	54. 7	7. 0	29. 1	26. 7	2. 3	4.7
30歳代	96	37. 5	21. 9	59. 4	52. 1	20.8	17.7	18. 8	2. 1	3. 1
40歳代	93	28. 0	14. 0	57. 0	49.5	15. 1	23. 7	30. 1	4. 3	4. 3
50歳代	155	31.6	14. 2	61.9	49.0	9. 7	20.0	17. 4	0.0	5. 2
60歳代	197	36.5	18.8	65.0	53. 3	11. 2	17. 8	16. 2	0.0	6. 1
70歳以上	165	38.8	15.8	50. 9	45. 5	14. 5	17. 6	20. 6	0.6	17. 0

問45 市では現在、行財政改革に取り組んでいます。あなたは、市の行財政改革の取組みで、何が重要と考えていますか。(3つまで〇)

「職員給与・定員の適正な管理を行う」が 51.5%で最も高く、次いで「事務手続きを簡略化・スピード化する」(41.7%)、「事務事業を合理化する」(37.1%)、「職員の能力を向上させる」(34.0%) と続いています。

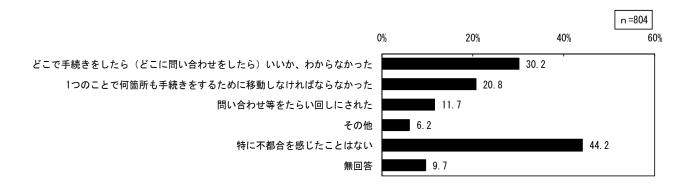


- ○10・20 歳代では、「事務手続きの簡略化・スピード化」や「市民との情報共有を推進」の 割合が、他の年代と比べて高くなっています。
- ○30 歳代では、「施策・事業の評価・点検」の割合が他の年代と比べて高くなっています。

		問45 行財政改革に重要な取り組み								
	合計	事務事業 を合理化	事務手続 きを 部 化・ス ピード化	ル東・争 業の評 に、上や	職員給 与・定員 の適正な 管理	職員の能力を向上	市民との 情報共有 を推進	自主財源 を確保	その他	無回答
全体	804	37. 1	41.7	24. 4	51.5	34.0	29. 6	13. 6	1.7	7. 5
男性	322	40. 7	44. 7	22. 4	53. 4	31.4	28. 9	16.8	1. 2	6. 2
女性	414	34. 5	39. 6	26. 3	49.0	35.3	30. 9	12. 6	1.4	7. 7
10・20歳代	86	25. 6	51. 2	23. 3	54. 7	32. 6	40. 7	9. 3	1. 2	4. 7
30歳代	96	36.5	37. 5	33. 3	47. 9	34. 4	37. 5	16. 7	4. 2	2. 1
40歳代	93	44. 1	36.6	21.5	55. 9	35. 5	32. 3	17. 2	1.1	2. 2
50歳代	155	39. 4	44. 5	26. 5	46. 5	35.5	23. 2	16.8	1. 3	4. 5
60歳代	197	37. 6	45. 7	20. 8	54.8	34. 5	27. 4	13. 2	1.5	7. 1
70歳以上	165	34. 5	37. 0	24. 8	49. 7	32. 7	26. 1	9. 7	1.8	

問46 市の手続きや問い合わせ等で不都合を感じたことは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

「特に不都合を感じたことはない」と回答した人の割合が 44.2%と最も高くなっています。次いで「どこで手続きしたら(どこに問い合わせしたら)いいか、わからなかった」 (30.2%)、「1つのことで何箇所も手続きするために移動しなければならなかった」 (20.8%)、「問い合わせ等をたらい回しにされた」(11.7%)と続いています。



- ○40歳代で、各選択肢の回答割合が、他の年代と比べて高くなっています。
- ○70 歳代では、「不都合に感じたことはない」と回答した人の割合が他の年代と比べて高くなっています。

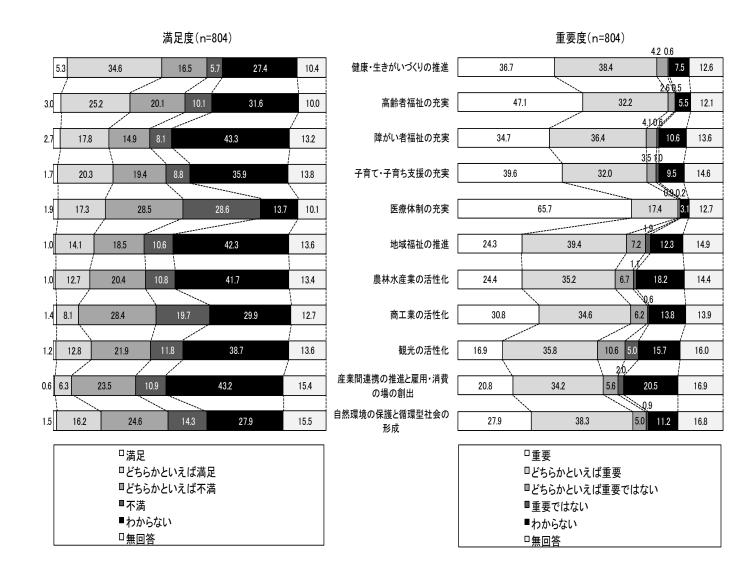
		問46 不都合を感じたこと							
		きをしたら		問い合わせ 等をたらい 回しにされ た	その他	特に不都合 を感じたこ とはない	無回答		
全体	804	30. 2	20.8	11. 7	6. 2	44. 2	9. 7		
男性	322	29. 5	18.9	9. 9	6.8	48. 1	8. 7		
女性	414	31.6	22. 5	12. 3	6. 5	40.6	10. 4		
10・20歳代	86	34. 9	20. 9	14. 0	5. 8	36.0	10. 5		
30歳代	96	32.3	22. 9	13. 5	9. 4	44. 8	4. 2		
40歳代	93	37. 6	25. 8	14. 0	14. 0	37. 6	5. 4		
50歳代	155	31.6	25. 2	13. 5	5. 8	45. 2	5. 2		
60歳代	197	27. 4	20.8	11. 7	4. 6	46. 2	10. 7		
70歳以上	165	24. 8	12. 1	6. 7	2. 4	50.3	16. 4		

Ⅱ-7 まちづくりの評価について

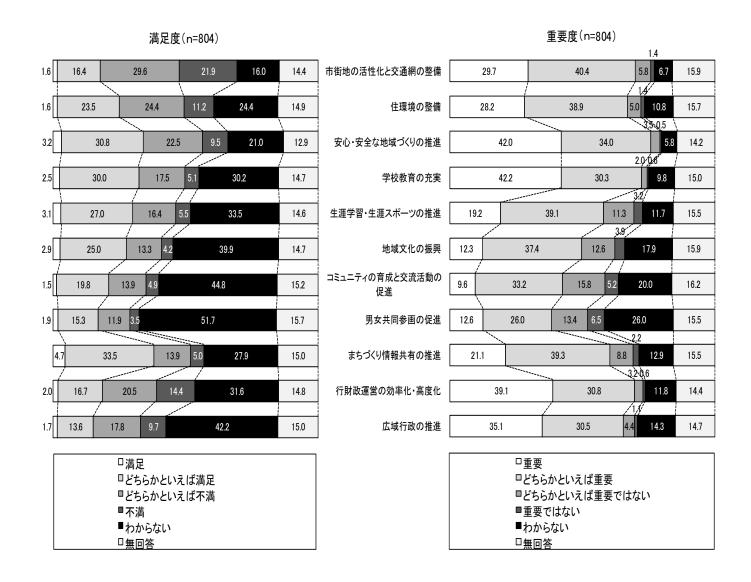
問47 以下の項目は、匝瑳市総合計画前期基本計画で掲げている基本施策です。それぞれ の施策について、あなたの満足度および重要度をお聞かせ下さい。(1~22 の①満足 度および②重要度、それぞれ1つずつに〇)

「満足」(どちらかといえば満足を含む)と回答した人の割合が最も高い項目は「健康・生きがいづくりの推進」(39.9%)となっており、次いで「まちづくり情報共有の推進」(38.2%)、「安心・安全な地域づくりの推進」(34.0%)、「学校教育の充実」(32.5%)と続いています。

一方、「不満」(どちらかといえば不満を含む)と回答した人の割合が最も高い項目は「医療体制の充実」(57.1%)となっており、次いで「市街地の活性化と交通網の整備」(51.5%)、「商工業の活性化」(48.1%)、「自然環境の保護と循環型社会の形成」(38.9%)と続いています。



「重要」(どちらかといえば重要を含む)と回答した人の割合が最も高い項目は「医療体制の充実」(83.1%)となっており、8割以上の人が重要であると回答しています。次いで「高齢者福祉の充実」(79.3%)、「安心・安全な地域づくりの推進」(76.0%)、「学校教育の充実」(72.5%)と続いています。



<点数換算(平均値)>

満足度および重要度について、「満足」を 2 点、「どちらかといえば満足」を 1 点、「どちらかといえば不満」を -1 点、「不満」を -2 点、「わからない」を 0 点として点数換算すると、以下のとおりとなります。

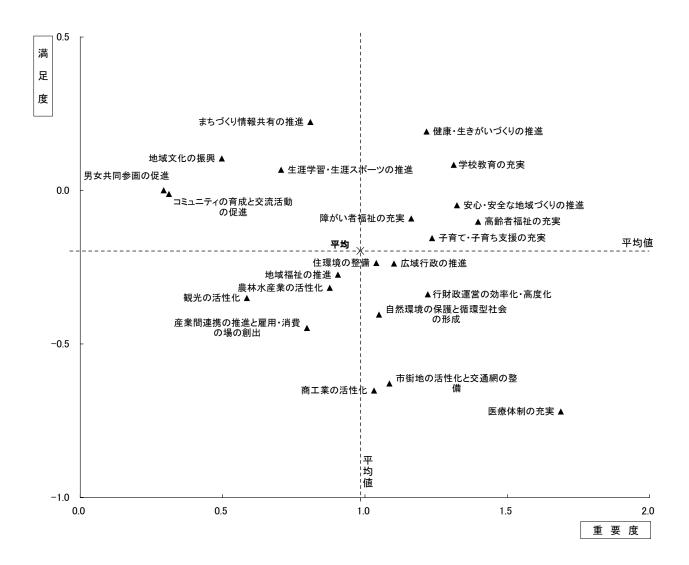
■満足度

	項目			項目	満足度
1	まちづくり情報共有の推進	0. 2	12	住環境の整備	-0. 2
2	健康・生きがいづくりの推進	0. 2	13	広域行政の推進	-0. 2
3	地域文化の振興	0. 1	14	地域福祉の推進	-0. 3
4	学校教育の充実	0. 1	15	農林水産業の活性化	-0. 3
5	生涯学習・生涯スポーツの推進	0. 1	16	行財政運営の効率化・高度化	-0. 3
6	男女共同参画の促進	0.0	17	観光の活性化	-0. 3
7	コミュニティの育成と交流活動の促進	-0.0	18	自然環境の保護と循環型社会の形成	-0. 4
8	安心・安全な地域づくりの推進	-0.0	19	産業間連携の推進と雇用・消費の場の創出	-0. 4
9	障がい者福祉の充実	-0. 1	20	市街地の活性化と交通網の整備	-0. 6
10	高齢者福祉の充実	-0. 1	21	商工業の活性化	-0. 7
11	子育て・子育ち支援の充実	-0. 2	22	医療体制の充実	-0. 7

■重要度

	項目			項 目		
1	医療体制の充実	1.7	12	住環境の整備	1.0	
2	高齢者福祉の充実	1.4	13	商工業の活性化	1.0	
3	安心・安全な地域づくりの推進	1.3	14	地域福祉の推進	0. 9	
4	学校教育の充実	1.3	15	農林水産業の活性化	0. 9	
5	子育て・子育ち支援の充実	1. 2	16	まちづくり情報共有の推進	0.8	
6	行財政運営の効率化・高度化	1. 2	17	産業間連携の推進と雇用・消費の場の創出	0.8	
7	健康・生きがいづくりの推進	1. 2	18	生涯学習・生涯スポーツの推進	0. 7	
8	障がい者福祉の充実	1. 2	19	観光の活性化	0. 6	
9	広域行政の推進	1.1	20	地域文化の振興	0. 5	
10	市街地の活性化と交通網の整備	1.1	21	コミュニティの育成と交流活動の促進	0. 3	
11	自然環境の保護と循環型社会の形成	1.0	22	男女共同参画の促進	0. 3	

満足度が低く、重要度が高い項目では「医療体制の充実」、「行財政運営の効率化・高度化」、「市街地の活性化と交通網の整備」、「商工業の活性化」等があげられます。



Ⅲ その他・自由意見

年齢	居住地区	性別	問 1-3 職業
10・20 歳代	中央地区	_	指導員
10・20 歳代	豊栄地区	男性	就職活動中です。
10・20 歳代	共興地区	男性	フリーター
10・20 歳代	椿海地区	男性	4月から3
30 歳代	中央地区	男性	僧侶
30 歳代	中央地区	男性	福祉
30 歳代	中央地区	男性	大工
30 歳代	野田地区	女性	事務
40 歳代	中央地区	_	障害年金受給
40 歳代	匝瑳地区	男性	建設業
40 歳代	飯高地区	女性	幼稚園教諭
40 歳代	共興地区	男性	兼業農家
40 歳代	共興地区	女性	社会福祉施設職員
40 歳代	栄地区	女性	保育士
50 歳代	豊栄地区	女性	施術師
50 歳代	須賀地区	_	自営
50 歳代	豊和地区	男性	自営
50 歳代	平和地区	男性	建築業
50 歳代	野田地区	男性	大工
50 歳代	野田地区	_	小学校・非常勤講師
50 歳代	栄地区	男性	運転手
60 歳代	中央地区	男性	嘱託職員
60 歳代	中央地区	男性	年金+農林業
60 歳代	中央地区	女性	主婦
60 歳代	豊和地区	男性	自営
60 歳代	飯高地区	男性	パート
60 歳代	椿海地区	女性	医療
60 歳代	野田地区	男性	キャンプ場管理
70 歳以上	中央地区	女性	自営業の事務
70 歳以上	豊和地区	女性	農業
70 歳以上	豊和地区	女性	農業
70 歳以上	共興地区	男性	世帯主は長男 42 歳
70 歳以上	共興地区	男性	障害者
70 歳以上	椿海地区	女性	農

产 华人		ᇪᄯᄆᆒ	明 4 歴史の4 はにに マンフェー
年齢	居住地区	性別	問4 健康のために行っていること
10・20 歳代	中央地区	女性	良く寝る
30 歳代	匝瑳地区	女性	したいがなかなか出来ない。
30 歳代	野田地区	男性	野菜ジュース等の飲料
30 歳代	栄地区	男性	暴飲暴食
40 歳代	豊栄地区	男性	乳製品を三食事にとる
40 歳代	共興地区	男性	上記のような取り組みに参加しやすい体制づくり
40 歳代	平和地区	女性	国産、地元産の安全な食品を選んだ食事。
50 歳代	中央地区	女性	睡眠をとる
50 歳代	豊栄地区	女性	フラダンス

年齢	居住地区	性別	問4健康のために行っていること
50 歳代	豊和地区	女性	献血
50 歳代	共興地区	男性	勉強
50 歳代	共興地区	男性	たまに運動(少し)
50 歳代	野田地区	女性	仕事と生活のバランス
50 歳代	栄地区	女性	最近
60 歳代	豊栄地区	男性	散歩
60 歳代	豊栄地区	男性	徒歩
60 歳代	豊栄地区	男性	軽度な畑作業
60 歳代	須賀地区	男性	時々ですが、歩くこと。年何回かの山歩き。
60 歳代	須賀地区	_	無農薬のものを摂るようにしている。
60 歳代	飯高地区	男性	血糖値を自分で計る、試験紙で尿糖、潜血、たんぱくを計る。
60 歳代	共興地区	男性	好きに生きている。起床時間自由。
60 歳代	共興地区	_	園芸・菜園 etc
60 歳代	椿海地区	_	趣味
70 歳以上	中央地区	男性	趣味を持つこと
70 歳以上	共興地区	女性	友人と外に出掛ける。
_	_	_	日本舞踊
_	_	_	病院で管理している。

年齢	居住地区	性別	問 5 健康増進に重要な取組み
10・20 歳代	豊栄地区	女性	子どもを預かってくれる所を、スポーツ施設などに作ってほしい。
10・20 歳代	平和地区	女性	前のように年齢制限をしないで、若い人も健康診断を受けられるうにすると、若い頃から健康に関心が持てるのではないでしょうか。
10・20 歳代	_	女性	人それぞれだから特に。
30 歳代	須賀地区	男性	経済を豊かにする。
30 歳代	吉田地区	男性	ジョギングや犬の散歩等できるような、明るい公園などがある と良いかも。
30 歳代	平和地区	女性	子供の遊ぶ公園が少ない。おゆみ野の街みたいに公園を充実さ せてほしい。
30 歳代	椿海地区	男性	一部の人だけでなく、市民誰でも利用できる施設をつくってほ しい。
30 歳代	栄地区	男性	トレーニング施設の増設(プール、筋トレ)
30 歳代	-	女性	温水プールがほしい(屋内)
40 歳代	豊栄地区	女性	前のように健康診断を市で受けさせてほしい。 (胸部レントゲン、尿検査、血液検査など)
40 歳代	共興地区	男性	スポーツ教室などのさらなる充実、クラブなど。
40 歳代	共興地区	男性	バリアフリーの充実
40 歳代	共興地区	女性	病気にならないための予防医療の推進。
50 歳代	中央地区	男性	インストラクターを設ける
50 歳代	中央地区	女性	病気の予防の知識を公表してほしい。(広報誌等で)
50 歳代	中央地区	女性	ドームで行っている健康体操。昼の時間帯だけでなく夜間も実行してほしい。
50 歳代	中央地区	女性	栄養(バランス)の摂取の指導

年齢	居住地区	性別	問5 健康増進に重要な取組み
50 歳代	吉田地区	男性	八日市場ドームに入ったら、灰皿があってビックリ。場所に合ったセッティングを明確にすること。
50 歳代	飯高地区	男性	X線も同時に行う。
50 歳代	平和地区	男性	自然を楽しみながらの散歩道、アスレチック施設の充実。
50 歳代	平和地区	女性	スポーツ器具で使っていない物がいろいろあると思うので、市 民に働きかけて集めて使用する。
60 歳代	中央地区	-	無農薬野菜、米、無添加食品の普及を望みます。
60 歳代	須賀地区	_	スポーツする(例えば旭など)施設を造ってほしい。
60 歳代	飯高地区	男性	一個人のモラルの問題
60 歳代	共興地区	男性	健康より生活
60 歳代	共興地区	男性	朝食をしっかりと摂る。家族全員揃って。
60 歳代	平和地区	男性	健康は自分自身で管理するものだと思います。
70 歳以上	中央地区	男性	各自の健康意識を持つ
70 歳以上	中央地区	男性	肢体等の機能保全リハビリ指導
70 歳以上	匝瑳地区	女性	老人クラブ等に出るのが楽しみです。
70 歳以上	吉田地区	男性	日頃の注意で予防可能な疾病、その予防法の伝授。(高齢者に 多い腰痛、膝痛、その他生活習慣病などの)
70 歳以上	共興地区	男性	病気を知るのが怖い、お金がかかる。
70 歳以上	共興地区	女性	各地区に週に1度くらい1日遊んでいられるような所を作る。
70 歳以上	野田地区	女性	笑う・話すことの少ない高齢者向けの遊ビリテーションの充実。
_	野田地区	男性	医療機関の充実

年齢	居住地区	性別	問7 子育て支援に重要な取組み
10・20 歳代	匝瑳地区	女性	もう少し歩道のある道を多くしたほうが、子供達の通学に適していると思う。
10・20 歳代	平和地区	女性	公園などの施設の充実を図ってほしい。
30 歳代	中央地区	女性	病児預かり
30 歳代	豊栄地区	女性	保育料の軽減
30 歳代	須賀地区	男性	経済を豊かにする。
30 歳代	須賀地区	女性	小児の入院施設(病院)と小児救急医療の体制を作る。
30 歳代	椿海地区	男性	中学生までの医療無償化
30 歳代	野田地区	男性	医療費の負担を小6や中3まで軽減してほしい。
30 歳代	栄地区	女性	3人目の保育料無料など。
30 歳代	_	女性	子どもとお年寄りが触れ合える場所を作る。
40 歳代	中央地区	女性	子供を守るという意味で、パトロールなどをしたほうが良い。 現在もボランティア等でやっているところもあるが、一般の人 (お年寄りなど)では、実際何かあったときに対処できるのか と不安にもなる。
40 歳代	豊栄地区	女性	病気の時も預かってくれる(一時的でも)所があるといい。
40 歳代	共興地区	女性	PTA と学校の連携を強くする。
50 歳代	中央地区	女性	仕事先の子育て支援センター等との連絡の取り方。
50 歳代	中央地区	女性	人の目の届く安全な公園 (行きやすい場所)
50 歳代	須賀地区	女性	安全に遊べる公園の設置
50 歳代	豊和地区	女性	子どもに関係する施設・センターのネットワークの充実。
60 歳代	中央地区	男性	昔のような自然保育

年齢	居住地区	性別	問7子育で支援に重要な取組み
60 歳代	中央地区	男性	子供の病気の時に預かってもらえる保育施設を、病院内などに 設置してほしい。
60 歳代	中央地区	男性	産婦人科、小児科医院が不足しているので、市民病院に設ける。
60 歳代	豊栄地区	女性	子供が安心安全に遊べ場所の確保。
60 歳代	ı	女性	子供の虐待にもっと注視しよう!
_	_	=	大きく、市民の生活向上、所得増への取り組み。

年齢	居住地区	性別	問 9 高齢者や障害者に対する重要な施策
10・20 歳代	豊栄地区	女性	車がないと生活できないので、市内循環バスを利用しやすくす る。
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	交通手段を充実させる。 (バスの本数を増やす)
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	医薬品をジェネリックにする。
30 歳代	須賀地区	男性	障害者を知る。
30 歳代	吉田地区	男性	場所によっては歩道等なく、年寄り、子供に危ない所が多く思う。
30 歳代	野田地区	男性	平穏無事な生活・暮らしとその施策。
30 歳代	栄地区	男性	障害者の就職先の充実
40 歳代	中央地区	女性	一人暮らしのお年寄りの方などの家庭への訪問は(介護とは別として)回数を増やしたほうがいいのではないでしょうか。
40 歳代	中央地区	女性	歩道の確保や道路の凸凹のない舗装
40 歳代	豊栄地区	男性	買物支援
40 歳代	豊栄地区	女性	病院の充実
40 歳代	豊和地区	女性	交通手段が乏しい。
40 歳代	共興地区	男性	外に出る場合の利便性。(買物などの足の補助行為等)
40 歳代	共興地区	女性	介護保険を使うまでいかないが、老人世帯で病院へ通院するための交通や医療面でのフォロー等、老々介護になったときでも在宅で生活できるような地区(小規模)の体制の整備(民生委員や相談窓口の充実)。
50 歳代	中央地区	男性	現在のままでよい。
50 歳代	中央地区	女性	低所得者が市、又は訪問介護に内緒でパチンコ・麻雀などの賭け事、所得以上の車の維持。
50 歳代	中央地区	女性	障害者シール(車に貼る)は、市役所でしか販売してほしくない。市役所では販売してないそうですが、是非扱ってほしい。
50 歳代	中央地区	女性	小売商店の活性
50 歳代	平和地区	男性	通院に伴う交通費の充実。
50 歳代	野田地区	女性	5に準じて地域で生き生きと暮らせる施策。
50 歳代	栄地区	男性	病院・交通
60 歳代	須賀地区	女性	国保税・固定資産税等、免除する。
60 歳代	匝瑳地区	女性	若い人、中高年、老人層等の話し合いの場があれば。
60 歳代	吉田地区	女性	年金で入所できる施設がほしい。
60 歳代	共興地区	男性	家族内で自宅で世話をしている者に、一定の月給を支給する。 そうすることによって、子供がいれば、それをみて子供の教育 になる。
70 歳以上	中央地区	男性	「自宅周辺のゴミ拾い」から周辺の環境改善に参加。ゴミ挟み を各自用意。
70 歳以上	中央地区	男性	買物難民対策(日常食料品)
70 歳以上	中央地区	女性	高齢者に対して税負担を軽くしてほしい。

年齢	居住地区	性別	問 9 高齢者や障害者に対する重要な施策
70 歳以上	中央地区	女性	歩道等があったら、高齢者、児童、障害者も安全に外出ができると思う。
70 歳以上	中央地区	_	移動の足、買物できる商店街。
70 歳以上	豊和地区	男性	高齢者タクシーを市で運営する。
70 歳以上	椿海地区	女性	バスの回数をもっと多くする。高齢者社会なので。
70 歳以上	野田地区	-	買物や通院を支援してほしい。
70 歳以上	栄地区	女性	生涯学習は余裕のある人にだけある気がする。ない人は行けな い。

年齢	居住地区	性別	問 12 医療関係への重要な取組み
10・20 歳代	中央地区	男性	医師の技術の向上
10・20 歳代	中央地区	女性	健診のお知らせを送ってほしい。
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	医療費を安くしてほしい。
10・20 歳代	平和地区	女性	小児科救急を市内にも作ってほしい。旭中央にかかると必ず「住まいはどこですか?」と聞かれ、匝瑳市と言うと「次回は自宅の近くで受診して下さい」と言われる!
10・20 歳代	椿海地区	男性	病院がいつも混んでいるので、数を確保してほしい。
10・20 歳代	栄地区	女性	病院の混雑や医療従事者の、患者に対する対応をもっと良くしてほしい。
30 歳代	野田地区	男性	日頃の生活なので病気をしないための生活・知識・健康・過ご し方。
50 歳代	豊和地区	女性	スポーツ施設のついた病院づくり。1へも関連。
50 歳代	吉田地区	男性	箱物は旭にある。地域密着のこまめな匝瑳を。
50 歳代	吉田地区	男性	市民病院の救急外来対応の充実。
50 歳代	平和地区	女性	市民各々が、かかりつけ医を持つ(登録する)。
60 歳代	須賀地区	女性	高齢になって通院の手段が無くなるのを、タクシーを度々利用 することは無理でしょうから、心配しています。
70 歳以上	豊和地区	男性	かかりたい時にかかるべき医療を受けられる体制の構築。
70 歳以上	吉田地区	_	何人も健康に注意。

年齢	居住地区	性別	問 13-1 自慢内容
10・20 歳代	豊栄地区	女性	地井武男
10・20 歳代	須賀地区	男性	植木
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	日本最大の死人の町匝瑳市
20 华化	 	女性	子供の医療費が無料になること(子供に対して考えてくれてい
30 歳代	椿海地区	女性	ること)
30 歳代	野田地区	男性	都心に近い豊かな自然のある田舎
40 歳代	栄地区	女性	学校給食の取り組み方など。
50 歳代	中央地区	男性	活発な植木産業
50 歳代	中央地区	男性	ゴミの分別の徹底は素晴らしい!
50 歳代	中央地区	男性	飯高檀林
co 告件	活加地区	EE 1/4-	1 ではないが、趣味としての田舎暮らし環境に良い。公害的要
60 歳代	須賀地区	男性	素がない。
60 歳代	豊和地区	男性	植木の街
60 歳代	椿海地区	女性	歴史

年齢	居住地区	性別	問 13-1 自慢内容
60 歳代	栄地区	女性	車がないと生活できないが、のんびりと過ごせる。(年齢を重
00 /// (N. P.	クロ	ねると余計)
70 歳以上	中央地区	男性	飯高檀林、山下りん
70 告口 L	70 歳以上 椿海地区		都会と違って自然のいい所は良いです。商店が大型店に行って
70 成以上		女性	ますので、市の活気がないです。

年齢	居住地区	性別	問 15 農林水産業振興への重要な取組み
30 歳代	共興地区	女性	使っていない農地の利用。使っていない農地を利用するには、 雑木の伐採等に多額の費用が要るが、個人には負担が大きい。 補助金、法人化(法人組織)、重機の貸し出し等。
30 歳代	野田地区	男性	1~7はどれも選択したくない。
40 歳代	中央地区	女性	農林水産に携わっていないので分かりません。
50 歳代	中央地区	男性	4、5について、地元有名人(例えば地井武男)に観光大使になってもらう。
50 歳代	中央地区	女性	食育を小学生からする。
50 歳代	平和地区	男性	特に市内で採れる農水産物のB級グルメ開発。
50 歳代	野田地区	女性	次世代に残せるものを発掘。
60 歳代	中央地区	男性	何でもいいから日本一のものをつくる。
60 歳代	豊栄地区	男性	安全な食材(生産と信用)
60 歳代	飯高地区	男性	予算がないと何も不可。
60 歳代	共興地区	男性	各農家はそれぞれに自分の好きに生産して、結果は自己責任と する。
60 歳代	栄地区	女性	安定した農産物の価格でないと、農業をしたくてもできない。 現在は畑があるのでしているが、日々を過ごすにはいいが、経 費を除くとそれでは食べていけない。安定すればもう少し農業 従事者は増える。
70 歳以上	豊和地区	-	特産品を都市圏に PR ネット販売。

年齢	居住地区	性別	問 17 商工業振興への重要な取組み
10・20 歳代	栄地区	_	商店街を明るく。
30 歳代	須賀地区	男性	知る努力をする。
30 歳代	野田地区	男性	個々の会社が特色を出していくこと、他と連携して新しいもの
30 成八	判旧地区	カエ	を生み出していく。
40 歳代	中央地区	_	オリジナルグッズなど。
50 歳代	曲坐地厅		商店は客を待っているのではなく、客が何を望んでいるのかを
50 成代	豊栄地区	女性	探り、それに応える努力が必要だと思う。
60 歳代	共興地区	男性	当市で専業の業で生活できているのは公務員だけ。
60 歳代	野田地区	男性	匝瑳市で唯一人の全国区、地井武男さんの出身地ということ。
70 歳以上	豊和地区	_	ベンチャー企業を税制優遇で誘致。
70 歳以上	吉田地区	女性	建設課の規制が強すぎて、他市町村へ流れている。

年齢	居住地区	性別	問 18 市の観光資源となりうるもの
10・20 歳代	中央地区	男性	8/4、8/5 の祭り

年齢	居住地区	性別	問 18 市の観光資源となりうるもの
10・20 歳代	中央地区	男性	植木市場
10・20 歳代	中央地区	女性	○植木 ○サーフィン ○祭り
10・20 歳代	中央地区	女性	祭り
10・20 歳代	中央地区	女性	ふれあいパーク
10・20 歳代	中央地区	女性	海。県外からも週末人が集まると思うので、そこで集客できる ものを作るとよいと思う。
10·20 歳代	中央地区	_	祭り
10・20 歳代	豊栄地区	男性	若い人の就農支援
10・20 歳代	豊栄地区	男性	飯高檀林
10・20 歳代	豊栄地区	女性	○飯高檀林 ○海 ○黄門桜 ○ふれあいパーク
10・20 歳代	須賀地区	男性	市の木であるイヌマキを全国的に広める。
10・20 歳代	須賀地区	女性	○祇園祭り ○桜 ○水田 ○駒真似祭 ○植木 ○ガーデニング ○マラソン大会
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	(B級グルメ案) 地元の特産物を利用して、創作料理を作り、 新しいB級グルメをしてネットで紹介する。好きな人は必ず試 食しに来るので、少しずつでも広がれば他県から食べに来ても らえると思う。有名になれば、地元の人もよく食べるようにな ると思う。それにより、匝瑳市の存在を知ってもらえると思う。
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	8月の4・5日に行われる祭りが観光資源になると思う。
10・20歳代	匝瑳地区	男性	植木
10・20歳代	匝瑳地区	女性	植木だと思う
10・20 歳代	匝瑳地区	女性	旧道の商店街が本当に元気がない! 難しいだろうけど、祭り の際のみ賑やかになる旧道でなく、いつでも賑やかな旧道の商 店街だともっと他県に自慢できる。
10・20 歳代	匝瑳地区	女性	植木
10・20 歳代	豊和地区	男性	歴史、伝統的な民謡、民間の文化・風習を知らせること。
10・20 歳代	豊和地区	男性	観光スポットの PR を他県に広める。
10・20 歳代	飯高地区	女性	自然
10・20 歳代	共興地区	男性	水資源
10・20 歳代	平和地区	女性	植木、花ぐらいしかない!
10・20 歳代	平和地区	女性	「市の観光資源」これがないから困っている。市が積極的に考 えて作ってほしい。
10・20 歳代	平和地区	女性	植木
10・20 歳代	平和地区	女性	○自然 ○農産物
10・20 歳代	椿海地区	男性	田園風景などは都会にはない資源だと思う。
10・20 歳代	椿海地区	女性	○海 ○自然
10・20 歳代	椿海地区	-	祭りや緑が多い所。
10・20 歳代	野田地区	男性	海産物
10・20 歳代	野田地区	男性	海
10・20 歳代	野田地区	女性	○ふれあい公園 ○飯高檀林
10・20 歳代	栄地区	男性	海岸線の整備、自然の景観美
10・20 歳代	栄地区	女性	地井さん!
30 歳代	中央地区	男性	今話題となっているB級グルメや道の駅などをもっとPRしていくこと。観光する人だけに視点を向けるのではなく、市民にももっと視点を向けて対応していく。農産物などは、インターネットなどの情報システムを利用したりしてみるのはどうかな?と感じる。(現にインターネットで対応している場合はPR方法を変えてみては)
			1/14で及んしかしは 1

年齢	居住地区	性別	問 18 市の観光資源となりうるもの
-T-M1	冶工心區	工力引	
30 歳代	中央地区	男性	○祭り ○植木 ○飯高壇林 ○地井武男○B級グルメを匝瑳市で立ち上げるべきと考えています。
30 歳代	中央地区	男性	○祭り○飯高檀林
30 歳代	中央地区	女性	植木
30 歳代	中央地区	女性	今まで通り植木
30 歳代	中央地区	女性	植木とか…。
30 歳代	中央地区	女性	竹の子
30 歳代	中央地区	女性	お祭り
30 歳代	中央地区	女性	地井さんが、ちい散歩で匝瑳市を紹介してくれたので、知名度 が上がったと思う。
30 歳代	豊栄地区	男性	○魚介類 ○米 ○太陽社の和・洋菓子
30 歳代	豊栄地区	男性	○海 ○植木
30 歳代	豊栄地区	男性	カジノ (九十九里沖)
30 歳代	豊栄地区	男性	都市住民参加型農園
30 歳代	豊栄地区	女性	自然
30 歳代	豊栄地区	女性	海、植木などの自然
30 歳代	須賀地区	男性	海、もっと客を呼べるような、地元もあきらめないようなサービス、サーフィンなど色々とあるので、あきらめないで頑張り、 取り組む!
30 歳代	須賀地区	女性	お祭り。お祭りを見に来てもらい、そのついでに目的となる何かがあれば、また来年もと思ってもらえると思う。「匝瑳に来たらこれを食べたい」というものもあれば、それを目的に来る人も増えるのではないか。匝瑳ってどこ?とよく聞かれるのでPRも必要。
30 歳代	須賀地区	女性	海
30 歳代	須賀地区	女性	やはり植木ではないでしょうか?
30 歳代	須賀地区	女性	○大浦ごぼうのブランド化○植木の品質向上によるブランド化○畜産の品質向上によるブランド化
30 歳代	須賀地区	-	祭りや伝統文化
30 歳代	匝瑳地区	女性	○祇園祭 ○海岸 ○匝瑳市の食堂どこ行っても食べられる地元料理など開発し て。
30 歳代	匝瑳地区	_	○祇園祭 ○道の駅
30 歳代	吉田地区	男性	食品
30 歳代	吉田地区	女性	田植え等の体験→自然を通して地域文化をアピールしていく。
30 歳代	共興地区	男性	○夏祭り ○青少年スポーツ大会
30 歳代	共興地区	男性	○植木などの造園、庭園、花をメインとする、海外文化との融合 ○海岸沿いの商業ゾーンの整備 ○296号線沿いの観光ゾーンの整備
30 歳代	共興地区	女性	○祭り(祇園、農業祭り)、サーフィンの大会などのイベント。○飯高檀林等の文化財。
30 歳代	平和地区	男性	○ふれあいパークのような道の駅(地元の品を販売)○八日市場祇園祭○植木市場
30 歳代	平和地区	女性	富士宮焼きそばみたいなものを作る。市のPRにもなるし、TVで取り上げてもらえば、かなりのお客が見込まれそう。

左监	足分孙豆	사 모네	明 10 士の知业恣流したけるですの
年齢	居住地区	性別	問 18 市の観光資源となりうるもの
30 歳代	平和地区	女性	お祭り
4사분 0.0	桂海 地豆	EE 144-	○匝瑳市らしさのあるイベントなどをやって、それを資源にしていせばいいより思る
30 歳代	椿海地区 	男性	ていけばいいと思う。 ○匝瑳市を含めたバスツアーなどを企画したらいいと思う。
30 歳代	椿海地区	男性	海と山がある。
30 歳代	椿海地区	男性	植木を中心とした産業、例えばガーデニング等。
30 歳代	椿海地区	女性	○祭り○豊かな自然
00 ///2/14	TO PAY COLO	スは	○漁業・農業・伝統工芸・大工など体験型の観光資源としてコ
			ンテンツ化する。メニュー化して旅行代理店などとタイアップ
30 歳代	野田地区	男性	する。
30 成八	判山地区	力江	○市内の特色ある場所を集め、ロケ地誘致活動をする。
			○市の HP に掲載し、メディア編集者の人達に情報発信する。一
			つ有名になれば、観光地が一つできることになる。
30 歳代	野田地区	男性	飯高檀林
			○なにも無い。そもそも匝瑳市は観光に不向きなのでは? 植
30 歳代	野田地区	男性	木のイヌマキの木を見せてもしょうがない。暇になりそうだ。
			○市のかなり有利な観光でもないとうまくいかない気もする。観光はしてほしくもないが。
30 歳代	栄地区	男性	無
30 版	水地区	刀压	○海
			○八日市場の祭り
30 歳代	栄地区	男性	○スポーツ施設の有効活用(八日市場ドームと野栄アリーナが
			有効に使われていない。市の住民が使いたくても使わせてくれ
			ない。)
			○海:特にサーファーなどは年中多く、若者が高速でわざわざ
			来るほどの賑わい。シャワーの整備などで、もっと来やすく、
30 歳代	栄地区	女性	利用しやすくし、宿泊、食事、土産などにつなげていけたらい
			いのでは。
			○直売所:ちょっと形が悪くても「○○さんの野菜」として安 心なものを皆食べたいのでは。
30 歳代	米地区	女性	貸農地・海
40 歳代	中央地区	女性	海
			集客が見込める大型施設の設営(ショッピングモール、アウト
40 歳代	中央地区	女性	レットなど)。他県より人が集まらないと資源は増えない。
			○既存の史跡、飯高檀林、飯高神社、龍頭寺の大藤、黄門桜、
			チューリップ祭り、植木まつり、八重垣神社祇園祭などを PR す
40 歳代	中央地区	女性	る。
10 ///	一人地区	グユ	〇一般の人が体験できる農産物の収穫など(イモ掘り、稲刈り)。
			○れんこん、せり、大浦ごぼうなどを使った料理教室(体験)
40 歳代	H H W H		など。
40 歳代	中央地区中央地区	女性 女性	八重垣神社祇園祭や飯高檀林とその周辺 B級グルメの開発
コロ 別外 人	1 人地区	グエ	○飯高檀林、九十九里(野栄)、ふれあいパーク、ゲゲゲの~
40 歳代	中央地区	_	のように、ロケに協力し知名度を上げる。
			○太平洋からの日の出
40 歳代		-	海岸であると思います。海水浴場として利用できない状況は、
	中央地区		観光資源を捨てているのと同じではないですか? 海水プール
			など、やろうと思えばいくらでも出来るのでは。昔は海岸も賑
			わっていた記憶があります。

年齢	居住地区	性別	問 18 市の観光資源となりうるもの
40 歳代	豊栄地区	男性	○植木農園 ○飯高壇林等
40 歳代	豊栄地区	男性	天神山(桜)
40 歳代	豊栄地区	男性	海
40 歳代	豊栄地区	男性	里山・海
40 歳代	豊栄地区	女性	歴史のあるお寺や高い技術を持つ植木職人さん、九十九里浜も 広い範囲が匝瑳市のものです。秘密スポットめぐりするには、 いい材料がたくさんあると思います。体験企画なんかも楽しい のでは。大浦のごぼう掘り体験とか! (もう既にやられていた らごめんなさい)
40 歳代	豊栄地区	女性	○新鮮な米、野菜、植木○祭りや伝統文化など
40 歳代	須賀地区	男性	特に思い当たりませんが、強いて言えば植木のまち。今後は九十九里浜海岸の側という土地柄、サーフィンなども観光資源となるのでは?
40 歳代	須賀地区	女性	○植木の町としてもっと PR する。 ○ブランド米の開発(多古米は有名なので匝瑳米とか?)
40 歳代	須賀地区	女性	海岸
40 歳代	匝瑳地区	男性	○飯高寺 ○脱走塚 ○老尾神社
40 歳代	共興地区	男性	○海岸(サーフィン、海水浴)○水田(米のブランド)○観光農園の積極的な実施
40 歳代	共興地区	女性	○飯高檀林 ○祇園祭り ○歴史の掘り起こし
40 歳代	共興地区	女性	豊かな緑と文化資源(飯高檀林など)
40 歳代	平和地区	男性	植木の町をアピールし、観光分野での収入を増やす。(例)兼 六園のように他県に自慢できる公園を造る。
40 歳代	平和地区	女性	八重垣神社祇園祭
40 歳代	平和地区	女性	海岸
40 歳代	椿海地区	男性	○八重垣神社の祇園祭り ○吉崎浜のレクリエーション設備の充実 ○オートキャンプ場やアスレチックを造る。 ○テニスコートを拡充して宿泊設備を整え、合宿等ができるようにする。
40 歳代	椿海地区	女性	飯高檀林周辺の自然環境と指定文化財。
40 歳代	椿海地区	女性	米、野菜がおいしく、品質もよいので、ふれあいパークのようなものをもっと作ってほしい。70歳以上で自家用の野菜をつくっている人が多いので、その余った分を売れるようにしてほしい。品物が多いと観光に来て買っていく人も多いと思う。
40 歳代	野田地区	男性	飯高檀林
40 歳代	野田地区	男性	海
40 歳代	野田地区	女性	○自然の豊かさ○食べ物の美味しさ
40 歳代	野田地区	女性	砂浜をなんとかしてほしい。海の家の復活!
40 歳代	野田地区	-	植木
40 歳代	栄地区	男性	市内には多くの里山があるので、気軽に登山できるよう整備し たらどうか。
40 歳代	栄地区	女性	○黄門桜と総合支所南側の花の広場に咲くチューリップ、ふれ あいパークを結ぶシャトルバスを運行して花の時期に PR する。 ○海岸を整備して遊泳できるようにもう一度砂浜を取り戻す。

年齢	居住地区	性別	問 18 市の観光資源となりうるもの
40 歳代	栄地区	女性	海。海水浴場が無くなってしまい、今はサーファーしか来ないが、浜を整備し、観光に力を入れる。海に面しているのに、海水浴場が無いのは寂しい。
50 歳代	中央地区	男性	(例) 11 月に茨城の神栖でクラシックカー・フェスティバルへ 参加しました。
50 歳代	中央地区	男性	植木産業というブランドがあるので、誰でも気軽に来訪できるよう、初歩の植木から上級の植木作りのコーナーを設けて、興味を持たせるような、植木の街にふさわしいブランド的なものがなりうると思う。
50 歳代	中央地区	男性	○八重垣神社祇園祭をもっとアピールする。 ○廃校になった学校を有効活用する。(芸術、農業 etc)
50 歳代	中央地区	男性	○飯高檀林とその周辺の寺社は、観光資源として価値があります。しかし、現状は観光に訪れた人が休憩する施設が充分ではありません。ふれあいパークのような土産買物や食事ができるような施設があると良いと思います。 ○巨木(杉やスダジイ等)、巨木巡りマップで景品をつける等。
50 歳代	中央地区	女性	米、野菜などの農産物
50 歳代	中央地区	女性	植木の町といいますが、特にここはという所がない。駅前でも いいので庭園等を作ってみてはどうですか。
50 歳代	中央地区	女性	植木を整備した施設 (例:植木の日本庭園)
50 歳代	中央地区	女性	植木などのいろいろな支援を考えているようですが、一部の 人々のものだけだと考えています。だから人々でいろいろ考え たほうがよいと思います。
50 歳代	中央地区	女性	農産物と自然
50 歳代	中央地区	女性	○地野菜 ○植木 ○飯高寺 ○黒潮でのサーフィン ○夏祭り
50 歳代	中央地区	女性	豊かな自然
50 歳代	中央地区	女性	望洋荘の周辺の整備(遊歩道、海を眺めながら)。季節の花な ど植える。
50 歳代	豊栄地区	男性	○飯高檀林などの歴史的建造物・施設○八重垣神社の祭礼等の習俗・文化○農産物
50 歳代	豊栄地区	男性	農産物を主とした観光農園と海水浴(米、野菜 etc)。リピーターを確保して継続していく。
50 歳代	豊栄地区	男性	人(地井武男)をもっと前面、あるいは前面に出した PR、ブランド商品の開発。(宮崎県の東国原氏のような!)
50 歳代	豊栄地区	女性	○温和な気候 ○豊かな自然
50 歳代	豊栄地区	女性	○豊かな自然 ○地元の農産物
50 歳代	須賀地区	男性	体験型農業。日帰り及び一泊ないし二泊の短期滞在。帰りに農 産物の販売、PR。
50 歳代	須賀地区	女性	○野菜 ○海産物
50 歳代	須賀地区	女性	○自然の豊かさ ○植木 ○祭り
50 歳代	須賀地区	女性	地元の安い新鮮な農作物
50 歳代	須賀地区	Í	○植木の市場 ○海岸線の整備
50 歳代	匝瑳地区	男性	海岸・神社・寺院等
50 歳代	匝瑳地区	男性	海で獲れたもの、畑、ハウスなどでとれたものを地域の物産としていろいろと考えてはいかがでしょうか。今でも活動をしてきたと思いますが、まだまだ考え不足、品不足、進行不足ではないでしょうか。

年齢	居住地区	性別	問 18 市の観光資源となりうるもの
50 歳代	匝瑳地区	男性	祭り
50 歳代	豊和地区	男性	地引網、潮干狩り等の海岸観光
50 歳代	豊和地区	男性	海や里山等、自然の豊かなところ。
50 歳代	豊和地区	男性	○植木 ○野菜 ○サーフィン ○飯高寺 (コンサート)
50 歳代	豊和地区	女性	米、野菜など農産物等
50 歳代	豊和地区	女性	飯高檀林を中心とした史跡。
50 歳代	豊和地区	女性	伝統的なものがたくさんあるので、アピールしていく。
3 3 7724 4	32,11112	八正	○新鮮な農産物 ○豊かな自然…里山・海(竹材や椿を利用したもの。"まこも
50 歳代	豊和地区	女性	の工芸品") ○歴史にちなんだもの…飯高檀林、幕末の松山の脱走塚、おせん藤とつつじ
50 歳代	吉田地区	男性	飯高寺の観光アピールをする。
50 歳代	吉田地区	男性	○植木と海 ○飯高檀林
50 歳代	吉田地区	男性	海岸地域の観光整備
50 歳代	飯高地区	男性	飯高寺と海
50 歳代	共興地区	男性	吉崎の海岸(サーフィンの大会を誘致するなど)を整備。
50 歳代	共興地区	男性	○植木○伝統工芸(藍染、弓の製作、仏像彫刻、祭り)○農産物(野菜、米、果樹)
50 歳代	共興地区	女性	地井武男
50 歳代	平和地区	男性	飯高檀林
50 歳代	平和地区	男性	「植木」産業が古くよりあるので、自然環境を生かした「草花・ 木」
50 歳代	平和地区	男性	今までは植木だと思いますが、今後は目ぼしいものなし。
50 歳代	平和地区	女性	植木、野菜、果物
50 歳代	平和地区	女性	自然
50 歳代	平和地区	女性	飯高檀林
50 歳代	平和地区	女性	○植木 ○農産物
50 歳代	平和地区	女性	○植木 ○野菜
50 歳代	椿海地区	男性	(自然)海・里山
50 歳代	椿海地区	女性	魚の幸
50 歳代	野田地区	男性	野菜
50 歳代	野田地区	-	農業
50 歳代	野田地区	-	○飯高檀林 ○植木(槙塀) ○海岸 ○祇園祭○よかっぺ祭り ○そうさチューリップ祭り
50 歳代	栄地区	男性	○海 ○休耕地 ○特産物
50 歳代	栄地区	男性	自然環境・農林水産業
50 歳代	栄地区	女性	海でサーフィンが出来る。
50 歳代	_	女性	九十九里浜の美化、海のふれあいパークのような拠点作り。(日 帰り温泉を核とした施設)
60 歳代	中央地区	男性	○農産物を生かしたもの○植木アート公園
60 歳代	中央地区	男性	飯高壇林・植木畑
60 歳代	中央地区	男性	地井武男さんにおまかせでやってもらう。
60 歳代	中央地区	男性	植木・花木
60 歳代	中央地区	男性	祭り

##				
60 歳代 中央地区 男性 日然を楽しり施設などを開発する。 日然を楽しり施設などを開発する。 日然を楽しり施設などを開発する。 日次 日次 日次 日次 日次 日次 日次 日	年齢	居住地区	性別	問 18 市の観光資源となりうるもの
60 歳代 中央地区 男性 人を呼い込む。併せてした動の整備。	60 歳代	中中州区	里性	
60 歳代 中央地区 男性		, , , , , ,		
60歳代 中央地区 男性	60 歳代	中央地区	男性	
60 歳代 中央地区 女性 たくさん値えて花祭り。	60 歳代	中央地区	男性	
60 歳代 中央地区 女性 操焼だと思います。	60 歳代	中央地区	女性	
60 歳代 中央地区 女性 ○ 植木市など大々的にイベントなどあったら良いかな。 ○ 自然豊かな環境を生かした取組み ○ 公統文化・祭り等 ○ 祭り ○ 総称に希望参加して頂いて、ブランド米を匝瑳市から販売する。 ○ 魚 位	60 歳代	中央地区	女性	
60歳代 中央地区 女性 ○伝統文化・祭り等 ○祭り ○祭り ○総次 中央地区 女性 女性 一次 校生 ○の魚 ○の食べ 世来地区 女性 一次 ○の食べ 世来地区 の食高性林 ○海岸 ○植木 ○の食の養性 ○の食の養性 ○の食の食性 ○の食の食性 ○の食の食性 ○の食の食性 ○の食の食性 ○の食の食性 ○の食の食性 ○の食の食性 ○の食の食性 ○の食の食性 ○の食の食性 ○の食の食性 ○の食の食性 ○の食の食性 ○の食の食性 ○の食の食性 ○の食の食性 ○の食の食性 ○の食の食の食の食の食の食の食の食の食の食の食の食の食の食の食の食の食の食の食	60 歳代	中央地区	女性	
60 歳代 中央地区 女性 ○稲作に希望参加して頂いて、ブランド米を匝瑳市から販売する。 ○魚 一中央地区 女性 植木、特にまき、椿等、広大な所でアピールしたほうが良い。 海岸に観光客を呼ぶような、昔のようにしてもらいたいと希望します。 ○飯高幢林 ○海岸 ○植木 ○飯高幢林 ○本のまち ○史跡 特定の人だけでなく、誰にでも参加できる青空市等はどうかと 豊栄地区 男性 ○飯高幢林 ○福木のまち ○史跡 特定の人だけでなく、誰にでも参加できる青空市等はどうかと 思います。八日市場の原点は8つの市場と聞いた記憶があります。 ○蔵代 須賀地区 男性 極木 ○ 海水浴 60歳代 須賀地区 男性 塩木 ○海水浴 60歳代 須賀地区 男性 塩上 大井田畑で体験農業、レンタル耕作、海と陸の組み合わせた。 20歳代 須賀地区 女性 20歳 20歳	60 歳代	中央地区	女性	
60歳代 中央地区 女性 海岸に観光客を呼ぶような、昔のようにしてもらいたいと希望します。 1 日本 1 日	60 歳代	中央地区	女性	○稲作に希望参加して頂いて、ブランド米を匝瑳市から販売する。
60歳代 中央地区 女性 します。	60 歳代	中央地区	女性	植木、特にまき、椿等、広大な所でアピールしたほうが良い。
60歳代 豊栄地区 男性 ○飯高檀林 ○本積のみ作り 60歳代 豊栄地区 男性 ○飯高檀林 ○極木のまち ○史跡 特定の人だけでなく、誰にでも参加できる青空市等はどうかと 思います。八日市場の原点は8つの市場と聞いた記憶があります。 60歳代 須賀地区 男性 種木 理山、休耕田畑で体験農業、レンタル耕作、海と陸の組み合わせ。 80歳代 須賀地区 女性 理山、休耕田畑で体験農業、レンタル耕作、海と陸の組み合わせ。 20歳代 須賀地区 女性 理山、休耕田畑で体験農業、レンタル耕作、海と陸の組み合わせ。 20歳代 須賀地区 女性 20歳のません。里山ハイキングのコースができるとうれしいです。 ○歴史のある寺や神社など(飯高神社等) ○植木 ○九十九里の海岸(管理保全を要す) ○種木 ○九十九里の海岸(管理保全を要す) ○町園、里山の美しい環境 ○町園、里山の美しい環境 ○町園、里山の美しい環境 ○町園・田山の美しい環境 ○町園・田山の美しい環境 ○町園・田地区 女性 ○市の種木 ○寺・神社等 ○前の 位本 ○市の	60 歳代	中央地区	女性	
60 歳代 豊栄地区 男性 の飯高檀林 ○植木のまち ○史跡 特定の人だけでなく、誰にでも参加できる青空市等はどうかと 思います。八日市場の原点は8つの市場と聞いた記憶があります。 八日市場の原点は8つの市場と聞いた記憶があります。 一個木 里山、休耕田畑で体験農業、レンタル耕作、海と陸の組み合わせます。 八日本 一本 一本 一本 一本 一本 一本 一本	60 歳代	豊栄地区	男性	○飯高檀林 ○海岸 ○植木
60歳代 豊栄地区 女性 特定の人だけでなく、誰にでも参加できる青空市等はどうかと 思います。八日市場の原点は8つの市場と聞いた記憶があります。 八日市場の原点は8つの市場と聞いた記憶があります。 八日市場の原点は8つの市場と聞いた記憶があります。 八日市場の原点は8つの市場と聞いた記憶があります。 八日市場の原点は8つの市場と聞いた記憶があります。 八日市場の原点は8つの市場と聞いた記憶があります。 八日市場の原点は8つの市場と聞いた記憶があります。 八日本本 八日本本 八日本本 八日本本 八日本本 八日本本 八日本本 八日本	60 歳代	豊栄地区	男性	○飯高檀林 ○木積のみ作り
60歳代 豊栄地区 女性 思います。八日市場の原点は8つの市場と聞いた記憶があります。	60 歳代	豊栄地区	男性	○飯高檀林 ○植木のまち ○史跡
60 歳代 須賀地区 男性 ○植木 ○海水浴 60 歳代 須賀地区 男性 植木 里山、休耕田畑で体験農業、レンタル耕作、海と陸の組み合わせ。 セ・ セ・ セ・ セ・ セ・ セ・ セ・ セ	60 歳代	豊栄地区	女性	思います。八日市場の原点は8つの市場と聞いた記憶がありま
60歳代 須賀地区 男性 里山、休耕田畑で体験農業、レンタル耕作、海と陸の組み合わせ。	60 歳代	須賀地区	男性	
60 歳代 須賀地区 男性 せ。 世。 世。 日の歳代 須賀地区 女性 思い当たりません。里山ハイキングのコースができるとうれしいです。 ○歴史のある寺や神社など(飯高神社等) ○植木 ○九十九里の海岸(管理保全を要す) ○植木 (まき等) ○穀物類 ○野菜 ○田園、里山の美しい環境 ○飯高檀林をはじめとする寺、神社等 ○飯高檀林をはじめとする寺、神社等 ○前木 西瑳地区 女性 海 ○ 前木 ○ 市本	60 歳代	須賀地区	男性	植木
60歳代 須賀地区 女性 いです。	60 歳代	須賀地区	男性	
60歳代 須賀地区 女性 ○歴史のある寺や神社など(飯高神社等) ○植木 ○九十九里の海岸(管理保全を要す) 60歳代 匝瑳地区 男性 ○個木 (まき等) ○穀物類 ○野菜 ○田園、里山の美しい環境 ○飯高檀林をはじめとする寺、神社等 ○植木 ○九十九里浜	60 歳代	須賀地区	女性	_ , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
60歳代 匝瑳地区 男性 ○田園、里山の美しい環境 ○飯高檀林をはじめとする寺、神社等 ○植木 ○九十九里浜 60歳代 匝瑳地区 女性 海 ○海 ○植木 ○寺 60歳代 豊和地区 女性 ○自然の豊かさ ○地産地消の野菜 60歳代 吉田地区 男性 ○里山 ○海岸 ○寺 (飯高) ○植木のまち "匝瑳市" 市の花チューリップを他の市にも宣伝してアピールすること。 ○九十九里浜と川をきれいにして、サーフィンが出来るようにして、サケが戻るようにする。	60 歳代	須賀地区	女性	○植木
60 歳代 匝瑳地区 男性 ○飯高檀林をはじめとする寺、神社等 ○植木 ○九十九里浜 60 歳代 匝瑳地区 女性 海 60 歳代 匝瑳地区 女性 ○海 ○植木 ○寺 60 歳代 豊和地区 女性 ○自然の豊かさ ○地産地消の野菜 60 歳代 吉田地区 男性 ○里山 ○海岸 ○寺 (飯高) ○植木のまち "匝瑳市"市の花チューリップを他の市にも宣伝してアピールすること。 ○九十九里浜と川をきれいにして、サーフィンが出来るようにして、サケが戻るようにする。	60 歳代	匝瑳地区	男性	○植木(まき等) ○穀物類 ○野菜
60歳代 匝瑳地区 女性 海 60歳代 匝瑳地区 女性 ○海 ○植木 ○寺 60歳代 豊和地区 女性 ○自然の豊かさ ○地産地消の野菜 60歳代 吉田地区 男性 ○里山 ○海岸 ○寺 (飯高) 60歳代 吉田地区 女性 ○世山 ○海岸 ○寺 (飯高) ○植木のまち"匝瑳市"市の花チューリップを他の市にも宣伝してアピールすること。 ○九十九里浜と川をきれいにして、サーフィンが出来るようにして、サケが戻るようにする。	60 歳代	匝瑳地区	男性	○飯高檀林をはじめとする寺、神社等 ○植木
60 歳代 豊和地区 女性 ○自然の豊かさ ○地産地消の野菜 60 歳代 吉田地区 男性 ○里山 ○海岸 ○寺 (飯高) ○植木のまち"匝瑳市"市の花チューリップを他の市にも宣伝してアピールすること。 ○九十九里浜と川をきれいにして、サーフィンが出来るようにして、サケが戻るようにする。	60 歳代	匝瑳地区	女性	
60 歳代 吉田地区 男性 ○里山 ○海岸 ○寺(飯高)	60 歳代	匝瑳地区	女性	○海 ○植木 ○寺
60 歳代 吉田地区 女性 ○植木のまち"匝瑳市"市の花チューリップを他の市にも宣伝してアピールすること。 ○九十九里浜と川をきれいにして、サーフィンが出来るようにして、サケが戻るようにする。	60 歳代	豊和地区	女性	○自然の豊かさ ○地産地消の野菜
60 歳代 吉田地区 女性 してアピールすること。 ○九十九里浜と川をきれいにして、サーフィンが出来るようにして、サケが戻るようにする。	60 歳代	吉田地区	男性	○里山 ○海岸 ○寺 (飯高)
	60 歳代	吉田地区	女性	してアピールすること。 ○九十九里浜と川をきれいにして、サーフィンが出来るように
	60 歳代	吉田地区	女性	

年齢	居住地区	性別	問 18 市の観光資源となりうるもの
60 歳代	飯高地区	男性	○植木 ○飯高檀林
			○飯高檀林
60 歳代	飯高地区	男性	○飯高神社、それをとりまく森林
			○安久山の大椎
60 歳代	共興地区	男性	○野栄太鼓 ○飯高寺
60 歳代	平和地区	男性	大規模な海岸線の遊戯施設と派手なイベント開催への志向。
60 歳代	平和地区	男性	○歴史や文化をもっと PR すること ○海を活用すること(蛤など PR)
60 歳代	平和地区	女性	四季の美しさをアピールできたらいいと思う。 春:植木等樹木の新緑 夏:お祭り
			秋~冬:静かな海
60 歳代	平和地区	女性	○植木と地元産物の店(ふるさと市場、ふれあいパーク) ○祭り
60 歳代	平和地区	ĺ	吉崎浜
60 歳代	椿海地区	男性	大型の公園で自然を楽しんだり、プラネタリウム等の設置をし
			て、レクリエーション観光目的にしてほしいです。
60 歳代	椿海地区	男性	海岸の整備
60 歳代	椿海地区	男性	○海岸 ○祭り
60 歳代	椿海地区	男性	野菜や植木
60 歳代	椿海地区	女性	匝瑳市に観光資源となるものがあるとは思えません。
60 歳代	椿海地区	女性	○歴史○海
60 歳代	椿海地区	_	○海岸線の美しさ。白浜青松の地の復興。松喰虫を撲滅して枯木を撤去、海岸に黒松の植栽。○八重垣神社の祇園祭
60 歳代	椿海地区	_	海
60 歳代	野田地区	男性	有名な九十九里海岸線と思います。海岸を活用した観光施設の 整備・開発。 (他の地域に無いものが最高の資源と思います)
60 歳代	野田地区	男性	温泉を掘りましょう。
60 歳代	野田地区	男性	美しい海岸線を守る。防風林の荒廃が目立つ。(ゴミの不法投
co + //\		田山	棄、松虫、下草の手入れなど)
60 歳代	野田地区	男性	海 植木、草花、ハーブなど特産のものを集めた公園(中途半端は
60 歳代	野田地区	女性	他不、草化、ハーノなど特性のものを集めた公園(中述手端はいらない)。全国、いや、世界に誇れるくらいのものがほしい。
60 歳代	野田地区	女性	はまぐり
60 歳代	野田地区	女性	九十九里海岸
60 歳代	野田地区	_	海岸近くの観光農園
60 歳代	野田地区	-	○農業体験を通しての人とのつながり ○里山ウォーキング ○畑を開放して農業に開味を持っている人に貸す
60 歳代	栄地区	女性	○畑を開放して農業に興味を持っている人に貸す。○海から山までをトータルし、その間に地元食材を使ったグルメ店を入れたツアー (海岸でしかできないもの)○山 (天神山、飯高壇林等)○花ツアー (桜・まき・ツツジ・ふじ・もみじ等、組み合わせたツアー。食事はふれあいパークで)
60 歳代	栄地区	女性	海水浴ができる海
60 歳代	栄地区	女性	海辺を少し整備して家族で遊べるような海辺の公園を作ってほ しいです。

年齢	居住地区	性別	問 18 市の観光資源となりうるもの
			○地元のブランド米の PR
CO 15/15			○点在している社(寺)等のお知らせ(仏像)
60 歳代	_	女性	○蓮田(蓮根と花)
			○ごぼう (太)
70 歳以上	中央地区	男性	祭
70 歳以上	中央地区	男性	○植木 ○野菜
70 歳以上	中央地区	男性	木々を生かした自然の観光地作りをしては。緑地を生かして花などを植え、四季を楽しませる整備を行う。
70 歳以上	中央地区	男性	○天神山から宮本〜飯高植林までの遊歩道○飯高小学校跡地
70 歳以上	中央地区	男性	夏祭り
			固くなってしまった頭でいろいろ考えてみましたが、やはり野
70 歳以上	中央地区	女性	菜作りを中心に田舎の良いところを体験できる企画をしたり、
			植木に関することをやって行ったらと思います。
70 歳以上	中央地区	女性	将来、天神山の桜
70 歳以上	中央地区	_	○飯高寺講堂他文化財の PR。
	十大地区		○八重垣神社祭礼の PR を県外に発信してほしい。
70 歳以上	豊栄地区	男性	各種イベントを充実させる。
70 歳以上	豊栄地区	女性	お祭り等もっと宣伝を他町村へ働きかける。(まだまだあまり
			良く知られていません)
70 歳以上	豊栄地区	女性	○祭り ○植木
70 歳以上	須賀地区	女性	農産物・植木等
70 歳以上	須賀地区	女性	道の駅(フラワーパーク)、祭りなど。
70 歳以上	須賀地区	女性	○ふれあいパーク ○お祭り(祇園祭り) ○植木
70 歳以上	匝瑳地区	男性	地域の祭り等、伝統文化の継承促進。
			匝瑳市に来られた方々は、観光というと飯高寺、松山庭園美術 韓しこれました。カラーを送ばられています。 みつですと バス
70 歳以上	豊和地区		館とふれあいパーク三点が挙げられています。それですらバス も入れない道路と竹や藤づる等が垂れ下がっていて困りもの、
70 成以上	豆和地区	_	も人れない道路と竹や膝づる寺が垂れ下がつくいく困りもの、 恥ずかしいです。又、野手浜なども危険区域。子ども達の遊べ
			おりがしいです。文、野子供なるも危険区域。 するも建り遅く る区域をはっきりさせて下さると、喜ばれると思います。
70 歳以上	豊和地区	_	定年後の住居ですので、市の詳細は理解していません。
70 歳以上	吉田地区	男性	もっと里山と海をアピールして市の観光資源にしてほしい。
10 ///2012	пни	70111	○緑の山林
			○田園風景
			○寺社・旧跡(かなりあるのでは)
			○植木展示場(四季折々の花木や良い植木が見られ、植木を知
			り、植えてみたい夢がふくらみ、人を呼ぶような展示場。植木
70 歳以上	吉田地区	男性	の町にふさわしい場所)
			○ふれあいパーク(人を呼ぶために、もうひと工夫)
			○海岸・砂花(これはもう無理か)
			○行って気持ちが良くなるような整備やパンフレット等による
			PR とともに、外部からの問い合わせに応える部署も必要になる
			か。
70 歳以上	吉田地区	女性	観光ルートの設置
70 歳以上	吉田地区	-	歴史伝統と文化
70 歳以上	共興地区	男性	○海 ○海岸 ○植木
70 歳以上	共興地区	男性	花木や草花を植栽等。
70 歳以上	共興地区	男性	ピーナッツのおせんべい

年齢	居住地区	性別	 問 18 市の観光資源となりうるもの
I MI	, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	12777	
			八日市場は日本でも植木では名前が売れていますので、それに 一層力を入れて行くべきだと思う。今ひとつは、望洋荘の前の
70 歳以上	共興地区	女性	海辺にもう少し力を入れて修理すればと思います。30年位前は、
70	六兴地区	女压	海の家が10軒もあって大賑わいでした。昔は小唄勝太郎さんも
			来て我家の写真に写っておりました。
			○海岸近くにプールなど造る。
70 歳以上	共興地区	女性	○野外施設などの設備を一層充実させ、食堂(特に食品加工の
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	////·um)\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	味付け)をプロ級に。
			先日、コミュニティバス利用、皆さん遅れの紅葉で浮き立って
To IBDL I	II rea into Ex		いるこの季節に、きれいに手入れされた(植木園)イヌマキ中
70 歳以上	共興地区	_	心の常緑樹の中にサザンカの花が咲いていました。外の場所で
			は見られない光景に感激しました。
70 歳以上	平和地区	男性	温暖な環境を生かした全国的な産業開発等を支援・設置する。
			飯高寺をはじめとした文化財の見学は、自由に拝観ができるよ
70 歳以上	平和地区	男性	うにしてほしい。特に市指定文化財の見学が不可能に近いのは
			残念です。
70 歳以上	平和地区	男性	植木産業
70 歳以上	平和地区	男性	朝市の品物をもっと増やして、週2日位にやってほしい。コミ
	一个担地区	刀II	ュニケーションをとること。
70 歳以上	平和地区	女性	植木
70 歳以上	平和地区	女性	若い人達が進んで買物ができる店を作る。
70 歳以上	平和地区	女性	海岸の美化、海水浴場などの整備。
70 歳以上	椿海地区	男性	海岸
70 歳以上	椿海地区	-	商店街を発展させていくと良いと思います。特産品を多く作る。
70 歳以上	椿海地区	_	中央の商店街の活性化をお願いしたい。シャッター通りで淋し
10/1/2011	101時公司下之		いです。
			○美しい九十九里浜の整備と交通条件の向上。
70 歳以上	野田地区	男性	○匝瑳市の植木を(犬槙を中心に)日本一の植木の市として一
	mer ver 1-7 : -	1 10	層の維持・発展を目指す。
70 歳以上	野田地区	女性	植木
70 歳以上	野田地区	女性	○植木○野菜
70 歳以上	野田地区	女性	植木・花・豚肉・鶏肉・卵・野菜各種
70 歳以上	野田地区	女性	○海水浴場 ○農業体験
70 歳以上	野田地区	_	○都会の人に農地を貸す。
			○夏だけではあるが、地引網漁を観光客に引かせる。
70 歳以上	野田地区	- 	現在は観光資源となるものはないと思う。
70 歳以上	栄地区	女性	海(海上水月五十)
70 15 D1 1) 사내 (년 	h4-	○海水浴(海岸を見直す)
70 歳以上	栄地区	女性	○神社、仏閣で歴史的価値のあるものを見直してよいものを探 +
70 歳以上	お言い	-fhH-	す。 植木
10 放以上	栄地区野田地区	女性 男性	海岸線の自然
	野田地区	力性	
			○室存在を中心とした海水俗場の整備、室存在の整備と特座的 の販売と加工農水産物の展示・販売館を増設する。つまり野手
-	-	_	の
			供の再開発を有すし、東京にアンアアショックを開設する。 ○吉崎浜に「釣り施設」を新設する。黒ダイ等。
_	_	_	し古崎供に「到り施設」を制設する。 無クイ等。 檀林ぐらいしかないと思う。
			1旦//トト りゃ・レルベよゃ・こ 心 丿。

年齢	居住地区	性別	問 19 観光振興への重要な取組み
10·20 歳代	豊栄地区	男性	匝瑳・飯高地区の里山?
10・20 歳代	匝瑳地区	女性	八日市場なのだから祭り! アピールの仕方でもっと賑わうと 思います! でも祭りだけだと淋しいので、せっかくのどかな 街。都心だとできない八日市場で作られた野菜や肉を使い、年 に1回、山形の芋煮でないが「うわぁ」と皆が食らい付きそう なものを考えるべきだと思う。
10・20 歳代	栄地区	_	素晴らしい海があって海水浴ができないのは、匝瑳市だけである。 どうにかしようよ、海を。
10・20 歳代	-	女性	新しい場所をつくっても来ないと思う。町が死んでいる。
30 歳代	豊栄地区	男性	外国人観光客の誘致
30 歳代	須賀地区	男性	土地を活かす。
40 歳代	中央地区	女性	海に近いこともあるので、海岸線をもう少し明るいイメージに 持っていき、海水浴やサーフィンの人達等にもっと受け入れら れやすいようにする。
40 歳代	中央地区	女性	インターネットから発信
40 歳代	中央地区	-	○望洋荘(室内プール)をリニューアル ○バス(高速)復活
40 歳代	豊栄地区	男性	田園リゾートとして、大都市などからリピーターを増やす。
50 歳代	中央地区	女性	体験型農業
50 歳代	吉田地区	男性	現在あるもののリンクと有効活用。例:天神山公園の四季をつくり、PR するなど。
50 歳代	平和地区	男性	振興に税金を使うことはない。
60 歳代	豊栄地区	女性	財政が厳しい時には、お金をかけないでできることがあると思います。
60 歳代	平和地区	男性	蛤などを PR する。
60 歳代	椿海地区	_	海岸線に黒松を植える。
70 歳以上	吉田地区	女性	規制緩和
70 歳以上	平和地区	男性	環状道路、鉄道(茨城県との)の開発。
70 歳以上	平和地区	男性	電車で来られた人に対し、バスがなく不親切。

年齢	居住地区	性別	問 21 雇用対策に重要なこと
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	雇用形態が契約社員というものがほとんどだから、正社員登用
10 20 版文 []	世先地区	カエ	にしてほしい。
			市で産業施設などを建てて、若い人の働く場所を作ったらどう
10・20 歳代	平和地区	女性	ですか? 温泉を掘って、温泉施設を造るとか、温泉付きの老
			健施設を造るとか。
10・20 歳代	栄地区	_	工業団地をどうにかしようよ、働けるよう。
30 歳代	野田地区	男性	観光業の発展で雇用を増やしていければ良い。
30 歳代	野田地区	男性	自分も平穏無事とかの静かな生活・暮らしがいい。
40 歳代	中央地区	女性	福利厚生がしっかりある雇用体制にしてほしい。
40 歳代	共興地区	男性	行政が中心となり、起業を行い雇用を促す。
F0 光化	###E	田址	民間企業の雇用が厳しい時だからこそ、公務員の採用を増やす。
50 歳代	中央地区	男性	当然適正な定員管理は必要。(早期退職等)
50 华化	50 歳代 中央地区	hH-	シルバー人材に求職の紹介は、本職の仕事を馬鹿にしていると
50 成1		女性	思います。
50 歳代	豊栄地区	男性	シルバー人材制度の拡充等、高齢者雇用対策

年齢	居住地区	性別	問 21 雇用対策に重要なこと
50 歳代	吉田地区	男性	問7-5のように箱物ではなく職場をつくることにお金を使 う。
70 歳以上	野田地区	女性	まだ働ける多くの高齢者に職場を!
70 歳以上	栄地区	女性	工業団地を見直す。

年齢	居住地区	性別	問 23 住みやすい住環境とは
10・20 歳代	野田地区	男性	税金、保険料減税する。
30 歳代	須賀地区	女性	医療の格差をなくす。旭市におんぶに抱っこ状態を解消して自立すべき。その他、子育て支援でチャイルドシートの購入助成やワクチン接種の助成(すべてのワクチン)。
40 歳代	須賀地区	女性	医療体制の充実
40 歳代	共興地区	女性	排水溝の整備・管理
40 歳代	共興地区	女性	高齢者になっても安易に外出が出来る交通方法の整備。
40 歳代	平和地区	男性	家畜による悪臭をなくすこと。
40 歳代	平和地区	女性	地域住民の連携がとれている環境。
40 歳代	椿海地区	女性	老人が安心して暮らせる町
50 歳代	中央地区	男性	バスは不要
50 歳代	匝瑳地区	男性	救急医療がダメ
50 歳代	豊和地区	女性	使われなくなった田畑の有効利用。
50 歳代	吉田地区	男性	市街地と外地区への格差(道路整備等)があるので平等に。
60 歳代	平和地区	男性	ゴミが捨てられない街づくりを?
70 歳以上	中央地区	男性	鉄道の利便性の向上、増便。
70 歳以上	共興地区	男性	災害が少ない

年齢	居住地区	性別	問 25 安全なまちづくりへの重要な取組み
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	消防活動してますが、後継者がいない。
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	警察の犯罪撲滅月間と位置づけ、市長がおまわりの監視をする。 警察が犯罪をしていると安全が維持できないため、犯罪者に対 して警察は、生意気な言葉遣いをさせてはならない。
30 歳代	豊栄地区	男性	健康面
30 歳代	須賀地区	男性	警察のみ頑張る
30 歳代	野田地区	男性	静かな生活・暮らしの手助けとすれば、5の関係機関は元々の 役割に戻っても安心。
30 歳代	野田地区	女性	子供の登下校の際の大人の目。
30 歳代	栄地区	男性	海水の浸食をどうにかしてほしい。
40 歳代	中央地区	-	罹災者の保護・自立支援
40 歳代	共興地区	女性	防犯灯の整備・空家屋の点検・事故多発道路の拡幅
50 歳代	中央地区	男性	防犯パトロールカーを巡回させる。
70 歳以上	中央地区	男性	大雨時に家屋への浸水地帯(駅前・田町など)の防水対策を徹底すること。

年齢	居住地区	性別	問 26-1 最も不便なこと
10・20 歳代	豊栄地区	女性	家の近くにお店がないので、「毎日」遠くまで買物へ行かなく てはならない。
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	電車の本数が少ない。
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	歩道が少ない
10・20 歳代	匝瑳地区	女性	家の近くのバス停がなくなってしまい、非常に困っている。
30 歳代	野田地区	男性	設備が遅れている。
30 歳代	栄地区	女性	千葉、東京には車で便利だが、市内に行くほうが不便。
40 歳代	中央地区	女性	一定の場所への駐車スペースがない。 (病院など)
40 歳代	共興地区	女性	近所に何でも揃う商店がない。
40 歳代	野田地区	女性	駅の近くに、その日利用できるような駐車場がない。
60 歳代	中央地区	_	踏切で待つ時間が長い。
60 歳代	共興地区	男性	現在車を利用、近い将来免許証返納後。
60 歳代	平和地区	女性	歩道を区別しないと子供達が危険です。
60 歳代	椿海地区	男性	市内の巡回バスを多く (小さいバスでも)
60 歳代	栄地区	女性	車がないと買物や電車に乗れない。
60 歳代	栄地区	女性	駅まで自分の車で行っても、車を置く所がない。
70 歳以上	匝瑳地区	女性	あまり不便を感じない。
70 歳以上	豊和地区	-	市への財政負担になるので改善は無理。
70 歳以上	吉田地区	男性	自家用車を運転しないでは、食料品・日用品の購入が困難。(特 に高齢者)
70 歳以上	共興地区	男性	道路が狭い
70 歳以上	共興地区	女性	バスも通っていないし、家に用事で来る人もまともには来られ ない。
70 歳以上	椿海地区	女性	スーパーなどの買物が車でないと不便。

年齢	居住地区	性別	問 27-1 インターネットの利用について
30 歳代	豊栄地区	男性	通信速度が遅い
30 歳代	須賀地区	女性	光、ADSL なしでモバイルのみなのが不便。
30 歳代	吉田地区	男性	インターネット回線が届いていない。
30 歳代	栄地区	男性	ADSL では不満があるので、光を使いたい。
40 歳代	中央地区	_	情報が雑多な割には生活はあまり変わらない。
50 歳代	須賀地区	男性	パソコンがない。
50 歳代	吉田地区	男性	インターネットがよく繋がらないため。
70 歳以上	匝瑳地区	女性	使用しないので便利さが分からない。孫は良く使っています。
70 歳以上	豊和地区	_	高度なサイバーor ウイルス等不安。
70 歳以上	平和地区	男性	インターネットは利用しない。
70 歳以上	平和地区	_	まだインターネットを利用する必要を感じていない。

年齢	居住地区	性別	問 29 市の自然環境保全への取組み
30 歳代	中央地区	女性	迷惑行為の根絶(ごみ燃やしなど)
30 歳代	須賀地区	女性	松山の処分場の焼却炉、安全と言い切れるのか。
30 歳代	須賀地区	女性	荒れた里山、耕作放棄地を整備してほしい。
30 歳代	共興地区	女性	ゴミ拾い等の実施など、意識の向上となるきっかけの提供。
40 歳代	豊栄地区	女性	一般の人の野焼き、ゴミ燃やしをしないよう注意する。(基本 だけど、かなり燃やしている)

年齢	居住地区	性別	問 29 市の自然環境保全への取組み
40 歳代	飯高地区	男性	特に北部地域の整備が必要。
40 歳代	共興地区	女性	堆肥利用の効率化・農業廃棄物の処理の大規模化
50 歳代	中央地区	女性	あちこちに粗大ゴミが多い。注意してほしい。災害時危ない。
50 歳代	中央地区	女性	ゴミ処理の個人負担が多く、分別が他地域より大変。
50 歳代	平和地区	男性	土・日・祝日の産廃(植木)の焼却を止めさせる。
60 歳代	須賀地区	女性	役所の方が先頭に立ち、個人個人にゴミや環境破壊などに意識 をもってもらう。
60 歳代	共興地区	男性	高齢者等(生活保護者)等に空き缶を集めてもらい、それを市が引き取る(買い取る)。若年層の生活保護者には特に。(街もきれいになる)
70 歳以上	豊和地区	-	水道給水の配管を望む、飛地4軒。

年齢	居住地区	性別	問32 小・中学校運営に重要な取組み
10・20 歳代	中央地区	男性	読書をすること。
10・20 歳代	匝瑳地区	女性	しつけ、道徳教育の強化。
10・20 歳代	栄地区	女性	子供同士の関係づくりや、いじめ対策にもっと取り組んでほしい。
10·20 歳代	栄地区	女性	人と人との関わり方
10・20 歳代	栄地区	女性	子供達の思考力の強化を図る。
30 歳代	中央地区	男性	家庭が過保護な状況であるため、学校側も過保護に感じられる。 もう少し考え方を昔に戻してみても良いのでは。
30 歳代	中央地区	女性	塾に勝る(必要としない)教育
30 歳代	豊栄地区	男性	良識のある教育者を教諭にする。
30 歳代	吉田地区	男性	スポーツへの取組みも。
30 歳代	椿海地区	男性	設備をもっと整えてほしい。
30 歳代	野田地区	女性	人への思いやりを教える。
30 歳代	栄地区	男性	先生が弱すぎる。昔のように厳しく指導してほしい。
40 歳代	中央地区	女性	先生方と保護者とのコミュニケーションが大事。
40 歳代	中央地区	_	低学年時に家庭・学校共「徳育」を重視する。
40 歳代	豊栄地区	男性	若い先生の採用
40 歳代	共興地区	男性	ドームなどを無料化とする(もどす)
40 歳代	共興地区	女性	職業訓練・ボランティアに地域の農業、水産業を。
50 歳代	豊栄地区	男性	モンスター・ペアレントに対し行政が助ける。
50 歳代	豊栄地区	女性	モンスター・ペアレンツをおさえる。
50 歳代	吉田地区	男性	考えつけさせる教育(すぐ教えない)
50 歳代	平和地区	男性	サラリーマン先生が多い。
50 歳代	平和地区	女性	土曜日を半日授業にしてほしい。
60 歳代	中央地区	男性	礼儀、言葉遣い等、道徳心を養うこと。
60 歳代	匝瑳地区	女性	道徳心に力を入れてもらいたい。
60 歳代	共興地区	男性	老人教室を一室設ける。子供と老人の接点が出来て、社会教育となる。
70 歳以上	野田地区	-	子供がいないので学校の様子はわかりません。

年齢	居住地区	性別	問 34 人権問題に重要な取組み
50 歳代	中央地区	男性	友達の友達は友達であること。

年齢	居住地区	性別	問 36 生涯学習・スポーツ、文化活動への重要な取組み
10・20 歳代	平和地区	女性	PR
10・20 歳代	栄地区	女性	このような取り組みを知らない人にも知ってもらえる・参加しやすいようにする。
40 歳代	中央地区	女性	大人よりも子供達にやらせてあげたい。
40 歳代	中央地区	_	興味を持てるものはない。
40 歳代	共興地区	女性	市の歴史や文化人、芸術家の PR 活動
50 歳代	中央地区	男性	各コミュニティーの中でのスポーツ、サークル活動により、健 康増進へと発展させる。
50 歳代	平和地区	女性	働いている人でも参加できるような時間を設定する。
60 歳代	平和地区	男性	体不自由のために参加しづらい。
70 歳以上	豊和地区	_	余生、高齢者、意欲に乏しい。

年齢	居住地区	性別	問 44 新しいまちづくりに重要な取組み
10・20 歳代	椿海地区	男性	市民の意識向上を図ることが大切だと思う。
10・20 歳代	栄地区	-	アンケートのみだけでなく、計画作りに市民も参加させるべきである。
30 歳代	共興地区	男性	詳細情報の開示(市民に対して)
30 歳代	栄地区	男性	市長に直接意見したい。
40 歳代	中央地区	女性	子供を中心とした町づくりをしないと伸びない。
40 歳代	中央地区	_	市民と行政が力を合わせていないので、答えられません!
40 歳代	共興地区	男性	市のブランドを確立する。 (県内外に対して)
40 歳代	共興地区	女性	子供が自分の地域に関心をもてるよう、イベント等を増やして ほしい。
70 歳以上	豊和地区	_	異業種の交流

年齢	居住地区	性別	問 45 行財政改革に重要な取組み
10・20 歳代	栄地区	女性	職員が多すぎる、他知識が足りないため資格制にする。職員の
10 20 // (水池区	グ圧	飲み会が多すぎるため配慮希望。
30 歳代	中央地区	女性	市役所の給料変わらず土・日運営。
20 朱仏	电光地区		活性化しなくてはいけない。何十年も変わっていない。税金に
30 歳代	豊栄地区	_	不満。市民税が高い。
30 歳代	栄地区	女性	1の事業で支所までなくされては困ります。
30 歳代	-	女性	市議会議員の人数が多いと思う。半分でよい、給料カット。
40 歳代	中央地区	_	市債返却のための税収を含めた長期ビジョン。
		H 144	「落花せんべい」も良いのですが、これに勝るような新しいお
40 歳代	北部地区		土産が欲しいです。持って行って喜ばれ、それを食べながら匝
40 成八	共興地区	男性	瑳市が話題となるようなお土産があればと思います。知名度が
			上がることによる活性化もあるのではないでしょうか。
50 歳代	中央地区	男性	広い意味でサービスの向上を図る。(手間・スピード・料金)
50 歳代	中央地区	女性	消費者行政の充実を!

年齢	居住地区	性別	問 45 行財政改革に重要な取組み
60 歳代	飯高地区	男性	⑤に付随して、言葉遣い、態度等、銀行員を見習うこと。
			電車で出かける時、駅付近にパーキングがないので不便です。
60 歳代	飯高地区	女性	コインパーキングを作ってほしい。南口のロータリーはほとん
00 成八	以同地区	女性	ど使用していないのではないですか。有効利用を考えてみては
			いかがでしょうか。
	共興地区	_	市民が行政改革内容を知っているかが一番問題であるから、具
60 歳代			体的な内容を、より分かりやすく提示し、賛否をとり、それか
			ら推し進めることも必要ではないでしょうか。
60 歳代	平和地区	_	市会議員の給与を少なくする。
70 歳以上	中央地区	女性	人員が多すぎる。対面態度が良くない。
70 歳以上	豊和地区	男性	市民に何ができなくて、何を我慢してもらうか、という情報を、
			逃げずに嫌がらずに語りかけ、分からせていくこと。
70 歳以上	豊和地区	_	税収増加策が市民の負担にならないよう。

年齢	居住地区	性別	問 46 不都合を感じたこと
10・20 歳代	豊栄地区	女性	窓口の対応が悪かった。
10・20 歳代	須賀地区	男性	社会保険庁に行って手続きをしたが、細かな点が違っていて、 一日で手続きが終わらなかった。市役所の窓口と社会保険庁の 連携を。
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	土曜日も手続きできるようにしてほしい。
10・20 歳代	栄地区	女性	出産の手続きで野栄総合支所に行ったが、職員さんで手続きの 仕方がわかる人がいなく、1時間以上待ち、匝瑳市役所の人が 来て手続きをしてもらった。もっと職員の能力の向上に目を向 けてほしい。
30 歳代	中央地区	男性	担当者によっては対応、態度が悪い人がいた。
30 歳代	中央地区	男性	人によって言ってることが変わるのが困る。(役所の人間の)
30 歳代	中央地区	女性	無愛想
30 歳代	中央地区	女性	知識をもたなすぎで、担当1人が休みだと、その人が出てくるまで事が進まなかった。
30 歳代	須賀地区	女性	確定申告の時、間違ったことを言われた。後から税務署に問い合わせ、間違いだと分かったので連絡し、再度足を運んだ。担当者は全て理解しているものと思っていたので、教育不足にがっかりした。
30 歳代	共興地区	男性	書類(婚姻届)記入の質問に対して、"記入用紙に説明書がある"と対応された。当時移転した直後で不安を感じた。役所担当の対応が悪かった。
30 歳代	野田地区	女性	窓口に立って待っていても、誰も応対に来ない。普通の会社で あれば、すぐ応対してくれます。
30 歳代	栄地区	男性	土日祝でも窓口を開いて対応してほしい。
30 歳代	栄地区	女性	対応が遅い
40 歳代	中央地区	男性	職員の態度が非常に悪い。
40 歳代	中央地区	女性	昼時に市役所に行ったときに、ちらっとこちらを見て知らない振りをしていたり、面倒臭そうな態度をとられたことがある。 市役所は会社ではないので、お客様に対する応対等の指導や教育は必要ないのかもしれないがあまり感じの良いものではなかった。
40 歳代	中央地区	女性	時々横柄な態度をとられる時がある。

年齢	居住地区	性別	問 46 不都合を感じたこと
			税金の戻りがあると、市より連絡があって伺ったところ、事務
40 歳代	中央地区	女性	の方の間違いで時間を無駄に過ごしてしまった。忙しい中に手
			続きに行ったのに…! とても不愉快でした。
40 歳代	豊栄地区	男性	必要書類3通と言われ、他の役所に取りに行き、もう1通必要
10 // (显水地区		になり、もう一度他の役所に行き、2度手間になった。
40 歳代	豊栄地区	男性	週に一日でも窓口を遅い時間帯まで対応する。
40 歳代	須賀地区	女性	説明が分かりにくかった。
40 歳代	匝瑳地区	男性	対応悪い。
40 歳代	豊和地区	女性	時間外に書類をもらえないか。横芝・光町のようにサビア店内 に仮の役所を作るなどしてほしい。
40 歳代	共興地区	女性	野栄支所でプライバシーに配慮のない手続きをされている人を 見た。
40 歳代	野田地区	女性	声をかけづらい雰囲気と、手続きの用紙を書いて出すことのイ
せい 別次 人	万山地区	グエ	ヤ〜な教え方。 (何も知らないほうが悪いのかも)
40 歳代	野田地区	女性	納税の領収書を失くし、2回納税させられた。パソコンの入力
10 /// \	为中心区	グ圧	も日付ミスで市の役員の感じが悪い。
40 歳代	栄地区	女性	同じ課の人が何人もいるのに、担当じゃないとやってくれず(分
- "JAI V	/ Y Y Y Y Y Y Y Y Y	ハ山	からないらしくて)30分くらい待たされた!
			統廃合により、野栄支所では手続きできないことがあり、祖父
40 歳代	栄地区	女性	母などは市役所まで行かなければならないから面倒だと話
"JVI V	小地区	~ \ 1 <u>1</u> 1	しています。便利になるはずが、これでは暮らしにくくなるば
			かりです。
50 歳代	豊栄地区	男性	市民の立場に立った応対がなされておらず、仕事に熱意がみら
			れない。(市民課窓口)
50 歳代	豊栄地区	女性	土・日・祝は休み、開いている時間。
50 歳代	豊栄地区	女性	電話で「運が悪かったと言っておけ」という声が聞こえた。
50 歳代	豊和地区	女性	土地交換の時、測量の費用とか、高すぎるからもっと相場とか 相談に乗ってほしい。
50 歳代	吉田地区	男性	現在の福祉担当者の対応に疑問を感ずる。窓口にも役人気質を 出しているのでは?
50 歳代	平和地区	女性	土・日曜日にもやってほしい。
50 歳代	栄地区	男性	土・日曜、時間外の手続きができない。
60 歳代	中央地区	男性	その場で的確な指示があった。待ち遠しいこともあったが。
60 歳代	中央地区	男性	地元議員や委員を通じてと言われる。
60 歳代	中央地区	男性	職員の職責の向上を図ってもらいたい。
60 歳代	豊和地区	男性	道路など排水溝がなく、車の通りなど危ない。道路を広げ、明 るくしてほしい。
60 歳代	飯高地区	男性	○問 45 で答えたが、態度がきつかった。 ○とても不愉快に感じた。
60 歳代	飯高地区	女性	1つのことの手続きで、1回で用が足りずに、2、3回通った。 その都度説明が異なった。2、3人の職員。
60 歳代	平和地区	男性	書類に対しての説明不足
60 歳代	栄地区	女性	割合、ていねいに対応してくれていると思う。
70 歳以上	中央地区	女性	土・日や夜間に手続きができない。
70 歳以上	須賀地区	男性	個人情報~ということで教えて頂くことができなかった。
70 歳以上	吉田地区	女性	建設課が×
70 歳以上	平和地区	女性	職員の笑顔が少ない。
_	_	-	市職員の公僕としての意識の向上必要。

,	_ ,		
年齢	居住地区	性別	問 48 まちづくりに関する自由意見
10・20 歳代	中央地区	男性	毎年行われる農業祭りの活気が薄れていると感じます。他の地域に比べ、無料配布が多く、販売によっての盛り上がりが感じられない。そのため通常より安く買うなどを狙ってくる人などより、無料配布のために来る人が多い。訪れる人の目的に差があるため、一度リセットを兼ねてやめてみてはどうですか?
10・20 歳代	中央地区	男性	使用していない土地があれば、有名なお店をつくってほしい。 旭などはご飯屋ができたり服屋や靴屋などがあり、活気がある と感じる。匝瑳市も活気がある町になってほしい。
10・20 歳代	中央地区	男性	前頁の「まちづくりの評価」の欄は、私はもちろん、他の大人 の方でも正しく評価できるのか疑問に感じました。表のところ の「海、みどり、ひとがはぐくむ活力あるまち」ありますが、 それを見たとき私はどんな街になるのか全く想像できませんで した。もう少し具体的な目標を掲げてもいいのではないかなと 感じました。どうも追求されたときの逃げ道があるように感じ てしまいます。これもまた一高校生の意見として受け止めてく れると幸いです。市の繁栄を願っています。
10・20 歳代	中央地区	女性	 ○ジム的な施設があるといい。 ○商店街の路駐をやめさせてほしい。塾の迎えとか。 ○子どもの遊び場が少ない。 ○何もなくて都会の友達を呼んでも案内できない。 ○夜、歩きたいけど暗くて怖い。 ○前に住んでいた町よりも匝瑳市はすごく住みやすいので、特別不満はないのです。お仕事ご苦労様です。
10・20 歳代	豊栄地区	男性	若者の交流を目的としたレクリエーション・行事の開催。
10・20 歳代	豊栄地区	女性	○他の市町村に住んでいましたが、とにかくゴミ袋が高いです。 生活に影響はでないのか心配。他の所は高くても200円程度だったのに、引っ越してきてがっかりしました。 ○近所はお年寄りが多く、スーパーも近くになくて、とても大変そうです。車がないと何も出来ないと思いました。福祉の面でも心配。 ○子どもがまだ小さいのですが、一時保育をしてもらえず、病院に行くのも大変です。預け先をつくってほしい。 ○役場に問い合わせると、いつもたらい回しになってしまう。 もっと連携をしっかりしてほしい。
10・20 歳代	豊栄地区	女性	私の地域は市内循環バスのバス停が全くなく、お年寄りの方々がとても不便だと感じています。もう一度バス停設置場所について検討をしていただきたいです。
10・20 歳代	須賀地区	男性	匝瑳市の財政は決して裕福ではないので、無駄を省く必要があると思います。「事業仕分け」、赤字であれば、そのまま継続を続けるのではなく、対策を考えるべきだと思います。いつも目に付くのは市バスですが、ほとんど乗っている人を見たことがありません。本当に必要なのでしょうか必要だとしたら、バスでなくてもワゴン車でも充分では税金の無駄だと思います。
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	生活保護のでたらめお小遣い渡しのストップ。税金はお払いしません。

年齢	居住地区	性別	問 48 まちづくりに関する自由意見
10・20 歳代	匝瑳地区	女性	最近、空き巣被害の話をよく聞きます。この前には家の近くに 不審者が出ました。お年寄りが多い地区もあり、鍵をかけない 家もたくさんあります。防犯対策の強化をしてほしいです。夫 が仕事で夜いない時は不安で電気をつけて寝ることが多いの で、安心して過ごせるよう、一人暮らしのお年寄りへの声掛け など、何かしら出来ると思うので、よろしくお願いします。
10・20 歳代	匝瑳地区	女性	もう少し祭り以外の賑やかや行事を創り出し、夏場だけでなく 他の季節でもイベントがあったら、もっと賑やかになると思う。 賑やかな街づくりを目指すならば、倒産した会社等の建物を無 くすべきだと思います。いろいろとお金のかかる問題ですが、 小さいことから少しずつ行動していけば、大きなものにつなが ると思います。
10・20 歳代	豊和地区	男性	○道路整備の強化。小・中学生が安全に通学できるよう、歩道の整備。○他市町村と連携をとり、交通機関の便利さを図って頂きたい。○国道以外の道路の整備。
10・20 歳代	豊和地区	女性	町に活気がないように思います。交通の便をもっと良くしたり、 商業施設をもっと充実させていただきたいです。又、少子化も 進み、学校としての機能もきちんとできているのか不安です。 保育施設も遅番等の利用時間が短く、働きながら子育てをして いる人にとっては不便だと思います。公立の施設なのだから、 もっと町の人のために機能しても良いのではと思います。これ からの匝瑳市の発展に期待しています。
10・20 歳代	共興地区	男性	とにかく医療の充実を図ってほしい。国民の健康として。
10・20 歳代	共興地区	女性	もう少し交通機関を増やしてほしい。例えばバス、1時間に1本では不便。利用したくても本数が少ないと乗ることもない。駅から離れている市民は(特に運転免許の無い市民)バスかタクシー、又は家族の誰かに頼るしかない。バスは安くて便利なのに本数が少ないと不便すぎる。これでは便利なのか不便なのかわからない。利用したいのに利用する機会が減ると思う。さらに乗る人も減ると思います。
10・20 歳代	平和地区	女性	 ○他の市の人に、匝瑳市に住みたいなと思わせるような市になってもらいたい。例えば、神栖は税金が安いとか…。旭だったら病院に困らないとか。横芝光だったら中学生も医療費がタダとか…。 ○子どもの予防注射で、公費負担でないものに一部負担してくれるとか。 ○市内の保育所で、休日でもどこか1つでも開園していて、予約で預かってくれるとか。
10・20 歳代	平和地区	女性	○匝瑳市は道路が狭くて怖いです。歩行者や自転車の方が運転 していてとても危ない(歩道が狭いので)。商店街も、もう少 し駐車場が広いと行きやすい気がします。 ○自然は大切に残してほしい。ゴミがたくさん落ちているのが 悲しいです。

左 #V	R/A W G	hA Dil	88 40 ナナベノリに80ナナウナギロ
年齢	居住地区	性別	問 48 まちづくりに関する自由意見
10・20 歳代	椿海地区	男性	○今のゴミ集積所に、分別通りにしたゴミを捨てても回収していかない。そのせいで、遠くの集積所まで捨てに行かなければならないので大変である。ふざけないでほしい。そうした所をちゃんとやれ。 ○バス停が廃止され、交通の便がなくなった。また路線を戻してほしい。 ○市の職員が多いように感じる。香取市の行政を調べたことがあるが、それに比べ、匝瑳はすべてがお粗末だった。分かりづらい計画、多い職員、市民のためにならない政策、そういったことばかりだった。まずは職員数を減らし、行政運営を見直すべきだと感じる。
10・20 歳代	椿海地区	女性	○住民税が高すぎる。毎日定時で帰れる公務員(市役所職員など)をもっと減らしたり給料を下げて、その財源を違う目的に使ってほしい。(一般企業より給料がいいのだから、職員一人一人がそれなりに働けということ) ○市民病院が頼りなさすぎる。結局は旭中央病院へ行くことになってしまい、時間もお金もかかる。 ○検診の実施対象拡大。年齢が若いからという理由でガン検診等が受けられない。若い人ほど進行が早いのだから、年齢は関係なく、希望者全員が検診を受けられるようにしてもらいたい。
10・20 歳代	椿海地区	女性	 ○保育所(園)や幼稚園や放課後児童クラブ等が充実してほしい。 ○障がいのある子への支援(放課後預かりサービス、相談機関、統合保育等)が充実してほしい。 ○街灯が少ないところがあるので、増やしてほしい。 ○保育や福祉系の大学等に通っている学生がボランティアに参加できるような施設、機会がほしい。 ○福祉サービスが充実してほしい。 ○地元で就職できるようにしてほしい。
10·20 歳代	椿海地区	-	八日市場と野栄町が合併して一つの市になったので、うまく栄 えてほしいと思います。 匝瑳市は緑も多いし、子育てにはとて もいいと思うので、人が離れていかないように、まずは子ども 達が伸び伸びと育つ町にしてほしいと思います。
10・20 歳代	野田地区	男性	市役所の人数や議員の数が多すぎるので、減らしてほしい。税 金が高すぎるので住みづらい所です。
10・20 歳代	野田地区	男性	住民が行政に関心を持ち、その声が生かせるように対応できる 意志の表れを形にしてください。「まちづくり」誰がして いるのでしょう。成果を点検してください。計画だけでは紙に 書いた餅です。
10・20 歳代	栄地区	男性	高齢化社会に向かっているので、健康・生きがいづくりの推進 に期待します。
10・20 歳代	栄地区	女性	○大きな公園がきちんと整備されている、図書館(絵本など)が充実している点から、子育てがしやすい環境だと思う。病院は小児科が少なく、いつも混んでいる印象なので、それを改善してほしい。病院の待合室で長い時間待っていると、他の病気に感染(インフルエンザなど)してしまうことがある。 ○4月に引っ越してきて、小・中学生が、朝夕知らない人にきちんと挨拶ができることに驚いた。とても良いことなので、これからもこのような子供達が増えるように指導してほしい。

左蚣	足人业点	사무 모네	明 40 士ナベノリー明士プロ小辛日
年齢	居住地区	性別	問 48 まちづくりに関する自由意見
10・20 歳代	27. UL ==	t . til.	基本施策をあげていますが、目に見えて何を行っているのかが
	栄地区	女性	分からないため、もう少し"活動してます!"と分かることを
			「行って下さい。 ○市役所の職員を減らし、その分、課ごとに資格を取らせてほ
			しい。
		女性	○、。 ○公務員の飲み会が多いと思うので、住民のことを思うのであ
			れば控えて頂きたい。
			○職員同士の親睦会は必要ないと思うので、その分住民との親
10・20 歳代	栄地区		睦を深めて頂きたい。
			○今の教職員は生徒たちを叱らないため、生徒たちの思考力が
			なくなっている気がします。教職員が生徒とちゃんと向き合っ ていくための向上を希望。
			- CVV ための同工を布室。 - ○公務員の飲み会は全て役所の経費の中から出してやって頂き
			しる研究の飲み会は主く区所の配質の中から出してくりて頂き
			○私は将来福祉従事者になります! 施設のボランティアをた
10・20 歳代	쏬쌔도	 ,b#-	くさんやりたいと思っています!
10 • 20 成1	栄地区	女性	○通学路(匝高前)は交通量も多いわりに狭いと思います。
			○匝瑳市好き!
			素晴らしい海岸線(九十九里浜)観光資源はいっぱいあると思
10・20 歳代	栄地区	-	います。海水浴ができないのは、匝瑳市だけであり、皆で昔の
			浜を取り戻そうではありませんか。職員の皆さん、ただ危険では、先には出ません。頑張りましょう。
10・20 歳代	_	女性	ごみ袋が高すぎる、小さすぎる。
10 20 %3/41 4		7111	提言。10年後の匝瑳市は人口2万人になるかもしれません。あ
		男性	るいは、他市と合併しているかもしれません。100年後を考え
			た時、ヨーロッパの地方都市は、ほぼ全ての地方都市が観光を
30 歳代	中央地区		売りにして、大都市及び海外からの客を誘致しているのが現状
3 3 7/3/4 4	1 八阳巴		と思います。匝瑳市の強みは何か。匝瑳市の誇りとすることは
			何か。未来の我々の子供や孫のため、今すべきことは何か。こ の町の炎を絶やしてはいけない。みんなで選んだ市長に願いを
			が可の気を祀やしてはいりない。みんなで選んだ申長に願いを 託します!
	中央地区	男性	○他の町から匝瑳に越してきたいと思わせる何かを作っていけ
			たらいいなぁと思います。
30 歳代			○名産品を他県の人に知ってもらう。
○○ 原文 [人			○子供を育てやすい町づくり (夜間小児救急とか)
			○定年後、移り住みたいと思う魅力を作る。
			○商店街の活性化
30 歳代	中央地区	女性	匝瑳広報に、以前は生まれた人、亡くなった人の名前が載せて ありましたが、これからまた載せていただきたいと思います。
	中央地区	女性	高齢化を迎えるにあたり、医療の質を上げるべき。市民病院の
30 歳代			「「一個ではないにかんが、医療の質を上げるべき。 中氏病院の 体制を強化してください。建物も古い、もう限界ではないです
			か? 市民が使うものです。建替えをしてはどうでしょうか。
30 歳代	中央地区	女性	子ども達が安全に、安心して暮らせるまちづくりをお願いしま
			す。子どもが多い家庭では、冬のインフルエンザの予防接種の
			金額が大変なため、受けさせることが出来ません。助成がある
			と良いのですが。医療費の助成も中学3年まで。早期拡大
00 TE \\	++ n+ =	_1 . Lri.	をお願いします。
30 歳代	中央地区	女性	市議会議員を減らしてほしい。 (多いです)

年齢	居住地区	性別	問 48 まちづくりに関する自由意見
			子育て支援として匝瑳市ならではの支援があっても良いと思
30 歳代	匝瑳地区	女性	う。妊婦さんには何か優遇されるとか?
30 歳代	+::::::::::::::::::::::::::::::::::::::	男性	一人一人の意識が少しでも高くなっていければ良くなるのでは
	吉田地区		と考えます。
	吉田地区	女性	○子どもを育てていくために、医療費の助成は本当に必要なこ
30 歳代			とだと思います。
30 歳代	平和地区	女性	○大型店舗の誘致等、積極的に進めていってほしいです。 駅周辺に一時駐車場が無いのが不便です。電車で遠出する時な
			が同辺に一時紅単場が無いのが不便です。 電車で返山する時は どに停めておける場所がほしい。 (有料でも良いので、安心し
			て停めておける場所がほしいです)
			○市役所北側駐車場を、一般市民にも、もう少し利用できるよ
			うにしてほしい。用事があって市役所に行っても、車を停める
30 歳代	椿海地区	男性	ところがあまりにも無く困ります。
			○高齢者に住みやすい匝瑳市にしてほしい。
			○子育て家庭や父子家庭にもっと気配りをしてほしい。
			○ごみが散乱していることが多い。
			○公園などの美化整備をもっとしてほしい。
00 15/15	### 114 E	H 141	○遊具が危ないから縛り付けられたままになっている。
30 歳代	椿海地区	男性	○ごみ袋の価格が高い。 ○ ☆☆ の
			○小学校の差がありすぎる。(人数だったり設備に違いがあり 過ぎる。)
			^{週さる。} / ○校舎、体育館を直してほしい。
			○投音、体育品を置じてはして。□瑳市の発展のためには、人口の増加が欠かせないと思います。
			これ以上の若者の地域離れをなくすために、働く場所を提供す
			ることと、農林水産業の後継者を減らさないためのバックアッ
30 歳代	椿海地区	男性	プ等が必要かと思います。これからなるであろう TPPA に対策
			し、早期の産業のブランド化、又輸出できるものの開発などに
			力を入れられれば良いかなと思います。
	椿海地区	男性	地域により学校、道路等の設備に差が出ていると感じます。特
30 歳代			に学校は、どのような基準で建て替えられているかが見えず、
			不満を感じます。
30 歳代	椿海地区	女性	転入してきたばかりで、匝瑳市のことがまだよくわかりません
			が、豊かな自然に恵まれ、住みやすい町だと思います。
	野田地区	男性	○経済は既にある。高度経済成長期を過ごし、破産するほどの
30 歳代			平成不況を経る今日。疲弊した匝瑳市が過ごすこれからは、否 労力的にすむ対策もいいのかも。経済は毎日の生活がしてくれ
			カカ的にりむ対象もいいのかも。経済は毎日の生活がしてくれ る。他に手を回す一手を浮かべれば、高度経済成長等の繰り返
			る。他に子を回り一子を存がするのは、同及経済成長寺の繰り返しを避けられる。
			○上質な暮らし・生活が送れるまちづくりにしてほしい。
			○設備の充実を匝瑳市は購入してほしい。
			○生活苦からの脱出を計略してほしい。
90 분사	는 네마트	h4-	国保病院で夜間の対応をしてほしいです。特に小さな子供やお
30 歳代	栄地区	女性	年寄り等。

年齢	居住地区	性別	問 48 まちづくりに関する自由意見
30 歳代	-	女性	核家族が増えてきて、世代別の交流が少ないせいか、自己中心的な人が多いです。なので、子どもとお年寄りが同じ空間で自然に会話できるような場所があったら、素敵だと思っています。薪でお風呂を沸かした時代の話とか、戦争体験とかを聞いて育っていけば、突然キレる大人にならないと思うし、子どもとその親と、お年寄りと、地域の交流になるかな? 世代が違えば考えも違うので、他人でも思いやりが持てるようになるんじゃないでしょうか?
40 歳代	中央地区	男性	○議員の定数を減らす。○市職員の態度が悪い。民間では考えられないほど悪い。職員の数を減らし、市民サービスの向上を図るべき。
40 歳代	中央地区	女性	○他の県や市で行っているように、ゴミ処理場の出るエネルギーを使って室内プールを作る等をしたらどうでしょうか。 ○子供をもっている身として、道路の整備が悪いのがとても気になります。中学校等、遠い所から自転車で通学している子供達や、お年寄りがカートを押して歩道のない所を歩いているのをよく見かけますが、どの地域でも安全・安心して毎日の生活を送っていけるように、歩道の確保をお願いしたいと思っています。
40 歳代	中央地区	女性	○商業施設の誘致をし、活気のある町づくりを目指してほしいです。(シャッター街を減らす)○資源ゴミの袋を、小さいサイズを作ってほしいです。
40 歳代	中央地区	女性	今の私の財産だなと思うのは、2人の子供です。この子達は運良く小学校、中学校と良い先生に恵まれました。周りには小学校のときに、先生をはずして性格が変わったなと思う子供がいました。小学校、中学校の先生の質の向上を強く希望します。 匝瑳市から石川遼、斎藤佑樹のような人間性豊かな人材を育てられたらいいと思います。
40 歳代	豊栄地区	男性	次世代が市に残って生活をしていけない環境になっていると思います。仕事が、会社がないので、就職先がないから出て行ってしまうような気がします。大企業が来れば人口も増え、税金収入も増え、メリットはあると思います。
40 歳代	豊栄地区	男性	○他県からの知人・友人・親戚が訪ねてきても、案内できる所や連れて行きたい場所が1つもありません。何か特色ある『匝瑳市』にしかないものをつくってほしいです。 ○この先、運転ができない年齢になったとき、買物に苦労しそうで恐いです。地域のスーパー、商店などと力を合わせて、移動販売できる車両の導入、灯油などを運んでくれるシステムなど充実させていただきたいです。民間だと弱みにつけこまれ、ぼったくられそうなので、支援してください。
40 歳代	豊栄地区	女性	匝瑳市は医療費助成の範囲が(他市町村に比べ)狭い。ひとり 親家庭の支援も親切ではない。公務員の能力不足や療養手当を もらって仕事していない人が多くないだろうか。中学生の学 習・学力能力が低下しているのはなぜか? 何が原因なのか。 匝瑳市は昔より一度は活気付いたように見えたが、既にピーク が過ぎて、少し下降しているように感じています。

年齢	居住地区	性別	問 48 まちづくりに関する自由意見
40 歳代	豊栄地区	女性	この町に住みたいという気持ちは、あまりありません。他の市町村に比べて、楽しめる場所があまりないように思います。一部の地域だけが盛り上がる行事はあるようですが。カインズ・ベイシアができたので、まだ暮らしやすくはなりましたが、もっと人が集まるような施設など(文化会館など)できると、税金を納める価値があるような気がします。大変だとは思いますが、活気のある町にしていただけることを願います。自分は何もできないくせに、このような意見を述べてしまい、申し訳ありません。
40 歳代	豊栄地区	女性	子供、高齢者、障がいのある人、一人暮らしの人みんなが 住みよい市になることを願います。そのためには、個人個人の 意識の向上も大切だと思います。私自身、あまり積極的に市の ことについて知ろうとしてこなかったので(住み始めて7年余 り)まず知ることからスタートしようと思います。
40 歳代	豊栄地区	女性	市の職員に慎重に判断力のある人材を求め、教養のある人材に 勤めてもらいたいです。
40 歳代	須賀地区	女性	○我家には6歳になる娘がいます。夜間具合が悪くなることが多く、その時、救急病院となると、旭の中央病院、そして長い待ち時間考えただけで親も具合悪くなります。隣家には高齢の母もいますので、やはり緊急時の病院対策をお願いしたいです。(昨年のインフルエンザ大流行の際の民間医院の夜間診察はとても助かりました) ○あと、個人的な意見ですが、飯倉駅周辺の活性化を望んでいます。市の職員の方はいつもお世話になっており、対応がとても良いと思います。大変なことも多いかと思いますが、よろしくお願いします。
40 歳代	須賀地区	女性	地区によって、夜になると暗い道が多い。外灯設置の必要な場所にないように感じます。荒れた土地も多く、火事の原因にもなるので、所有者に管理するように促してほしい。住みやすい町になることを期待しています。
40 歳代	須賀地区	女性	市の病院を考えてほしい。救急に対して、もう少しというより、 旭まで行かなくてもいいようにしてほしい。匝瑳市での病院が あってほしいです。
40 歳代	須賀地区	女性	合併し、市長も代わり、新しい匝瑳市に期待します。市民病院 の機能強化、救急・休日・夜間の充実をお願い致します。
40 歳代	匝瑳地区	男性	市民病院の機能の向上を強く望みます。
40 歳代	匝瑳地区	男性	○自衛隊の駐屯地を誘致して、市の人口増加を目指し、市税の 増加をして駐屯地内の売店に地元の商店を入れ、市内の空き家 及びアパートを日曜下宿などに貸し出して、市全体を明るくし てください。 全天候型の避難所を造って下さい。
40 歳代	豊和地区	男性	道路を歩きながら物を捨てないことにして下さい。子供達ばかりではない。大人の人は充分に気をつけることです。

年齢	居住地区	性別	問 48 まちづくりに関する自由意見
十一图	古住地区	土加	
40 歳代	豊和地区	女性	医療での中核病院として、国保匝瑳病院は確立していないと思う。もう少し市民講座やイベントに参加し、市民の健康について関心を持つような仕事を職員がするべきだと思う。例えば、11月頃行う収穫祭等、人が集まる際には、乳がん検診がいかに大切かを呼びかけるような講座へ。子宮頸部がんのワクチンの署名集めなど、やれることはたくさんあると思う。いろいろ企画してください。協力できれば、します。
40 歳代	共興地区	女性	市内に住むこと約20年になりますが、ずっと思い続けてきたことがあります。道路を整備することは必要かもしれませんが、そのことで車がスピードを出すようになり、危険度が増すのではないか。道路にここまで税金を使う必要があるのか。弱者が住みやすいまちづくりに税金を使ってほしいです。弱者に自分がなった時、どんなまちを望むのかを考えてほしいです。宜しくお願いいたします。
40 歳代	共興地区	女性	匝瑳市のキャラクターを作りませんか。東総地区での連携を深めて観光に力を入れる。
40 歳代	平和地区	女性	道路の整備をきちんとしてほしいと思います。以前よりは大変 良くなってきたと思いますが、まだ大きな穴の開いている所な ど見かけます。
40 歳代	平和地区	女性	 ○市内循環バス:今はお年寄りの方の利用が多いようですが、 学生などもっと利用できるように通学時間帯の便を増やすなど すれば、もっと利用する人が増えるのでは。 ○駅の駐輪場:八日市場駅周辺の駐輪場をもっと増やせば、放 置自転車が減って、駅周辺がきれいになり、安全に利用できる のではないでしょうか。
40 歳代	平和地区	女性	○市会議員の恩給制度をなくし、人員を減らす等。私達の税金は、いい加減な議員さんのためには使ってほしくない。○市民の意見、考えを聞く機会を設ける。○住民票等の代金が高い。
40 歳代	椿海地区	男性	○高齢者がこれからは多くなると、介護のこととか問題も多くなると思います。もう少し施設を増やすことは無理でしょうか? ○まちづくり、地域づくりには参加したいと思っていたのですが、広報だけではなく、詳しく知るにはどうすれば良いのか分からない。持って歩けるくらいの地図はないのでしょうか?
40 歳代	椿海地区	女性	○八日市場駅の南側をもっと整備してほしい。市民病院、老人ホームなどをそこに移してほしい。近くに大型スーパーもあるので、老人が病院へ行ったときに生活品が買え、郵便局、銀行なども行けて良いと思う。自宅へは100円バスや方向別に10人乗りのバスなどで対応してほしい。 ○確定申告のとき、市役所の対応する人を増やしてほしい。税務課以外の職員も。対応できるように研修して対応していただきたい。サービスのよい市役所は新しいまちづくりには一番必要です。
40 歳代	野田地区	男性	若い世代が安心して生活や子育てができ、活力のある匝瑳市に なってほしいと思います。

年齢	居住地区	性別	問 48 まちづくりに関する自由意見
uM 1 -	冶工地区	上加	7.0 2.2 2.3 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4
40 歳代	野田地区	女性	○市内一律になったため、インフルエンザの予防接種が高くなった。来年からは市外の病院で受けようと考えています。なぜ?高くしたんですか? もう高くて市内では受けられません。とても残念です。 ○資源ゴミ用の袋を可燃ゴミと同じように小さいサイズもあったほうがいいと思う。ビンの場合、袋にいっぱいにすると重く、運ぶときに不便。高齢の方には特に。少なく入れてではもったいないと思います。
40 歳代	栄地区	女性	このような無作為のアンケート調査も良いですが、このアンケート結果の集計が出たら、様々な業種年代の人達の中から分析 委員を選出して、アンケートの分析をする必要があると思います。
40 歳代	栄地区	女性	このようなアンケートはとても良いと思うが、もっと小さな封筒、薄い紙を使用し、少しでも安くできるように努力しても良いのでは。
40 歳代	栄地区	女性	問 47 は①満足度は各項目について詳しく知らないことばかり で判断できない。子供達が将来、この匝瑳市に住んでくれるよ うな"まち"にしたいと思うが、何をどうすれば良いのか具体 的にはわからない。特色のあることをやっていけば良いのだと 思うが、これといって思い当たらない。
50 歳代	中央地区	男性	空港の裏ではあるが、近いことで貨物基地、カジノ等は考えられないだろうか。
50 歳代	中央地区	男性	現在は「植木のまち(これを書いてから調べたら、「海・みどり・人が育む活力あるまち」でした。それにしても、ちょっと曖昧な気がする)」のような感じのキャッチフレーズだが、もっと別のキャッチフレーズを新しく考えてはどうか?「植木のまち」では植木屋さんはいいが、その他の人は"自分には関係ない"と思ってしまうかもしれない。いや、そう思うだろう。例えば「エコ」とか「安全」とか「豊かさ」とか、何かに的を絞って1~3年位のスパンで、市民みんなで目標にするようなものを考え出すといいかも知れない。
50 歳代	中央地区	女性	匝瑳市がより良いまちに発展し、たくさんの人の参加、交流が 生まれる中で、自分も何か関われることができたら嬉しいです。
50 歳代	中央地区	女性	○市民病院を人が多くかかれるように体制を整えてほしい。○有線の放送(年配の意見です)を上手な職員にしてほしい。(小学生の口調のようで聞きづらい)○アンケートを記入して効果があるのか不安です。市は本心で考えているのかわかりません。住みよい市によろしくお願いします。
50 歳代	中央地区	女性	適齢期の男女が結婚のチャンスがなくて困ります。そんな場を もう少しほしいと思います。
50 歳代	中央地区	女性	前略、はじめて意見を書きました。自立支援とは、一体どこまで支援するということですか? 介護支援を受けていながら、収入以上の車の所得や賭け事をして、家賃の安い家に住み暮らすことをしている人がいるという現実を調べてはいかがですか。今の私には、何が悪いのか良いことなのか分かりません。本当に申し訳ありません。よろしくお願いします。
50 歳代	中央地区	女性	現在、病気 (ガン) のため通院しているので、医療を充実してほしいと思っています。

年齢	居住地区	性別	問 48 まちづくりに関する自由意見
50 歳代	中央地区	女性	若い人達の集まれる場所であってほしいです。
50 歳代	中央地区	女性	今ブームになっている健康ウォーク。車道の整備は毎年度末に 行っている。歩道はどうでしょうか? 凸凹が激しく、転んで
			しまいそうな箇所が四方八方にある。外灯もつけてほしい。
50 歳代	豊栄地区	男性	国民健康保険税など下げてほしい。
50 歳代	豊栄地区	女性	無駄だと思われるものに税金を使っているように思う。仕分けが必要だと思う。発送した手紙が間違っていたからと、もう一度発送するようなことは無駄である。重大なことでなければ、連絡があったら謝るだけでよいと思う。いろいろなものへの補助金や賞状の授与、参加賞など、いらないものがまだまだあるように思う。
50 歳代	豊栄地区	女性	高齢化社会になってからの一番の問題は、寝たきり老人の増加だと思います。年代別に分けて、軽い運動などの教室を増やして寝たきり0の町のイメージはどうでしょうか? 子供達と老人を一緒に運動、遊びを通してのコミュニケーションなどの企画もよろしいかと思います。
50 歳代	須賀地区	男性	高齢者の移動手段の充実、高齢者はタクシー料金の半額補助な ど。
50 歳代	須賀地区	-	○下水処理施設の整備○合併浄化槽の放流先の確保
50 歳代	匝瑳地区	男性	市民意見調査書を有意義に活用して下さい。今後も毎年調査票を市民に送達して、市民の意見を聞いて下さい。
50 歳代	匝瑳地区	男性	観光振興とか観光資源とか良いと思う。しかし、市の中で住んでいる人達が言ってますよ。とても臭い町、汚い町だって! 豚や鳥(ニワトリ)の糞の臭いや毛など飛んで来て、外の町からを達が家に来ても、臭いから帰りますって! 案外、外の町から来た人は、臭いは気になるのかもしれませんネ! 何とかこの町はなりませんか? 特に野栄、今泉地区! 観光地区にするどころじゃない町ですヨ!
50 歳代	匝瑳地区	女性	物事を深く考えてほしいです。(5年後、10年後)議員さんた ちが匝瑳市というものを真剣に考えてほしいです。自分の生活 の懐だけ考えている感じがします。それでは匝瑳市はよくなら ないのではないか?
50 歳代	豊和地区	女性	 ○障害児(者)や軽度未発達の子供達のスポーツ活動などのサークルなどがあれば、参加できる人達がいると思います(場所提供)。ルールの分からない人達にも体を動かす機会が必要だと思います。 ○学校を卒業した重度身体障害者・医療ケアの必要な方、支援の必要な障害者が通える場所がありません。近隣の市に頼らず、匝瑳市での設立を希望します。 ○障害を抱える家族への相談できる場所や共感し合える繋がりづくりがあればと思います。 ○軽度未発達の子供達の学校卒業後の支援も必要かと思います。

年齢	居住地区	性別	問 48 まちづくりに関する自由意見
50 歳代	豊和地区	女性	病院の待ち時間を何とか早く診てもらえるようにと、交通機関 JR の快速が八日市場に発着して、早い時間と遅い時間とを増やしてほしいです(特急も増やして)。文化芸術の面も、技術的にレベルが高いものを希望し、魅力のあるものがいいのでは。在宅介護の情報(どのような家族の接し方、介護の方法、用品の入手の方法とか)がほしいです。
50 歳代	豊和地区	女性	交通網の整備がされなければ、観光も足が遠のくのではないか と思う。現在、銚子への通過点になっているが、往復の途中で 「ここは絶対立ち寄りたい」と思える観光資源が必要だと思う。
50 歳代	豊和地区	女性	高齢者が増えて施設に入りたくてもなかなか入所できなく、お金もかかるので、子供手当もいいかもしれませんが、老人の方を抱えている人も大変負担も大きく大変だと思います。それに働く介護士の人達も給料が安すぎて生活も大変で、仕事が重労働なのに可哀想な気がします。これは国のやり方がおかしいと思いますが、仕事に見合った給料にすればもっと働く人が増えると思いますが?
50 歳代	豊和地区	女性	若い人達の雇用をよろしくお願いします。私事ですが、息子が 東京で転職が思うように行かず、実家に戻ってきています。匝 瑳市は高齢者も多く、福祉も重要と思いますが、これからを支 える若者の就職の先細りでは未来はないと思います。老人と子 供よりも、未来の労働を担う若い人達の雇用をよろしくお願い します。
50 歳代	豊和地区	女性	このアンケートは細かすぎて、又、多方面にわたり質問内容が 一般市民には(私には、かもしれませんが)少し難しすぎると 感じました。行政にもう少し興味のある方なら、良い意見、考 えが反映されたかもしれません。
50 歳代	吉田地区	男性	市街地に住む者と過疎地域に居住する者の市行政サービス、環境整備に格差があると感じます。道路、排水整備等においては、 多くの不満を感じております。
50 歳代	共興地区	女性	若い人達の働く場が多く出来ると良いです。地元に残る子がほ とんどいない状態です。
50 歳代	平和地区	男性	○交通を整備(鉄道・バス・道路)して、便利な移動手段の確保を他市・県・国と協力して進めてほしい。高速道やJRのダイヤなど。 ○市民病院の充実を望む。狭く、科が少ない。 ○小学校の数を減らして、広い敷地の充実したものに建て替える時かと思う。 ○中学校の名称が長すぎる。適切な名称に変えるといい。
50 歳代	平和地区	男性	市の財政が夕張に続く日本の国での第二番目にならぬように、 市長をはじめとして、議員、市の職員の皆様が身を引き締め、 努力して頂きたいと思います。
50 歳代	平和地区	女性	○それぞれの保育所・学校等で、時間外で見てくれる制度を設けてほしいと願います。働いて子供を育てるお母さんのために! 小学校では学童で子供を預かってくれる学校もありますが、まだまだ少なく感じております。 ○老人のデイサービスの強化(お風呂等の扱いで男子職員の強化。老人が太っているため、デイサービスに行ってもお風呂に入れない人のため)

年齢	居住地区	性別	問 48 まちづくりに関する自由意見
i Bi	1 IL 70 IL	12777	○子供達のための通学路なのに、雨になれば溝にたまるし、又
			しず供達のための通学路なのに、雨になれば構にたまるし、Xボコボコと壊れたアスファルト、学校道路を廻ってみて下さい。
50 歳代	椿海地区	女性	○ゴミポイ捨て、道路わきにまだまだ散らかっているようです
00 ///	旧中地区	У Ц	ので、どうしたら? その時だけきれいになっても、後にもま
			た汚れている状態です。
50 歳代	野田地区	男性	議員が多すぎる。一家に2人はいらない。
50 歳代	野田地区	男性	市の取組み内容についてほとんど知りません。
			独身男性が超多いので、気軽に参加できる出会いの場、機会等
50 歳代	栄地区	男性	(現在、ある程度は有ると思いますが)を増やしてほしい。と
			いうより、参加したくなるような雰囲気作りを考えてほしい。
			○市の生涯学習などの参加をしやすくするために、活動費用の
			助成をしてほしいです。 2 万位。
50 歳代	栄地区	女性	○子育て支援に、小学生以上の児童手当をなくして、給食費を
00 ////	AV-EL	У Ц	なくしたり、学級費とかを市で支援する。中学生まで学校での
			毎月の集金をなくす。
			〇保育園は保育費をタダにする。 「Tがオールト」、オペルトンでは、100mm さんしょうに
50 歳代	栄地区	女性	匝瑳市に住む人が、老後の心配を消せるような町づくりをお願いよさせ。
			いします。
50 歳代	栄地区	女性	他の市町村に比べ、農業に対しての国の補助事業が少ないと思います。農業の町だと思うので、農家が豊かになるような政策
50 成八人	木地区	女性	でまり。 辰未の町にと応りので、 辰家が壹かになるよりな政策
60 歳代	中央地区	男性	大利根用水の整備と美化。
60 歳代	中央地区	男性	夜の駅前で若者たちがたむろしている。8:30~9:30。
60 歳代	中央地区	男性	今後に期待しています。
3 3 //3/2 4	17000	JV 124	○新市長になって早1年になるが、未だに選挙のときの公約が
			未達成。これでは民主党と何ら変わりない。せっかく応援した
			のに残念でたまらない。
			○商店街の活性化…早く手を打たないとジリ貧になり廃業する
CO 华什	中中地区	田小	店が増加する。
60 歳代	中央地区	男性	○市民病院の充実…早急に医者を増やして、産科や小児科を設
			ける。
			○子供の医療費の無料等
			○議員が多い。他の市町村と比べたら良い。旭市と山武市、成
			田市、銚子市と比べても人口の割に多い。
			何でもいいから日本一となるものを創り、匝瑳市が日本のどこ
60 歳代	中央地区	男性	にあるか、位置するかをわかるようにしてほしい。例えば、北
			海道、九州に行って、成田、銚子といえば相手に理解してもら
			えるが、匝瑳市と言うと???が現実である。
60 歳代	中中地区		自分が生きていくために、毎日仕事に追われて生活しています。
60 成八	中央地区	女性	毎日仕事をしていても、前に進むことができません。自分の生活で他に考えるゆとりがありません。
			○ 匝瑳市の農業者と商業者にご協力を頂き、匝瑳市のブランド
			一〇世宏市の展来有と尚来有にこ協力を頂き、世宏市のノブント作り。農家の匝瑳米ミルキークイーン、名物菓子(品物は商業)
60 歳代			者全員で皆が作って販売できるものを考案)を大々的に販売し、
	中央地区	女性	宣伝する等したらどうでしょう。市有地の専売公社跡地の活用
			も含めて実施したら良いと思います。
			○休耕している田畑を市などで借り上げて、趣味と実益を兼ね
			た観光農園やパターゴルフ場を作り、他地区から人々を招くよ
			う施策活用も一考を要すると思います。

年齢	居住地区	性別	問 48 まちづくりに関する自由意見
60 歳代	中央地区	女性	市立病院の診療科目を充実させて下さい。
60 歳代	中央地区	女性	商店街の衰退をはじめ、小学校の廃校等、先行きの暗さが身に 染みます。若い人達が安心して暮らせる、仕事の場所、子育て のしやすさ等、人口増になるように活気のあるまちづくりが必 要だと思います。医療機関の充実も切実だと思います。安心し て一生暮らしていける、自然豊かな人情味溢れる匝瑳市であっ てほしいです。
60 歳代	中央地区	女性	○公園など、子供達ではなく大人でも行けるような自然な環境づくり。もっと都会的にしてほしい。 ○八日市場商店街にも良いお店がたくさんあるのに、生かされていない。都会的にして…もっと勉強(アイデアを考える)しなければいけないと思います。もったいない。ですので、他の店へとお客様が逃げてしまう。
60 歳代	豊栄地区	男性	環境問題について。当該市のゴミ処理施設(松山)は、機器も古く、煙(蒸気?)を多く排出し、また悪臭も出ているところから、早急な機器の改善策を願いたい。松山清掃工場の移転ということも聞いているが、移転先との早急な解決を願いたい。今回のいろいろな計画がある中で、このゴミ処理施設の充実が最も重要なことかと思う。
60 歳代	豊栄地区	男性	とても活気のある住み良い市であるとは思えない。大手企業の 誘致は必要だと思う。職場があれば、税金も増えると思う。これ以上国保税が上がるのは、年金受給者の私にとってはとても 困ってしまう。
60 歳代	豊栄地区	男性	○情報開示をもっと進めてください。○収入の大部分である国からのお金が減額されたら大変なので、せめて毎年赤字を出さないように。○問 18 のイベントをより進めて下さい。
60 歳代	豊栄地区	男性	自分の「まち」は自分で創る。ものごとをまず「お金」で考えるのではなしに、理想を掲げればボランティアもそこそこいますよ。定年を迎えた者は「何かの役に立ちたい」、この気持ちを持っています。
60 歳代	豊栄地区	女性	匝瑳市民病院の機能強化、充実を望んでいます。
60 歳代	須賀地区	男性	行政団体のみに頼るのではなく、市民レベルからの活性化に向けての取り組み、構築ができないものか。第一次産業と併せ、企業等働く場所の拡大、維持を推進し、"住んで良かった"のキャッチフレーズを目指す指針がほしい。
60 歳代	須賀地区	女性	いつもお世話になっております。この度、匝瑳市の貴重な調査に参加させていただき恐縮しております。90歳を超える親を抱え、自分自身も70歳に手が届く年齢で、外部との接触も少ないので、情報にうとく、大雑把な回答で申し訳ありません。外へ目を向ける努力を痛感しております。可能性は薄いかもしれませんが、我が市は高校が何と2校あります。若い大勢の学生さん達の参加を求めたら、きっと斬新な意見、アイデアを提供してくれると期待しておりますが、如何でしょうか。匝瑳市の益々の発展を願っております。

年齢	居住地区	性別	 問 48 まちづくりに関する自由意見
一一一一	店住地区	生別	
60 歳代	須賀地区	女性	匝瑳市の駅の周りに何もなく、駅は町の中心だと思うので、何か活気のあるものとか、駅を降りてみて、すごいなぁ、また来たいなぁ、と思うようなものがあるといいなぁって思います。 なんか寂しい町だと思いました。新しい町をつくるには、デパートとか遊園地とか、都会にあるものがないので、ちょっと町づくりってどう考えているんだろうって疑問にはなりますが。
60 歳代	須賀地区	女性	市の職員さんもとても感じが良く、わかりやすく対応して下さるように思います。しかし、旧八日市場の方々の中には、まだ根強く、同じ匝瑳市民なのに、他の地域(野栄町)の方に対して、排他的感情を持っておられる方が多くいらっしゃるように思います。同じ町を大きくして住み良い環境、子供達に胸張って譲れる町にと目標を持って過ごしていくには、小さなこだわりではないでしょうか? まず市民の和、分け隔てのない大人の子供達への愛。市長さんは中央地区の出身です。どうぞ頑張って下さい。まとまらない文章でごめんなさい。
60 歳代	須賀地区	-	太田市長のもとで、活力のある、また明るい市になるように努力してください。
60 歳代	匝瑳地区	女性	○東京から引っ越してきましたが、歩道の段差にびっくり。歩道にも堂々と車が駐車していて、人間より車優先です。昼でも夜でも、まず人が歩いていない車社会、太った人が多いのにも驚きました。タクシーの運転手さんは、この辺の人は隣の家に行くのにも車で行くと言っていました。 ○米倉地区の分校、情報不足でよくわかりませんが、選挙のときしか使用していないのはもったいない。地域の健康教室みたいなのを開いてはと思います。
60 歳代	匝瑳地区	女性	駅前の商店街が段々寂しくなり、車の運転ができない高齢者に とっては住みにくい町になりました。なんとかならないもので しょうか。
60 歳代	匝瑳地区	女性	○学生の通学時間に合わせて、バスを増やして頂きたい。○道路の側にゴミが散乱しているのが目立ちます。 (1ヶ月に一度位に住民が清掃する日を決めてもらいたい)
60 歳代	吉田地区	男性	○区長会の制度のあり方を改善する。○若い人が働きやすく、生活しやすいまちづくり。
60 歳代	飯高地区	男性	昨今の日本は円高による企業の日本空洞化、商店街はシャッター通り、工業団地は雑草畑。厳しい世の中、明るい見通しがない中、新しいまちづくりと言われても、積極的な考えが思い浮かばない。強いてあげれば、ふれあいパーク通り(広域農道)を規制緩和したらどうだろうか。車の流れもだいぶあるし、旧街中を大改造云々というのは門外漢。
60 歳代	飯高地区	男性	若い人達が地元で安心して暮らせるような活気のある町にしていただきたい。埋もれている旧所、名跡があれば掘り起こしていただきたい。
60 歳代	共興地区	男性	このままでは旭市にかなわない。沖縄の基地でも来てもらえたら、匝瑳市も旭市に負けなくなると思う。

年齢	居住地区	性別	問 48 まちづくりに関する自由意見
60 歳代	共興地区	-	転入してまだ日が浅く、質問にどのよう回答すればよいか悩んでしまった箇所がありました。新しいまちづくりに取り組むこと、すなわち賑やかなまちが蘇ることは良いことだと思います。 県外からの移住者が増えなければ市の活性化につながらないと思われますので、地域交流にもっともっと力を入れてみてはいかがでしょうか。又、匝瑳市をアピールできるような観光(巨大な道の駅や植木公園等)はどうでしょうか?
60 歳代	平和地区	男性	工業用地への流通の増大、及び大型店舗の進出。
60 歳代	平和地区	男性	○商店街の建て直しが重要と考えます。歴史ある商店街がシャッター通りの状態になっていることが問題です。(要対策!) ○みどり工業団地の各社の状況を外部から見る限り、雑草も取らず、また道路の清掃も出来ない企業が多くあります。まさに荒れている状態にも見えます。あの状態を見たら、優良企業は匝瑳には来ないでしょう!(要指導!) ○上水道の料金が高いと感じています。以前住んでいた市と比べると、2.5倍の料金です。(要検討!) ○下水道は無理でしょうから、せめて雨水の排水溝の整備を進めること。
60 歳代	平和地区	女性	○旭中央病院を核とした医療体制の強化を図ること。従って、市民病院は旭中央病院の傘下に入る。そうしないと赤字が増加し、市民の健康も守れなくなり、市民生活に不安を与えることになる。 ○人口減少は全国的な問題であるが、当市の場合はスピードが早い。最小限に抑えるような対策が重要である。
60 歳代	平和地区	女性	私には年老いた母と可愛い孫がいます。今はそれなりに楽しく明るい毎日ですが、これから先のことを考えると心配でとりあえず無事に今年が終わりますように。「新しいまちづくりについて」とは関係なくてすみません。
60 歳代	平和地区	女性	今、市には働く場所が少なく、若者、中高年は働きたいのに働けない。色々のことをする前に、まず安心して働ける場所がほしい。まず自分達の生活が安定し、次に新しい町づくりに進んで下さい。
60 歳代	椿海地区	男性	行政と市民の連絡を密にして、個人が生き甲斐を感じられる市 政を築いてほしい。
60 歳代	椿海地区	男性	○住みやすい町づくり○雇用の確保○公僕である意識→議員並びに市職員○観光資源の見直し○太田市政に期待→改革に向かっている兆しあり
60 歳代	椿海地区	男性	市営の墓地があればと思います。
60 歳代	椿海地区	_	適切な設問もあったが、適切とはいえない設問もあった。老若 男女を合わせて、4万人以上の人口でもあれば、最大公約数の 施策をするのに一助になった喜びと共に、ランダムの抽出に選 ばれた幸運に感謝しています。我が町匝瑳市に住んで良かった という声が増々多くなることを期待しています。乱筆乱文にて。
60 歳代	椿海地区	-	市会議員にお任せです。そのために市会議員になり給料を得ているのではないか。

年齢	居住地区	性別	問 48 まちづくりに関する自由意見
60 歳代	椿海地区	-	市役所の職員の態度、すごく悪い、最低。一般の勤め人は給料、ボーナスが下がっているのに、なぜ市の職員は下がらない。一つの仕事に対して、何人でも対応、会社ならそのようなムダ金は使えない。
60 歳代	野田地区	男性	市のPRの1つにどうでしょうか? 2012年5月21日午前7時35分頃の「金環食」。金環帯の中心は数千万人が住む人口密集地帯でありますが、本市のように東側が水平線の観測点は最高と思います。多くの人に観測してもらえるよう、広報宣伝されてはどうでしょうか。そのためには、宿泊施設や駐車場、交通網等、お金も必要ですが、市の活性化の1つになれれば幸と思います。
60 歳代	野田地区	男性	一人一人のモラルの向上を図る。やって良いことと悪いことの 区別がつくように教育する。そうすれば今新聞、テレビ等で騒 がれているいじめや虐待、さらにはゴミの不法投棄や犬のフン の後始末も少しは減るのではと思うのですが、いかがでしょう か。
60 歳代	野田地区	男性	安心なまちづくりを行ってみてはいかが。市民病院の機能強化 として、医療従事者の確保と環境整備。
60 歳代	野田地区	女性	これからの若い世代の就業活動に力を入れてほしいです。
60 歳代	野田地区	-	私達が育ったときは、とても活気があり、それは野栄町の漁業の活発で、とても住みよい所でした。今は匝瑳市になり、八日市場はシャッター通りでとても淋しく思います。市長が替わっても、匝瑳は変わることはないでしょう。議員数も多く、なにこれといいこともなく、納税者はまったく苦しむばかり、先が見えることなく、おどおどしながら生活しています。
60 歳代	野田地区	_	市議を少なくしてほしい。(15人位で)
60 歳代	栄地区	男性	○匝瑳市における基本計画で取り込む課題として、特に田圃等の農業耕作地の集中化を図っていき、規模の拡大を図る施策が必要と思われる。現状、耕作地が小規模で点在し、農業後継者の高齢化により耕作放棄が起こっている。やる気のある農業従事者に耕作地を集中させ、規模拡大を図り、収益の拡大を図る施策が必要。 ○匝瑳市にも植木、野菜等特質すべきものがあるので、これらに特化したブランド化の推進を図ることが必要と思われる。
60 歳代	栄地区	女性	税金を安く、医療の充実、福祉の充実を良くしてほしいです。
70 歳以上	中央地区	男性	「前期基本計画」が来年度で最終年度を迎えるとのことですが、 「前期基本計画」の基本施策について、項目ごとの達成度を市 民に周知願いたい。

年齢	居住地区	性別	問 48 まちづくりに関する自由意見
一一個月	冶工地区	工力力	
70 歳以上	中央地区	男性	○国体(弓道)を2回開催したので、弓道を下地にした市民スポーツを考案したらどうか。例:開会式・バス200台・昼食代・これ以外の諸経費・歓迎・桃太郎旗・花・プランター。国体の開催とは何だった? 市民は感ずる。 ○教育 匝瑳市の○○中学校の出身だと胸を張って言える児童生徒を育てる行政施策をしてほしい。 ○新聞の記事 1. 県展(小中児童生徒美術展)、市内該当者皆無個人賞 特別54 特選150 準特選200 団体 学校88 学校奨励100校2. スポーツ関係東総駅伝 県小中学校体育連盟東総支部
70 歳以上	中央地区	男性	市立病院の充実
70 歳以上	中央地区	男性	自然の木々を生かした緑の公園を作ってはどうですか。遊歩道の柵には四季の草花を植え、フラワー公園にして楽しめるよう、家族友達も一緒にお弁当を食べたり飲物を飲んだり、また運動したり。環境に良い公園作りを考えては?
70 歳以上	中央地区	男性	鉄道の利便性に努力してほしい。 (早朝の快速便など)
70 歳以上	中央地区	男性	飯高小学校跡地を観光の一部に。
70 歳以上	中央地区	男性	交通手段の確立、鉄道の複線化。
70 歳以上	中央地区	女性	明るい町づくりをして下さい。議員数が多いので、皆でよく話し合って市民のために尽くして下さい。
70 歳以上	中央地区	女性	○各家庭から流れ出る下水の処理を考えてください。特に浄化槽の点検を年1回は必ず実施するよう努力してください。 ○市内(交通の便の良い場所)に独居老人、障害者等が気軽に行ける施設を造ってください。 ○託児所の数を増設。
70 歳以上	中央地区	女性	いろいろと難しいとは思いますが、商店街を何とか活性化できないかと思います。又、地域の交流をもっとできるようになれば良いなと思います。
70 歳以上	中央地区	女性	駅南口広場のエレベーターの西側を自転車の駐輪所に使用させ て頂けないでしょうか。実現できることを希望致します。
70 歳以上	中央地区	女性	年齢的なものもあり、建設的な提案が出ず申し訳ありません。 それに介護・障害者の問題も幸せなことに現在は健康に恵まれ ており、実感が湧かず、適切な提案もできません。もっと大局 的に物事を見なければいけないのかも知れませんが。
70 歳以上	中央地区	女性	○今、高齢者はまだまだ働けます。しかし場がない。本当の良い仕事は、高齢者からと思います。 ○核家族社会は悪しき制度と思います。我市がいち早く打ち出すべきです。そして子供達を救っていかなければ日本が崩壊して劣等国になります。親子の絆を強めるべく、まちづくりに取り組む時が急がれます。
70 歳以上	中央地区	女性	○天神山公園の桜を観光の名所としたら良いと思います。 ○市民病院があることを誇りに思っています。市民が安心して 生活できるよう病院経営に力を注いで下さい。
70 歳以上	中央地区	女性	匝瑳市も海が近いので、ウォッセ 21 のような観光スポットがあれば、地元でとれた特産品を販売するなどして、働く雇用の促進につながるのではと思います。

年齢	居住地区	性別	問 48 まちづくりに関する自由意見
70 歳以上	中央地区	-	障がい者の家族がおりますが、3年間無職です。収入もありません。障がい者福祉の前進を望みます。又、差別もあるようです。障がい者に優しい匝瑳市でありたいですね。
70 歳以上	中央地区	-	市長さんも代わり、目に見える新しい匝瑳市を期待致します。
70 歳以上	須賀地区	男性	飯高小学校の廃校の後、福祉施設等に活用して頂きたい。
70 歳以上	須賀地区	男性	高齢者福祉、障がい者福祉の充実に力を入れてほしい。
70 歳以上	須賀地区	女性	市民病院について。市内の開業医の紹介で内科に診察に行きましたら、医師に「ここは入院が多いので近所の開業に行って下さい」と言われました。患者を追い出すようなことを、どう思いますか。市民として情けないと思いました。又、その他に知人の話を聞きましたら、その方が入院したときに、看護師さんの態度の悪いのに驚いたようです。それは、昨日飲んだ薬を「今日、薬飲んだね」と言われたので「飲みません」と言ったら、語気荒い言葉で「今日飲んだでしょう」と言われたそうです。その方は自宅に帰りたくなったそうです。困りますね。
70 歳以上	須賀地区	女性	新しい市長さん、頑張って下さい。良い匝瑳市を作って下さい。
70 歳以上	須賀地区	女性	税金、国保税を安くして下さい! 下水道の整備をお願い致します。
70 歳以上	匝瑳地区	女性	海の磯のことですが、食い止めることも大事ですが、飯岡の磯 のように出すことをしたらよいと思います。
70 歳以上	豊和地区	女性	私は豊和地区内山に住んでいます。家から中央地区等へ買物に 週に二、三回は出掛けます。その度に思うことは、道路のこと です。柿谷地区の道路で神里から石井医院に出るまでの道路を 見てもらいたいと思います。とても薄暗く、道の幅も狭く、車 とすれ違う時はぬかるみによけたりバックもしなければなりま せん。中高生たちも自転車で通学しています。私だけでなく内 山の人はみな思っていると思います。市長さんも一度見に来て ほしいと思います。ぜひお願い致します。
70 歳以上	吉田地区	男性	匝瑳市をどうしたら活性させられるのか。市会議員の方々、それに市長さん、市の職員の皆様方に考えてもらい、住みよい匝瑳市にしてもらいたい。
70 歳以上	吉田地区	女性	匝瑳市民病院にお金をつぎ込んで、税金が上がるのは納得できない。独立採算ベースでやっていけなければ、銚子のように問題にすべき。累計穴埋め額等を公表すべき。「市民病院の機能強化」を望むかの設問は、何億円、毎年穴埋めしているか、その具体額を提示した上で問うべきである。設問方法が×。
70 歳以上	吉田地区	-	市長を先頭に、住み良い町づくりに努力してもらいたい。
70 歳以上	吉田地区	_	毎年入りが減ってきている状態なので、 ○若い人達が定着できる匝瑳市にしてもらいたい。 ○中央商店街が益々発展するように。 ○農村の活性化。 市全体の人が減らないようにお願いしたいです。
70 歳以上	共興地区	男性	下水の排水整備をして下さい。
70 歳以上	共興地区	女性	○空地の雑草の処理(特に外来種) ○通学路のマンホールのマス蓋無しの交換点検 ○幼稚園、学校周りのタイヤ、雑草の取り去り ○利根水路の雑草、及び空小屋の草取りを除く。(火災のもと)

年齢	居住地区	性別	問 48 まちづくりに関する自由意見
十 图 7	冶工地区	エカリ	
70 歳以上	平和地区	男性	匝瑳市へ引っ越してきて5年が経過しましたが、道路の舗装が、 我家の前がなされていません。市内の舗装などインフラ整備を 早急にしてほしい。我家は県外へ出掛けることが多いのですが、 自家用車がないので、バスで駅まで行くことになりますが、引 っ越してきて路線バスがないことに驚きました。(市内の循環 バスが2便あることが分かりましたが)これでは移動が停滞し てしまい、観光地巡りもタクシー使用となってしまい不便です。 交通網の整備にも力を入れてほしいです。
70 歳以上	平和地区	男性	匝瑳市は旭市に比べて、全てのことで何かが高いと思う。国保 病院をもっと利用できるように市が力を入れて下さい。年を取 ると医者が友達になりますから、市民は税金を納めているので、 その辺をお願いします。
70 歳以上	平和地区	女性	駅南口、直接乗降できるようにしていただきたいです。
70 歳以上	平和地区	女性	私は夫婦二人暮らしでした。夫は7年前に亡くなり、今は私一人で暮らしております。私は国民年金です。一回の年金が差し引かれると、約6万円位です。今少しお金がほしいです。今はグラウンドゴルフを楽しんでいますが、年金が精一杯です。どうか女の一人暮らしに15,000円位、役所として頂けたならば有難いです。お願いします。
70 歳以上	平和地区	_	匝瑳市内の商店もいろいろ工夫をして市民サービスをしていますが、だんだんお店がなくなってスーパーで買物をするようになってしまいました。市内の商店で買物したいです。スーパーに負けないように市内の商店さんも頑張って下さい。
70 歳以上	椿海地区	女性	市民病院の強化を切に望むものであります。事務長は市職員の 勤める場ではないと思います。
70 歳以上	椿海地区	女性	○公園を造る=空地などを利用し公園(そこでイベントなど行う)や災害時の避難場所などの設備 ○八日市場商店街の活性化=買物に行っても、とても暗い感じ。 活気のある町づくりをお願いしたい。
70 歳以上	椿海地区	_	市役所の内部(各課)をもう少し分かりやすくお願いしたいと 思います。
70 歳以上	椿海地区	-	バスが土曜日に走り出して頂いて良かったです。暮れのバスが動かないのが困ります。公務員なみに、暮れにバスが動かないと正月の買物などにとても困りますので、何とかしていただきたい。
70 歳以上	野田地区	女性	農業の後継者が少なくなり、田畑の荒れているのが目立ち、心 苦しい。
70 歳以上	野田地区	_	12 頁~13 頁 まちづくりの評価についての設問は、市民には難解のものがある。議員さんに答えてもらいたいような問題(10、11、12等)と思われる。一考願います。
70 歳以上	野田地区	_	○新しい街づくりには関係ありませんが、今、市営のバスが通っていますが、病院に行くのに病院が開業しているときに合うバスがありません。時間を考えてバスを走らせてください。買物も出来ないので、娘に頼んで買って送ってもらっています。八日市場で買物をすれば、多少は地元も潤うと思います。私のような者が周りに何人もいます。 ○下水の整備がされていないので、とても不衛生です。これでも先進国なのでしょうか。毎月不便さを噛みしめながら生活しています。

年齢	居住地区	性別	問 48 まちづくりに関する自由意見
70 歳以上	栄地区	女性	海岸の侵食を早急に防ぐ。お願いします。
70 歳以上	栄地区	女性	○訪問介護のヘルパーさんがやってやる態度で、お願いする人の身になってくれてません。民間のほうが親切でやらせて頂く態度です。ケアマネージャーも同じです。もっと頭を低くして下さい。 ○生涯学習に参加できる人は余裕のある人です。一人で何ヶ所も参加しています。生活のため働かなければならない人は行けないのです。参加する人は始めからすべて有料にして下さい。余裕のある人だけが市の恩恵に浴することは不公平です。
70 歳以上	栄地区	-	○銚子連絡道、296 号線の交差付近に道の駅を設けて下さい。 ○議員の削減と職員の削減。第二の夕張にならないために。
_	中央地区	女性	市長にお願い致します。日本全国どの県市町村に負けないくらいの匝瑳市にしてください。それぐらいの根性を見せてください。それが一市民の私の願いです。もし、それが出来なければ、即辞任を要求します。どうか匝瑳市のために死にもの狂いで頑張ってください。どうか宜しくお願い致します。追伸:ちょっと問48とはかけ離れ、市長へのお願いになってしまいました。失礼しました。
-	野田地区	男性	○医療機関の充実(夜間・休日・救急)など、安心できる街づくり。 ○公共交通網の整備(復活?)により、非運転者でも広範囲に行動できる街づくり。費用の点など解決しなければならない点も多いとは思いますが、よろしくお願いします。 ○海岸の白砂青松を取り戻す。(県、国がメインの仕事か?)見えない(予想できない)部分が多々あると思いますが、美しい浜辺(素足で歩け、ゴミが捨ててない)をお願いします。
-	野田地区	男性	近所の見通しの悪い交差点のカーブミラーが壊れている。早く直してほしい。朝8時前後、国道126号(回転寿司・浜っ子)の信号交差点が渋滞して困っている。特に野栄方面(県道からR296)から多古方面に向かう車が大渋滞!(陸橋の乗り口あたりまで混み合う。)昨年まではあまり混まなかったが、今年に入って急に混雑した。早急に改善してほしい。
_	_	_	○匝瑳市の宣伝を都市部へ発信し続ける。インターネット、アンテナショップ等。 ○匝瑳市は万葉の時代より歌にうたわれた古い集落だったと思います。「庭に立つ麻手かり干し布さらす東女を忘れたまふな」万葉東歌。 ○海岸線の整備を促進し、望洋荘周辺の開発を進めれば、冬・夏、東京方面からの人々が足を止めるようになる。 ○一大観光開発と、農水産物の新規加工工場と販売展示館を新設する。